

令和4年6月3日
生涯学習・地域学校連携課

放課後児童健全育成事業の運営方針（素案）の検討状況等について

1 主旨

令和4年1月31日及び2月25日の文教常任委員会、並びに、同年2月1日及び2月28日の福祉保健常任委員会において報告した放課後児童健全育成事業の運営方針等について、検討状況を報告する。

2 子ども・保護者へのアンケート結果について

(1) アンケートの目的について

新BOP学童クラブにおける活動場所の不足や登録児童数の増加による狭隘化や大規模化の喫緊の課題、また多様化する子どもと保護者ニーズへの対応と民間事業者の活用を視野に入れた区の放課後児童健全育成事業の質の確保の方策により課題を解決するため、子どもと保護者に向けてアンケートを実施した。（別紙1）

(2) アンケートの概要

① 保護者アンケート

調査対象は、区立小学校に通学している低学年児童（1～3年生）の保護者と新BOP学童クラブに登録している高学年児童（4～6年生）の保護者

・回収状況 配布数 19,219人

（2021年5月1日現在の区立小学校への在籍児童数に基づき、各家庭へ配布）

・有効回答数 7,038人 回収率 36.6%

② 児童アンケート

調査対象は、新BOP学童クラブ登録者は、新BOP学童クラブに登録している1年生から6年生の児童

・回収状況 配布数 7,444人

（2022年2月1日現在の新BOP学童クラブ登録児童数に基づき、各新BOPへ配布）

・有効回答数 3,394人 回収率 45.6%

③ 新BOP学童クラブ未登録者（1～6年生）

調査対象は、BOP利用児童、プレーパーク利用児童、児童館利用児童、青少年交流センター（アップス）利用児童

・回収状況 有効回答数 1,007人

3 「世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針」の素案について（別紙2）

(1) 「世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針」について

これまで3回にわたり、世田谷区放課後児童健全育成事業運営方針検討委員会にお

いて以下の内容について検討してきた。令和4年4月27日に開催した第4回世田谷区放課後児童健全育成事業運営方針検討委員会では、子ども・保護者へのアンケート結果を踏まえ「放課後児童健全育成事業の運営方針（素案）」を検討した。

	検討内容
第1回 令和3年 12月21日	「運営方針」の策定に向けて、「考え方・作成のプロセス・支援の質確保のための手法等」及び「運営方針に子どもと保護者の意見を反映させるため実施するアンケートの内容」について意見交換を行った。
第2回 令和4年 1月18日	「運営方針」で大切にしている基本的な理念について検討を行うとともに、アンケートの内容について意見交換を行った。
第3回 令和4年 2月10日	「運営方針」をより充実させるため、アンケートの趣旨や目的が回答者に伝わるよう個々の設問の趣旨や狙いについて、意見交換を行った。

(2) 放課後児童健全育成事業運営方針検討委員会での「放課後児童健全育成事業の運営方針（素案）」に対する主な意見について

① アンケート結果についての意見

- ・時間延長のニーズは確認できるが前回モデル実施では利用者が少なかったことへの検証が必要。
- ・子どもの自立について、保護者に充分伝わっていない。
- ・保護者、子どもアンケートともに新BOPの環境を「にぎやかで楽しい」と感じていることは、厳しい環境の中でも職員の目が行き届いているのではないか。
- ・約75%の子どもが楽しいと回答する一方、わからない、楽しくないが約25%もいるという印象を受けたことに留意すべきである。

② 素案についての意見

- ・子どもが成長し発達（成育）する力を尊重し、それを保護者や社会が支援することの必要性を重視する立場を明確にするため成育支援とすべき。
- ・放課後の過ごし方について、学童クラブや児童館のほか地域を含め包括的なケアを検討すべき。
- ・さまざまな家庭環境にある子どもたちや、障害のある子どもたちが、互いを尊重し、ともに過ごすインクルーシブな放課後の環境づくりと、そのための支援について示すべき。
- ・全体を通し、子どもの視点（子どもの最善の利益の視点）に立った運用方針にすべき。
- ・社会的養育専門委員会報告を反映させ「子どもへの意見・意向支援をし、子どもの意見・意向を聴き、受け止め、子どもが参加することを保障すること。
- ・保護者への情報提供や支援、事業への参加・参画の内容を示すべき。

- ・保護者との信頼関係を築くことに努めるとともに、子育てのこと等についての保護者への情報提供や相談支援に心がけること。
- ・職員の人材育成について、基盤研修と発展研修など体系化するとともに、OJTにより資質向上を図ること。
- ・第三者評価もしくは自己評価と利用者評価を公表するべき。

(3) 意見を踏まえた運営方針案の策定にあたっての方向性について

子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心できる環境のもとで、生きる力と主体性を伸ばし、成育を支える ・子どもの最善の利益の視点に立ち、子どもにとって楽しく安心して過ごせる場所となるよう、国や都の基準にプラスして区で定める支援の質やより良い環境づくり ・放課後に子どもが自らの過ごし方を選択する環境や機会の提供を通じた子どもの成長に応じた自立支援 ・さまざまな状況や状態の子どもが互いを尊重し、ともに過ごすインクルーシブな放課後の環境づくり
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を築くことに努めるとともに、保護者への情報提供や相談支援等に心がける
学校及び地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区の地域性や関係機関の状況等を反映した連携・協働 ・児童館や地域のネットワークをはじめ、日ごろの支援、子どもたちの緊急時の支援体制の構築や保護者支援の強化
職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門性の維持・向上を図り、一層ソーシャルワークの取り組みが可能となる人材育成
事業内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業の適正な運営のため、第三者評価を行い事業の安定性及び継続性、質の確保を図る

4 運営時間延長モデル事業の再開について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和3年度から一旦休止としている新BOP学童クラブ運営時間延長モデル事業（以下「モデル事業」という。）については、保護者アンケートの結果や他区の状況等を踏まえ、年内のできるだけ早期にモデル事業を再開し、今後、全校で時間延長の実施に向けた検討を進めていく。

(1) アンケート結果の検証

保護者アンケートの中で、開所時間で困ったことがあったと回答したのは23.9%であり、その内、週に数日程度や月に数日程度必要な児童も一定数いることから、スポット的な運用の導入など、必要性の検証が必要である。

(2) 国の「放課後児童クラブ運営指針」では、その解説書で保護者の就労時間や就労状況が多様化している実態を踏まえ、地域における保育所等の開所時間等も参考とすることが望まれるとしている。

(3) 23区では民間の活用も含め、世田谷区以外の区で19時以降の運営時間を実施している。世田谷区においても、福祉的な観点から真に運営時間の延長が必要な保護者や児童に対し、必要な対応を行うため、早期の運営時間の見直しが必要となっている。

5 活動スペース拡大に向けた学校施設の利用確保について

大規模化、狭隘化している新BOPについて、活動スペースの拡大に向けて、普通教室及び特別教室等の利用確保を進めている。

(1) 調整状況

- ・児童数の増加や、国が定める35人学級による教室増の対応等により、学校施設の状況は変容しており、全新BOPを対象として、ヒアリング調査及び現地調査により、活動スペースの拡大が必要な新BOPを確認している。

・利用確保の状況

(令和4年5月13日現在)

	利用可能な教室等	備考
烏山小学校	普通教室2室	※通常は1室利用
奥沢小学校	会議室	
松丘小学校	会議室、理科室	
山野小学校	算数少人数教室、第2音楽室、家庭科室	
祖師谷小学校(調整中)	すまいるルーム	照明工事等、整備を実施

(2) 今後の進め方

児童が安全に利用しやすい状況とすることを主眼に、普通教室に加え、特別教室等の利用も含め、調整を進めていく。

6 今後のスケジュール(予定)

- | | | | |
|------|-----|-----|---|
| 令和4年 | 6月 | 第5回 | 世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針検討委員会 |
| | 7月 | 第6回 | 世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針検討委員会
福祉保健・文教常任委員会(運営方針案、時間延長モデル等) |
| | 9月 | | 福祉保健・文教常任委員会(民間の放課後児童健全育成事業の活用の考え方等) |
| 令和5年 | 2月 | | 福祉保健・文教常任委員会(民間の放課後児童健全育成事業者の募集) |
| 令和6年 | 1月頃 | | 民間放課後児童健全育成事業所の開設(プレオープン含む) |

1. 概要

(1) 目的

新BOP学童クラブにおいては、活動場所の不足や登録児童数の増加による狭隘化、大規模化、また多様化する子どもと保護者ニーズへの対応の課題がある。「子どもの放課後の過ごし方に関するアンケート」を実施することで、民間事業者の活用も視野に入れた区の放課後児童健全育成事業の質の確保の方策や課題解決につなげていく。

(2) 視点

- ・運営方針に世田谷オリジナル（自立、児童が楽しく・自由に意見が言える、行きたいと思える等）を反映するための現状を把握する。
- ・新BOP学童クラブを、児童にとって楽しく・意見が自由に言え・行きたいと思える場所とするために何が必要か。
- ・区が課題として捉えていること（狭隘化・大規模化）と、児童・保護者が新BOP学童クラブに求めるものは、合致しているかを確認する。
- ・子どもの生活全体のリズムや発達面を考慮した、保護者の多様な働き方等にも対応した運営時間を把握する。
- ・民間の放課後児童健全育成事業所の利用ニーズを把握する。

(3) 実施時期 2022（令和4）年3月10日（木）～3月31日（木）

2. アンケート調査結果

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・一部コロナ禍による影響あり。

(1) 保護者アンケート

調査対象	・区立小学校に通学している低学年児童（1～3年生）の保護者 ・新BOP学童クラブに登録している高学年児童（4～6年生）の保護者
調査方法	WEB上に回答画面を構築し、回答者は自身の通信端末より回答 ※調査画面のURL、二次元コードを区から各家庭に配布
回収状況	配布数 19,219人 (2021年5月1日現在の区立小学校への在籍児童数に基づき、各家庭へ配布) 有効回答数 7,038人 回収率 36.6%

(2) 児童アンケート

①新BOP学童クラブ登録者

調査対象	新BOP学童クラブに登録している児童（1～6年生）
調査方法	新BOP学童クラブにてアンケート用紙に回答 ※記入が難しい児童は職員が補助
回収状況	配布数 7,444人 (2022年2月1日現在の新BOP学童クラブ登録児童数に基づき、各新BOPへ配布) 有効回答数 3,394人 回収率 45.6%

②新BOP学童クラブ未登録者

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・BOP利用児童（1～6年生） ・プレーパーク利用児童（1～6年生） ・児童館利用児童（1～6年生） ・青少年交流センター（アップス）利用児童（1～6年生）
調査方法	調査対象施設にてアンケート用紙に回答 ※記入が難しい児童は職員が補助
回収状況	有効回答数 1,007人

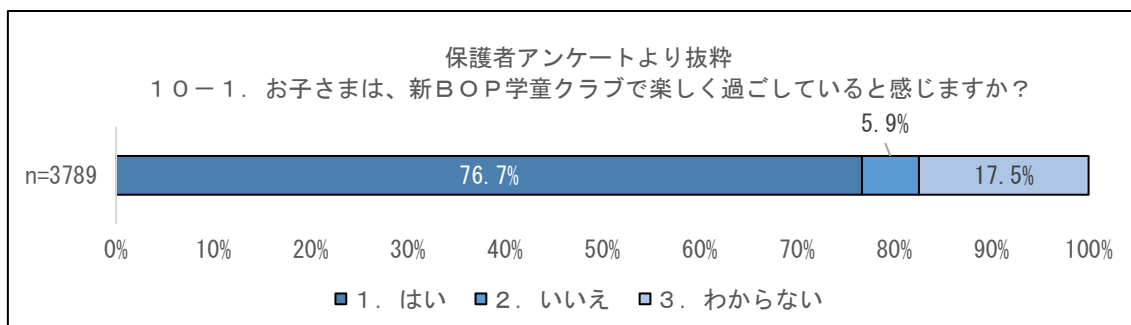
3. 結果概要（抜粋）

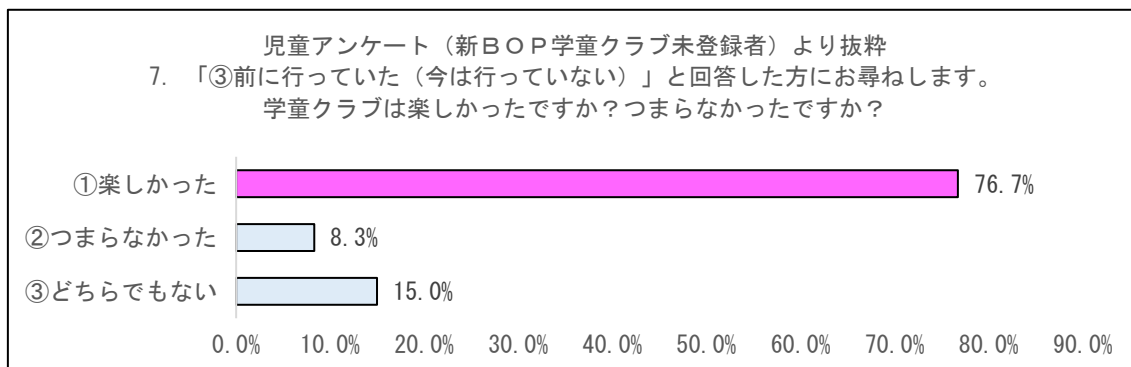
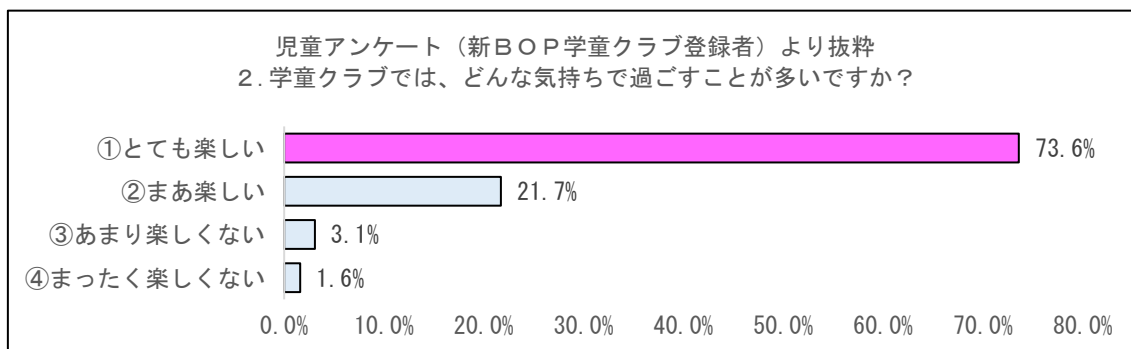
※1. 概要（2）視点に関するアンケート結果を一部抜粋。

運営方針に世田谷オリジナル（自立、児童が楽しく・自由に意見が言える、行きたいと思える等）を反映するための現状を把握する。
新BOP学童クラブを、児童にとって楽しく・意見が自由に言え・行きたいと思える場所とするために何が必要か。

①新BOP学童クラブで児童が楽しく過ごせているか。

保護者アンケートにおいて「1. はい」と回答する割合は76.7%、新BOP学童クラブ登録者の児童アンケートにおいて「①とても楽しい」「②楽しい」と回答する合計割合は95.3%、新BOP学童クラブ未登録者の児童アンケート回答者のうち以前新BOP学童クラブに行っていた児童においても「①楽しかった」と回答する割合は76.7%であり、概ねの児童が楽しいと感じていることがわかった。

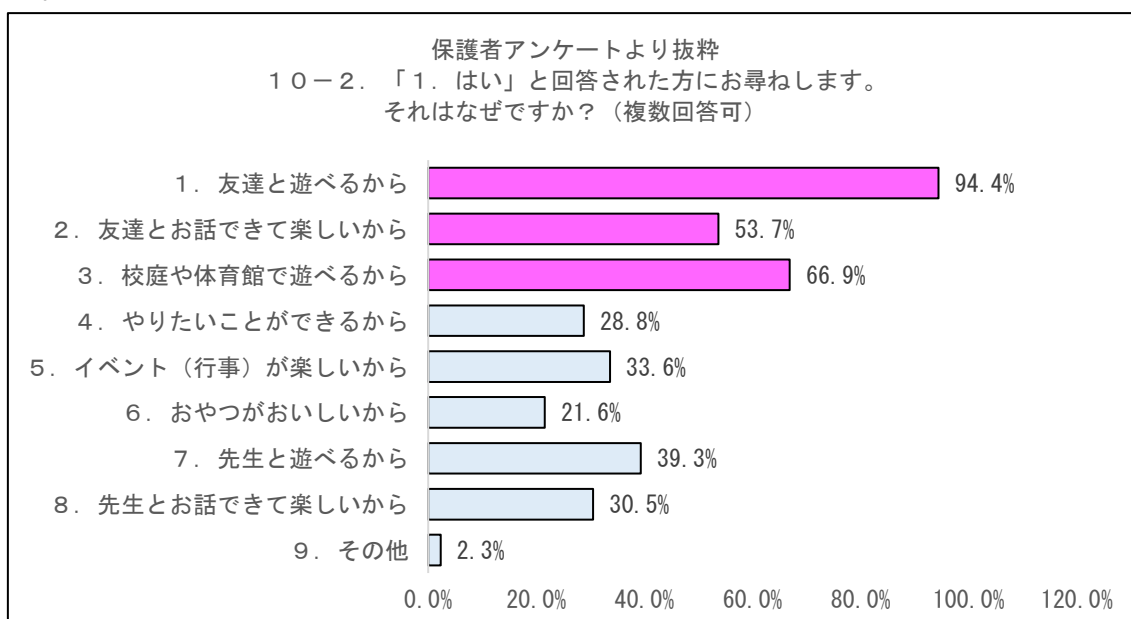




新BOP学童クラブ登録者の児童アンケートにおいて、「①とても楽しい、②楽しい」と回答した理由としては、色々なおもちゃがある、友達といっぱい遊べる、校庭で遊べるなどの回答がみられた。「③あまり楽しくない、④楽しくない」と回答した理由としては、友達がいらない、おもちゃに飽きたなどの意見がみられた。

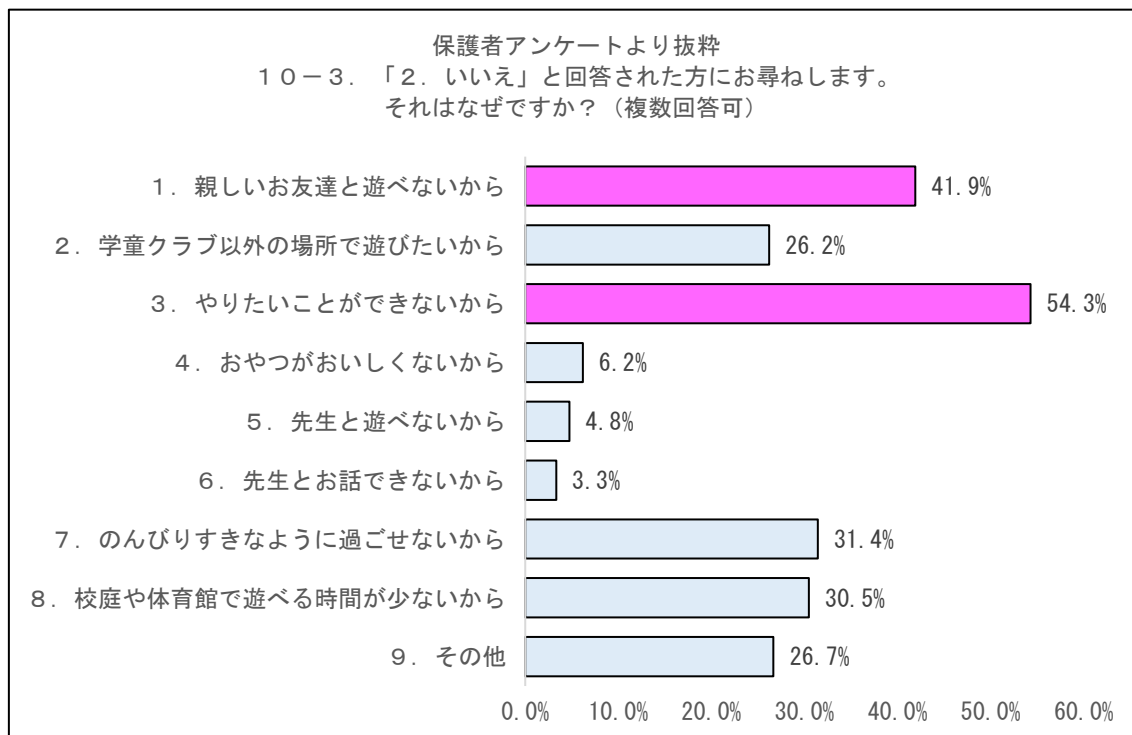
②楽しく過ごせている理由

保護者アンケートより、新BOP学童クラブで楽しく過ごせていると回答した理由は、「1. 友達と遊べるから（94.4%）」、「3. 校庭や体育館で遊べるから（66.9%）」、「2. 友達とお話できて楽しいから（53.7%）」の回答が多かった。



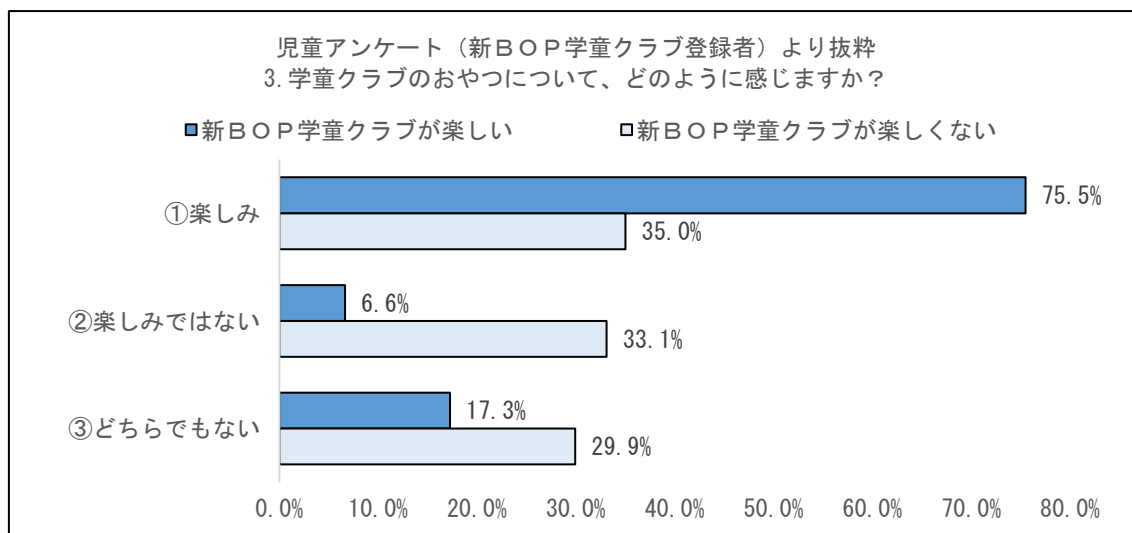
新BOP学童クラブで楽しく過ごせていないと回答した理由は、「3. やりたいことができないから（54.3%）」が多く、次いで「1. 親しいお友達と遊べない

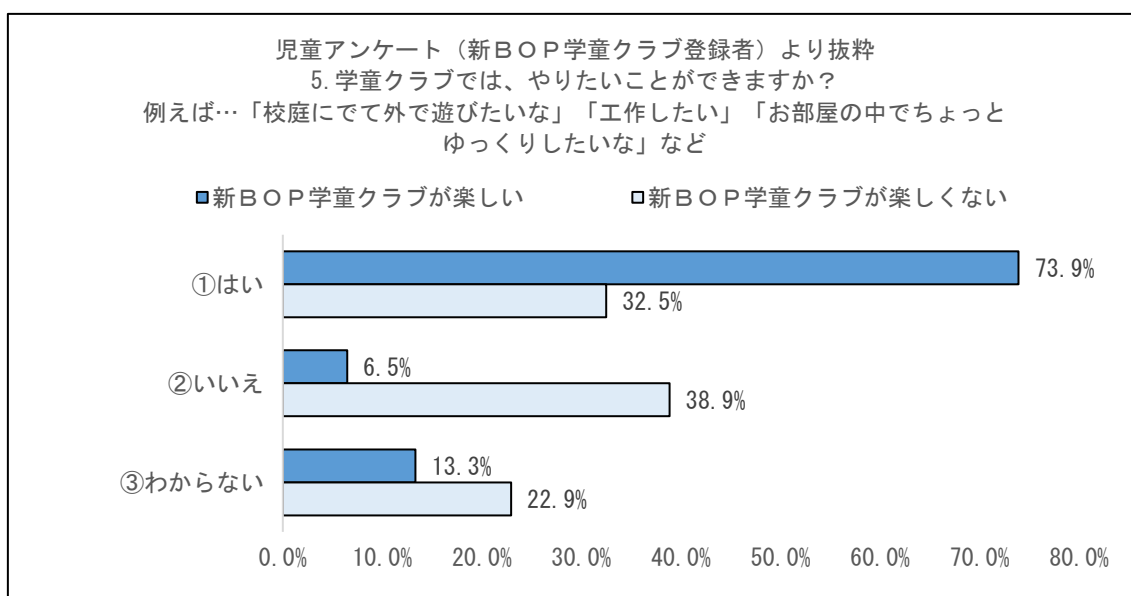
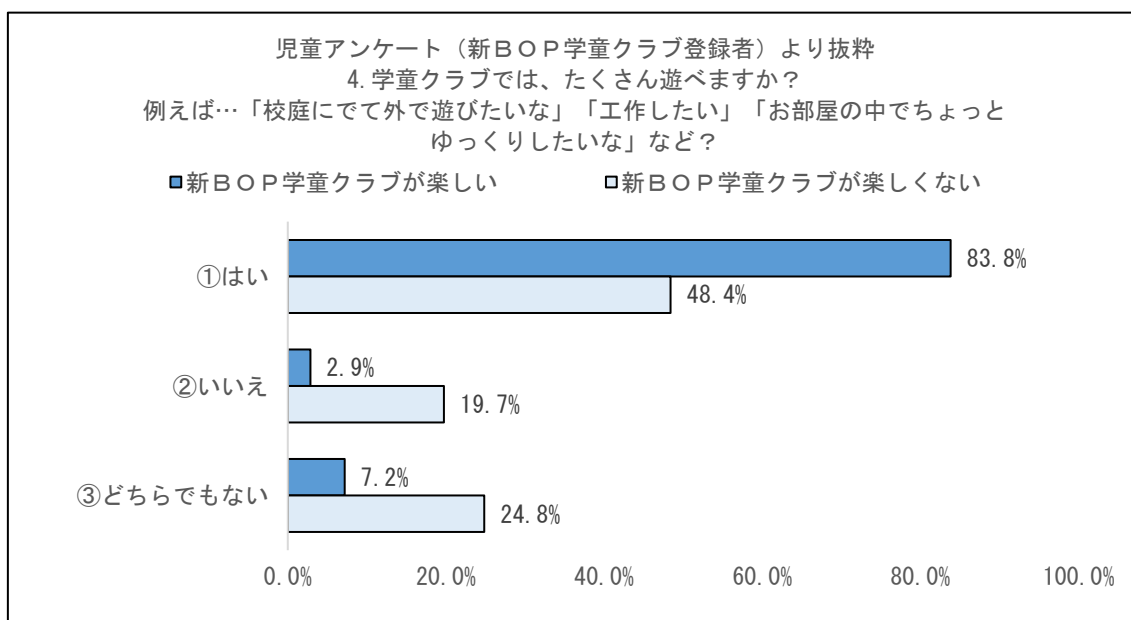
から (41.9%)」が多かった。



新BOP学童クラブ登録者の児童アンケートにおいては、新BOP学童クラブが楽しいと回答している児童の方が、「たくさん遊べる (83.8%)」、「おやつが楽しみ (75.5%)」、「やりたいことができる (73.9%)」と答えている。

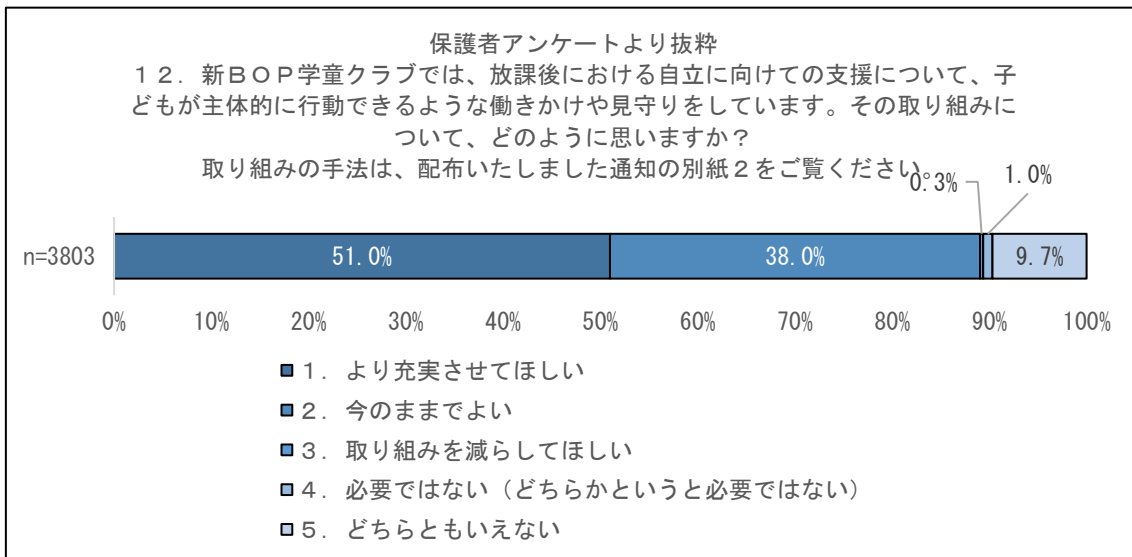
また、「5. 新BOP学童クラブでは、やりたいことができるか？」の問に対しては、新BOP学童クラブが楽しくないと回答している児童のうち 38.9%が「②いいえ」と回答しており、「①はい」の 32.5%を上回っている。





③放課後における自立に向けての支援についてどう思うか。

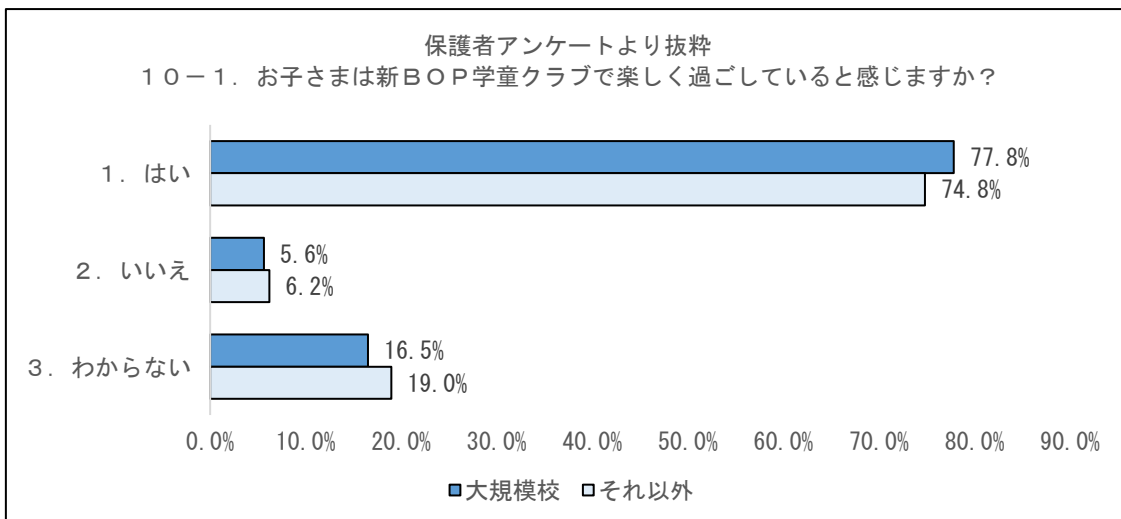
保護者アンケートにおいて「1. より充実させてほしい」と回答する割合は51.0%、「2. 今のままでよい」と回答する割合は38.0%であった一方、その他のご意見では、子どもの性格や成長にあわせた支援をしてほしい、今回初耳だった、子どもだけで留守番させることに災害や防犯上の不安を感じるなどの声があった。



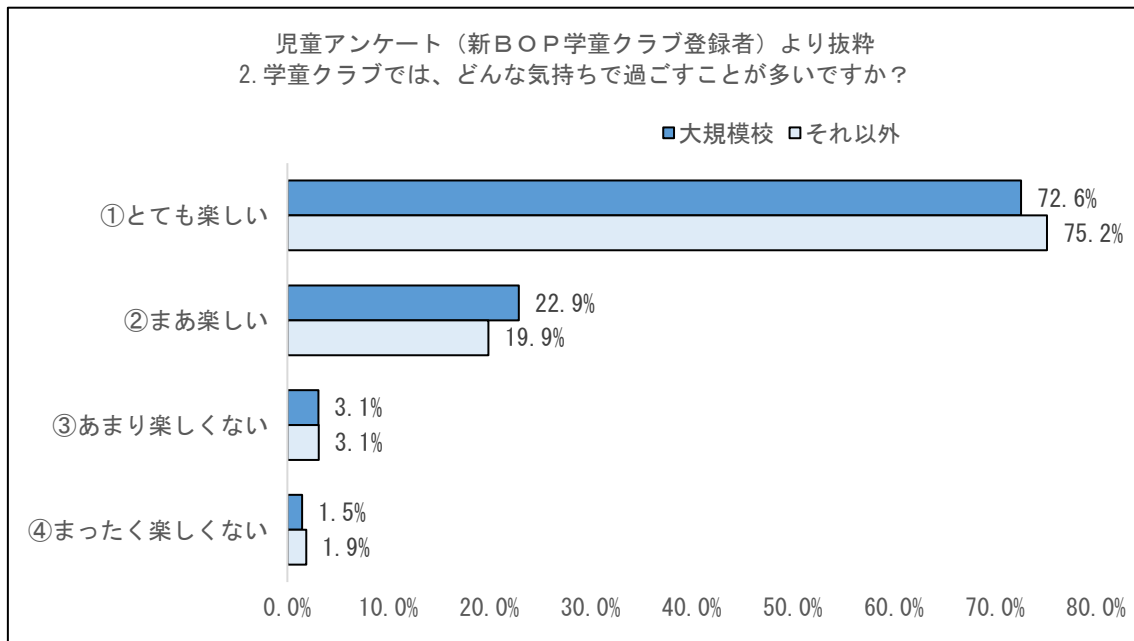
区が課題として捉えていること（狭隘化・大規模化）と、児童・保護者が新BOP学童クラブに求めるものは、合致しているかを確認する。

④保護者アンケートにおいて、大規模校とそれ以外の新BOPについて、新BOP学童クラブを楽しめているかに差はみられなかった。

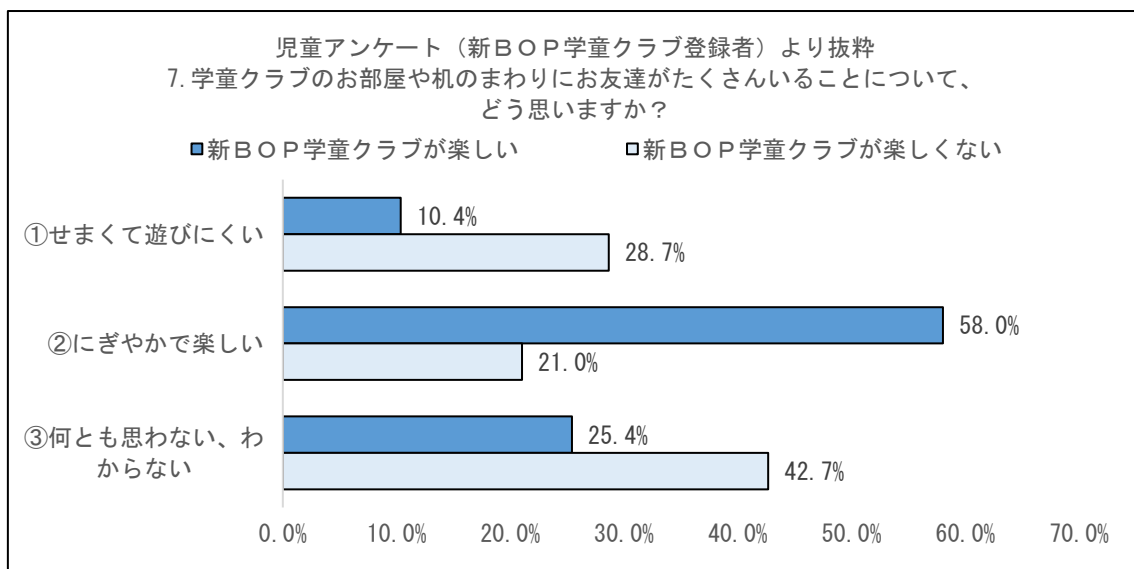
しかしながら、「2. いいえ」と回答した理由のその他意見には、人数が多くあまり心地よくない、大規模すぎて落ち着かない、物理的にスペースが狭く窮屈との声が見られた。

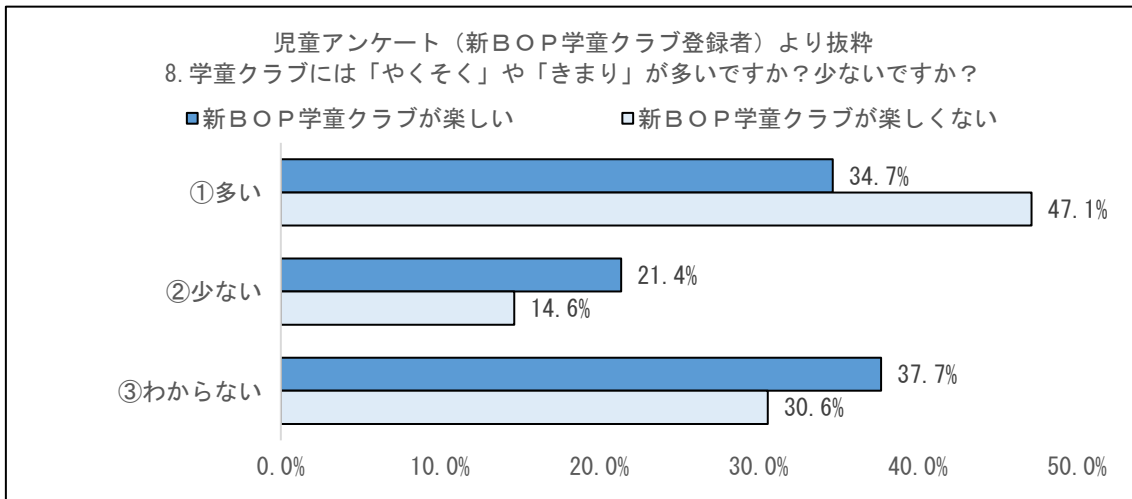


新BOP学童クラブ登録者の児童アンケートにおいても、大規模校とそれ以外の新BOPについて、新BOP学童クラブを楽しめているかに差はみられなかった。



しかしながら、新BOP学童クラブが楽しいと回答している児童に比べて、楽しくないと回答している児童の方が、新BOP学童クラブはせまくて遊びにくい、「約束」や「きまり」が多いと感じている傾向がある。

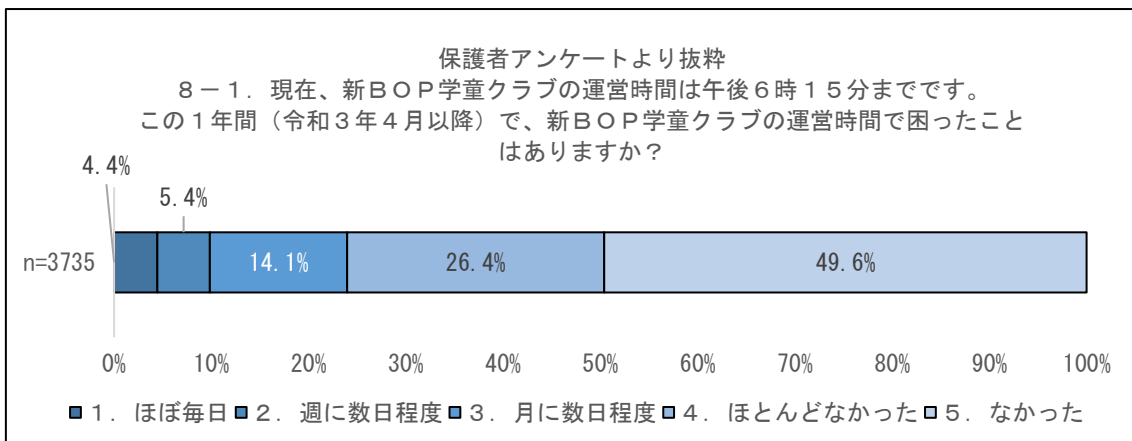




子どもの生活全体のリズムや発達面を考慮した、保護者の多様な働き方等にも対応した運営時間を把握する。

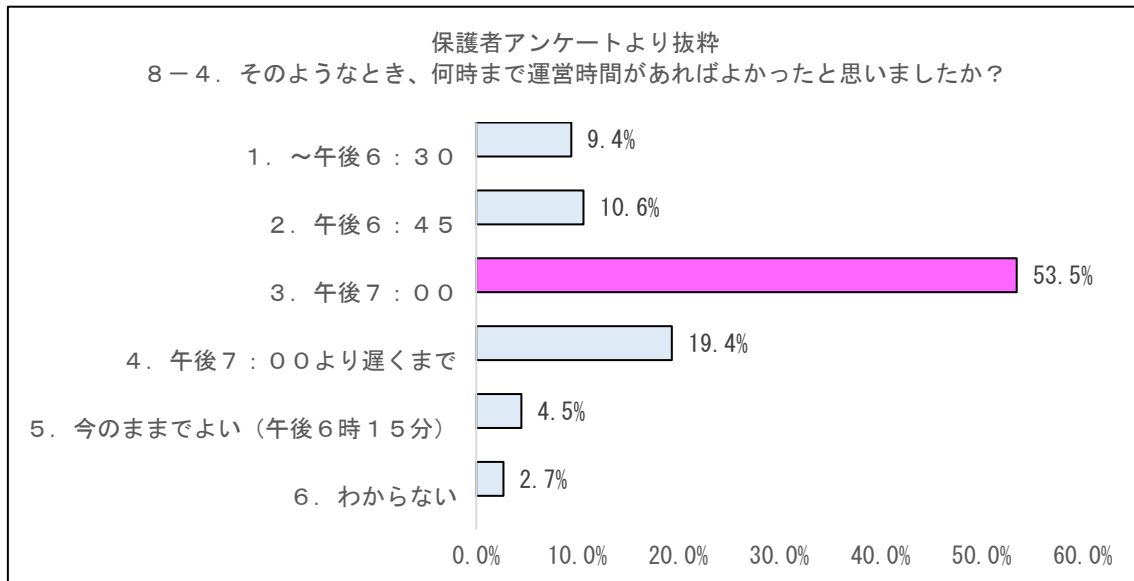
⑤新BOP学童クラブの運営時間で困ったことがあるか。

保護者アンケートにおいて「1. ほぼ毎日」「2. 週に数日程度」「3. 月に数日程度」と回答する合計割合は23.9%、「4. ほとんどなかった」「5. なかった」と回答する合計割合は76.0%であった。

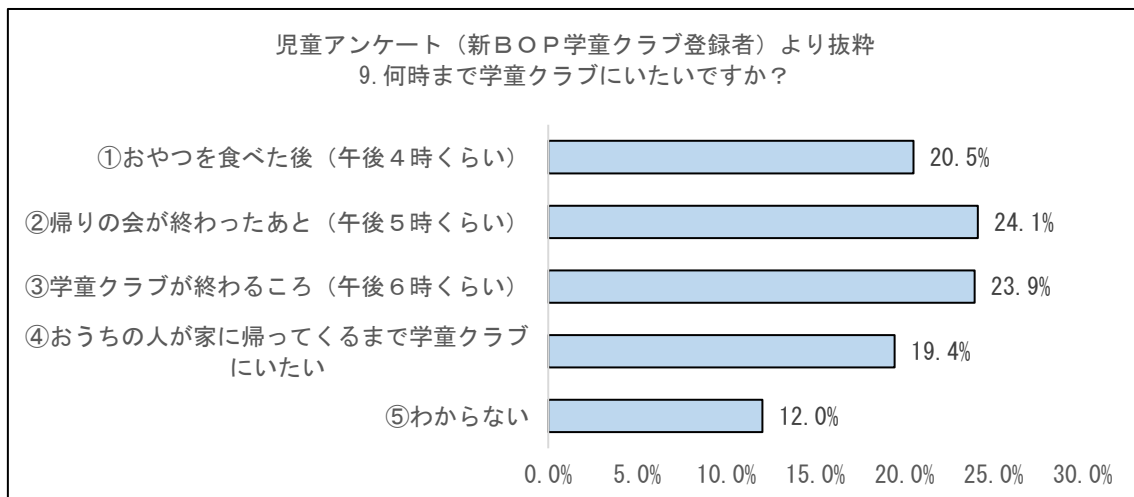


困った理由（問8-2）としては、「1. 仕事で遅くなったとき」が86.7%であり突出していた。その時の対応（問8-3）としては、「1. 仕事を断った又は調整した」が42.7%と多く、次いで「2. 子どもだけで留守番した」が28.7%と多い。

また、困ったことがあると回答した 23.9%のうち、午後7時まで運営時間があればよかったと回答した合計割合は73.5%^[t1]（内訳「1. ～午後6:30」9.4%、「2. ～午後6:45」10.6%、「3. ～午後7:00」53.5%）であった。



⑥子どもは何時まで新BOP学童クラブにいたいのか。



民間の放課後児童健全育成事業所の利用ニーズを把握する。

⑦新BOP学童クラブの代わりに、民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）を利用したいか。（BOPは併用可）

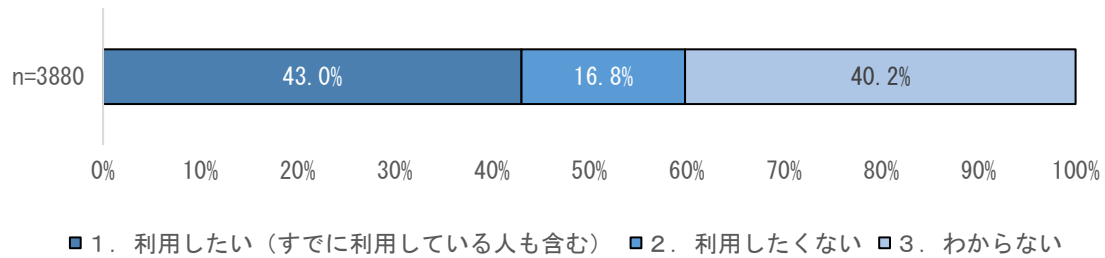
※放課後児童健全育成事業とは、放課後の預かりサービスとは異なり、児童福祉法に基づき運営している学童クラブ（新BOP学童クラブも該当）である。

「1. 利用したい（すでに利用している人も含む）」と回答する割合は43.0%、「2. 利用したくない」と回答した割合は16.8%、「3. わからない」と回答した割合は40.2%であった。

保護者アンケートより抜粋

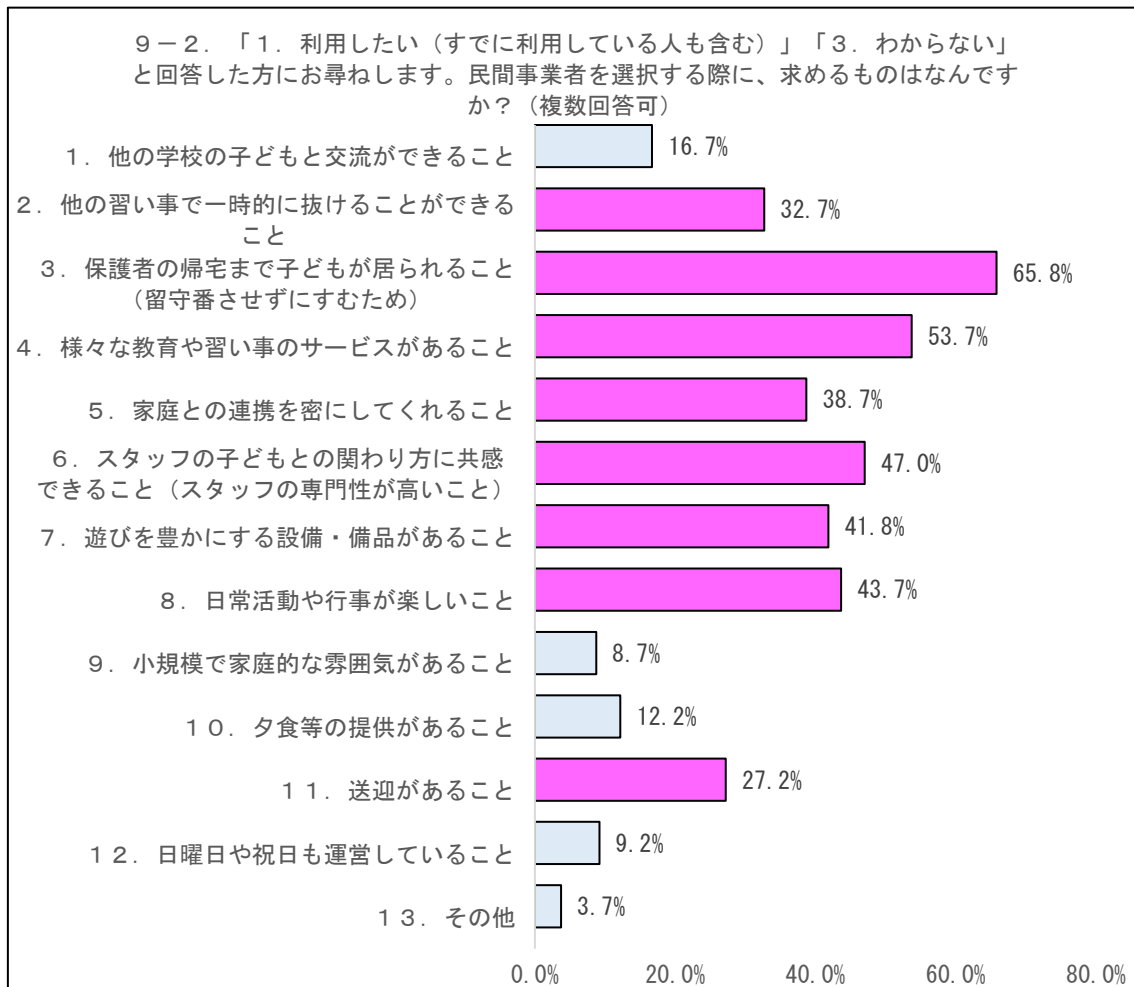
9-1. 新BOP学童クラブの代わりに、民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）を利用したいですか。（BOP可）

現在、新BOP学童クラブには、『緊急かつ重要な課題が3つ』あります。その課題の解決に向けて、民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所（現在2か所）を今後増やしていき、子どもの放課後の居場所として活用することを検討しています。詳しい内容は、配布しました通知の別紙1をご覧ください。



民間事業者を選択する際に求めるものとしては、「3. 保護者の帰宅まで子どもが居られること（留守番させずにすむため）（65.8%）」が多く、次いで「4. 様々な教育や習い事のサービスがあること（53.7%）」「6. スタッフの子どもとの関わり方に共感できること（スタッフの専門性が高いこと）（47.0%）」「8. 日常活動や行事が楽しいこと（43.7%）」「7. 遊びを豊かにする設備・備品があること（41.8%）」「5. 家庭との連携を密にしてくれること（38.7%）」「2. 他の習い事で一時的に抜けることができること（32.7%）」、「11. 送迎があること（27.2%）」の回答が多かった。[t2]

一方で、その他のご意見として、安全性やスタッフの質、感染症対策、利用料に不安があるとの声もあった。



世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針の素案について

別紙 2

令和2年度新BOPあり方
検討委員会報告書

現行の新BOP学童クラブの運営体制を
ベースとし、民間事業者も一部活用する等
による見直しを検討すべき

**放課後児童健全育成事業
の運営方針検討委員会**
【学識経験者、区民委員、児童館職員ほか】
全6回（令和3年12月～令和4年7月）

令和4年3月実施
保護者
児童アンケート

運営方針について

区が定める放課後児童健全育成事業の支援の質を確保し、事業の安定及び継続性の確保を図り、且つ、子どもの視点に立ち、子どもにとって安心して過ごせる場となるよう、放課後児童健全育成事業を望ましい方向に導くものである。

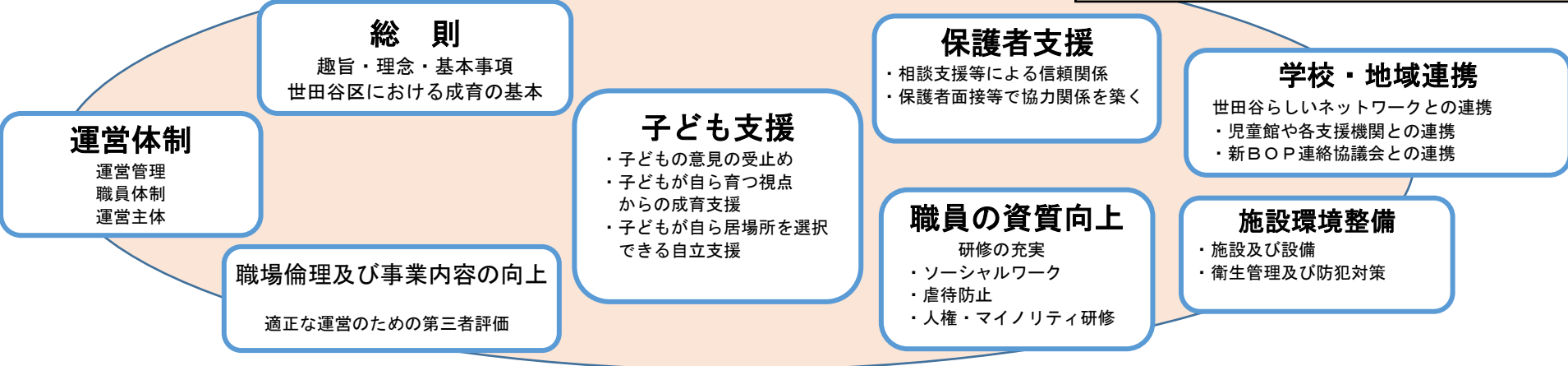
運営方針の策定にあたっては、国の「放課後児童クラブ運営指針」及び「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえ、世田谷区子ども計画（第2期）後期計画に準拠したものとした。

策定にあたっての方向性

- ◇子どもの視点にたち、楽しく安心して過ごせる場となるよう支援
- ◇子どもが自らの気持ちや意見を表現することができる
- ◇さまざまな家庭環境や、障害のある子どもたちが、互いを尊重し、ともに過ごすインクルーシブな放課後の環境づくりとその支援
- ◇事業の安定性及び継続性の確保、望ましい事業の運営
- ◇世田谷区の地域性や関係機関との世田谷らしい連携・協働
- ◇子どもたちの緊急時の支援体制の構築や保護者支援の強化
- ◇職員の専門性の維持・向上と人材育成
- ◇子どもが成長し成育する力を尊重し、それを保護者や社会が支援する必要性を重視

**世田谷区放課後児童健全育成事業
の運営方針**

- ・理念や目標、遊びを通じて育みたい資質・能力
- ・子ども支援、保護者支援、子どもの自立支援
- ・学校及び地域との連携 などを検討中

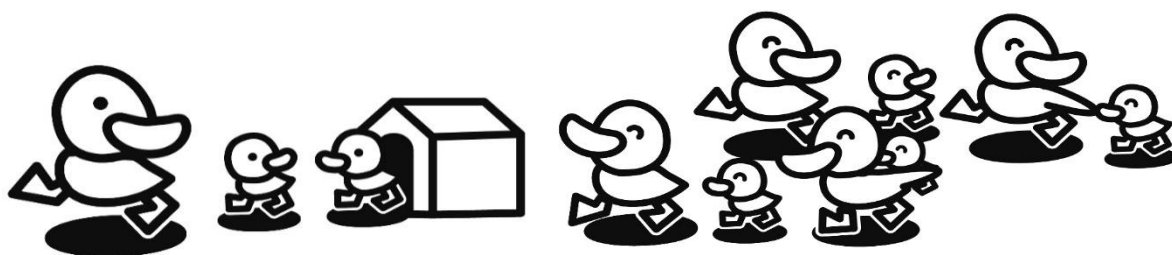


2022. 4. 27 時点

世田谷区放課後児童健全育成事業の運営方針

素案

UD フォント使用予定



令和4年 月

世 田 谷 区

はじめに

1 運営方針とは

この運営方針は、区で定める放課後児童健全育成事業の支援の質を確保し、事業の安定及び継続性の確保を図り、且つ、子どもの視点に立ち、子どもにとって安心して過ごせる場となるよう、放課後児童健全育成事業を望ましい方向に導くものである。

運営方針の策定にあたっては、地方自治法に基づく技術的助言である国の「放課後児童クラブ運営指針」（平成27年3月31日 雇児発第0331第34厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）及び「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえ、世田谷区子ども計画（第2期）後期計画に準拠したものとした。表記にあたっては、基本的な項目について、子どもにわかりやすい表現を併記するなど、子どもにも大人にもわかりやすい内容となるよう努める。

2 策定にあたっての方向性

- ①子どもの視点（子どもの最善の利益の視点）に立ち、子どもにとって楽しく安心して過ごせる場となるよう、区で定める支援の質やより良い環境を示す。
- ②子どもが自分の気持ち（意向）や意見を表現することができるように援助し、子ども自身が放課後の遊びや生活に主体的に関わることができるよう、子どもの意見表明とその受け止めについて示す。
- ③さまざまな家庭環境にある子どもたちや、障害のある子どもたちが、互いを尊重し、ともに過ごすインクルーシブな放課後の環境づくりと、そのための支援について示す。
- ④事業の安定性及び継続性の確保を図り、かつ、放課後児童健全育成事業の運営の望ましい方向を示す。
- ⑤世田谷区の地域性や関係機関の状況等を反映した世田谷らしい連携・協働を示す。
- ⑥子どもたちの緊急時の支援体制の構築や保護者支援の強化を示す。
- ⑦職員の専門性の維持・向上と人材育成を示す。
- ⑧運営方針では、子どもが成長し発達（成育）する力を尊重し、それを保護者や社会が支援することの必要性を重視する立場を明確にするため成育支援という言葉を使うこととする。

職員に求められる姿

<input type="checkbox"/> 「子どもが何を求めているか」を知ろうとしている。
<input type="checkbox"/> 子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している。
<input type="checkbox"/> 職員は、一人ひとりの子どもの行動や欲求に、わかりやすい言葉で穏やかに個々の子どもに語りかけ、応答的に関わっている。
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの生活習慣や文化などの違いを知り、それを認めあう心を育てるよう努めている。
<input type="checkbox"/> 地域社会との交流及び連携を図り、子どもの保護者及び地域社会に対し協働に努めている。
<input type="checkbox"/> 職員会議、研修、他の放課後児童クラブ等との交流等を通して、自身の育成の課題や不足している専門知識・技術について「気づき」の機会を多く持とうとしている。

理 念

子どもが安心できる環境のもとで、
生きる力と主体性を伸ばし、成育を支えます

がっこう お はる なつ ふゆやす ばしょ
～学校が終わってからと、春・夏・冬休みは、こんな場所にいたいな～

—根拠説明—

【楽しく・安全安心】

- 遊び等に自由に参加する権利と、そのための平等な参加機会と条件提供の保障
(児童の権利に関する条約第 31 条)
- 生命、生存及び発達に関する権利
(児童の権利に関する条約第 6 条)
- 生命・自由及び幸福追求権 (憲法第 13 条)
- 保育所保育指針の養護の定義

【生きる力と主体性】

- 子どもの意向把握・意見表明と、意見を聴かれる権利の保障
(児童の権利に関する条約第 12 条)

【情緒の安定】

- 保育所保育指針の養護の定義

【その他指針の該当部分に盛り込むべき理念】

- 団体のメンバーになることを選択権 (児童の権利に関する条約第 15 条)
- 障害のある子どもたちにとってのインクルーシブな環境
(児童の権利に関する条約第 23 条)
- 困難な生活環境下の子どもたちへの遊ぶ権利の保障
(児童の権利に関する条約第 27 条)
- 子どもの人格、才能ならびに精神的・身体的能力を可能な限り最大に発達させることのための必要な「刺激」の提供
(児童の権利に関する条約第 28/29 条)

児童の権利に関する条約 (子どもの権利条約)

児童の権利に関する条約は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約である。18 歳未満の児童を権利をもつ主体と位置づけ、大人と同様一人の人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定める。前文と本文 54 条からなり、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するために必要となる具体的な事項を規定する。

1989 年の第 44 回国連総会において採択され、1990 年に発効し、1994 年に批准した。

～Unicef 子どもの権利条約より～

第1章 総則

1 趣旨

放課後児童健全育成事業の支援の質の向上に資することを目的とし、世田谷区が目指す放課後児童健全育成事業の望ましい方針を示す。

この運営指針は、世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例（平成26年9月世田谷区条例第39号。以下、「基準」という。）に基づき、放課後児童健全育成事業を行う場所（以下「放課後児童クラブ」という。）における、子どもの健全な成育と遊び及び生活の支援（以下「成育支援」という。）の内容に関する事項及びこれに関連する事項を定めるものである。

また、児童福祉法（昭和22年法律第164号。以下、「法」という。）第34条の8の3第3項の規定に基づき措置を命じる場合の処分基準、基準第9条第1項の規定により勧告を行う場合における指導基準の性格を有するものとする。

2 世田谷区放課後児童健全育成事業について

①子どもの権利

子どもの最善の利益を考慮して成育支援を推進することに努める。

②事業の内容

遊びと生活の場の提供及び遊びを通じた生活支援

③対象児童

小学校1年生から3年生までの児童。心身の発達等により個別的配慮が必要な児童は6年生までとする。

3 世田谷区放課後児童健全育成事業における成育支援の基本

①放課後児童健全育成事業における成育支援

子どもが楽しく安心して過ごせる生活の場としての環境を整え、安全面に配慮しながら、生きる力と主体性を伸ばし、成育を支える。

②放課後児童健全育成事業の社会的責任

子どもへの意見・意向支援をし、子どもの意見・意向を聴き、受け止め、子どもが参加することを保障する。

③放課後健全育成事業における自立支援の取り組み

子どもが自主的に放課後の居場所を選択し、主体的に過ごすことができるように、さまざまなかたちで成長に応じた支援を行う。

目標 候補例 →子どもの視点の導入

(1) 全ての子どもが楽しく過ごせる場所

(2) 全ての子どもが自由に発言できる場所

(3) 全ての子どもが行きたいと思える場所

(4) 全ての子どもが安全で安心して過ごせる場所

(5) 全ての子どもが健やかに成長できる場所

全ての子どもが、相互に人格と個性を尊重し合いながら、健やかに成長し、社会との関りを自覚しつつ、自立した個人としての自己を確立し、他者ととともに社会の構成員として自分らしく尊厳をもって社会生活が営むことができるように、その成長を支えつつ、伴走する。

(6) 全ての子どもが様々な学びや体験ができる場所

全ての子どもが、様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びの機会に接することができる、それにより自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな状態で成長できるよう支える。

(7) 家庭における子育てをしっかりと支えられる場所

子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援することが、子どものより良い成長の実現につながる。

遊びを通じて育みたい資質・能力（育ってほしい姿）

→広い意味での自立の観点の導入

(1) 社会性

(2) 創造性

(3) 自主性

第2章 子どもの成育支援

1 子ども支援における基本的事項

(1) 子どもの権利と意見表明権

子どもの自由を保障するとともに、日常の過ごし方や行事等の活動において、子どもの意見を反映させる機会を設け、様々な過程にある子どもが、それぞれに主体的に運営にかかわることができるように工夫する。

(2) 子どもの意見の受け止め

子どもが職員に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築く。

子ども一人ひとりの放課後児童クラブでの過ごし方を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係に配慮し、子どもの意見を尊重する。

2 事業の対象となる子どもの発達及びねらい

放課後等に子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握しながら成育支援を行う。子どもの様子を把握し、変化に気がつくことができる。

3 放課後児童健全育成事業における成育支援の内容

(1) 成育支援の内容

①保護者と連携した成育支援を行う。

②多様な子どもが過ごす場として、子どもが安心して過ごし、一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする。

③さまざまな状況や状態の子どもが互いを尊重し、ともに過ごすことを通じて、自分と他者、一人と集団、それぞれを豊かにするインクルーシブな環境をつくる。

④固有の援助が必要な場合は、援助を適切に行う。

⑤安心して過ごせる場と信頼できる職員の存在。(相談援助)

子どもが気軽に相談できるような工夫をする。

⑥敏感期ごとの支援

⑦間食

発達過程にある子どもの成長にあわせて、放課後の時間帯に必要とされる栄養面や活力面を考慮して、おやつを適切に提供する。

およつ提供にあたっては、補食としての役割もあることから、昼食と夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等を工夫する。

およつ提供に際しては、安全及び衛生に考慮するとともに、子どもが落ちついて食を楽しめるようにする。

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 食物アレルギーのある子どもについては、配慮すべきことや緊急時の対応等について事前に保護者と丁寧に連絡を取り合い、安全に配慮して提供する。
子どもにとって放課後の時間帯に |
| <input type="checkbox"/> 自由度や内容を工夫する。 |

⑧放課後における自立にむけて、学年や発達段階に応じた支援を適切に行うよう努める。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもへの伝え方を工夫する。高圧的、指導的にならないよう注意する。 |
| <input type="checkbox"/> 卒所後の放課後の過ごし方や過ごせる場所について、子どもや保護者へ情報を提供する。 |

⑨豊かな遊び

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 家庭や学校ではできない遊びや経験ができる。 |
| <input type="checkbox"/> 友人関係にとらわれない遊びを取り入れ、一人でも集団でも楽しめる工夫をする。 |

⑩異学年交流

学年の異なる子ども同士が安心して楽しく過ごし、自主的に支援（サポート）し合える工夫をする。

(2) 障害のある子どもへの支援

障害のある子どもや医療的ケアのある子どもなど、さまざまな状況や状態の子どもの活動の場として、居場所や放課後の過ごし方について関係機関と連携し、児童成育のために専門性の高い人材の確保と成育に取り組む。

障害のある子どもも楽しく過ごせるインクルーシブな居場所であること。

(3) 特に配慮を必要とする子どもへの支援

①児童虐待への対応

②特別な配慮を必要とする子どもへの対応

家庭環境に配慮し、養育に特別な支援を必要とすると把握した場合、適切な支援につなげる。関係機関と連携し、適切な対応を図る。

(4) 緊急時の支援

帰宅後や卒所後に、子どもだけでは解決できない問題が生じた場合、緊急避難場所として子どもを受け入れる。

必要に応じて保護者や関係機関と連携し、子どもの安全を確保する。

4 支援計画及び評価

放課後等に子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握しながら成育支援を行う。子どもの様子を把握し、変化に気がつくことができる。

5 子どもの自立支援

- (1) 世田谷区が目指す放課後の居場所づくりの方向性
- (2) 子ども計画に基づく自立支援とは

第3章 保護者支援

保護者支援における基本的事項

(1) 相談支援強化

保護者との信頼関係を築くことに努めるとともに、子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心がける。

(2) 保護者との連携

①保護者との連絡

連絡帳や電話、個人面談などにより、放課後児童クラブにおける子どもの過ごし方や様子を共有する。

②保護者および保護者組織との連携

協力関係を築き、保護者同士が互いに協力して子育ての責任を果たせるように支援する。

③放課後における自立にむけて、保護者と連携しながら支援するよう努める。

放課後児童クラブにおける支援の方法について保護者へお知らせし、保護者と連携しながら子どもを支援する。

卒所後の放課後の過ごし方や過ごせる場所について、子どもや保護者へ情報を提供する。

第4章 世田谷区放課後児童健全育成事業の運営

1 職員体制

(1) 放課後児童クラブには、年齢や発達の状況が異なる子どもを同時にかつ継続的に成育支援を行う必要があること、安全面での管理が必要であること等から、区条例に基づき支援の単位ごと2人以上の放課後児童支援員を配置する。

(2) 放課後児童支援員等は、支援の単位ごとに成育支援を行わなければならない。

(3) 子どもとの安定的、継続的な関わりが重要であるため、放課後児童支援員の雇用に当たっては、長期的に安定した形態とすること。

(4) 放課後児童支援員等の勤務時間については、子どもの受入れ準備や打合せ、成育

支援の記録作成等、開所時間の前後に必要となる時間を前提として設定されることが求められる。

2 子ども集団の規模（支援の単位）

（１）放課後児童クラブの適切な生活環境と成育支援の内容が確保されるように、施設設備、職員体制等の状況を総合的に勘案し、適正な子ども数の規模の範囲で運営することが必要である。

（２）子ども集団の規模（支援の単位）は、子どもが相互に関係性を構築したり、一つの集団としてまとまりをもって共に生活したり、放課後児童支援員等が個々の子どもと信頼関係を築いたりできる規模として、おおむね 40 人以下とすること。1 か所の事業所では2支援までとすることが望ましい。

3 開所時間及び開所日

（１）開所時間及び開所日は、保護者の就労時間、学校の授業の終了時刻その他の地域の実情等を考慮した設定に努めるものとする。

（２）開所時間は、学校の授業の休業日は1日につき8時間以上、学校の授業の休業日以外の日は1日につき3時間以上の開所を原則とする。なお、子どもの健全育成上の観点にも配慮した開所時間とする。

（３）開所する日数は、1年につき250日以上を原則として、保護者の就労日数、学校の授業の休業日その他の地域の実情等を考慮して設定する。

（４）新1年生については、保育所との連続性を考慮し、4月1日より受け入れを可能にすること。

4 利用の開始等に関わる留意事項

（１）運営主体は、入所の募集に当たり、適切な時期に様々な機会を活用して広く周知を図ることが必要である。その際には、利用に当たっての留意事項の明文化、入所承認の方法の公平性の担保等に努める必要がある。

（２）入所を希望する保護者等に対しては、必要な情報を提供すること。

（３）利用の開始に当たっては、説明会等を開催し、利用に際しての決まり等について説明すること。

（４）特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者のニーズ及び放課後児童クラブでの過ごし方について、十分に保護者等と情報交換すること。

（５）子どもが放課後児童クラブを退所する場合には、その子どもの生活の連続性や家庭の状況に配慮し、保護者等からの相談に応じて適切な支援への引き継ぎを行う。

5 運営主体

（１）放課後児童健全育成事業の実施主体は区が行うこととし、区が適切と認めた者に委託等を行うことができるものとする。放課後児童クラブの運営については、成育支援

の継続性という観点からも、安定した経営基盤と運営体制を有し、子どもの健全育成や地域の実情についての理解を十分に有する主体が、継続的、安定的に運営することが求められる。

(2) 放課後児童クラブの運営主体は、次の点に留意して運営する必要がある。

①子どもの人権に十分配慮するとともに、一人ひとりの人格を尊重して、その運営を行う。

②地域社会との交流及び連携を図り、子どもの保護者及び地域社会に対し、放課後児童クラブの運営の内容を適切に説明するように努める。

③放課後児童クラブの運営の内容について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努める。

④子どもや保護者の国籍、信条又は社会的身分による差別的な扱いをしない。

⑤放課後児童クラブごとに事業の運営について、以下1)～11)の重要事項に関する運営規程を定め、また、職員、財産、収支及び利用者の処遇の状況を明らかにする帳簿を整備すること。

1) 事業の目的及び運営の方針

2) 職員の職種、職員数及び職務の内容

3) 開所時間及び開所日

4) 成育支援の内容及び利用料

5) 定員

6) 事業の実施地域

7) 事業の利用に当たっての留意事項

8) 緊急時等における対応方法

9) 非常時、災害時対策、BCP（非常時の事業継続計画）の作成

10) 虐待の防止のための措置に関する事項

11) その他事業の運営に関する重要事項

⑥放課後児童クラブの運営主体に変更が生じる場合には、成育支援の継続性が保障され、子どもへの影響が最小限に抑えられるように努めるとともに、保護者の理解が得られるように努める必要がある。

第5章 学校及び地域との連携

1 連絡協議会及び関連機関との連携

①学校との連携

日常的・定例的に、子どもの生活の連続性の保障のため、情報交換・情報共有等による連携を図る。

②地域の様々な大人との関わりの重要性

③保育所、幼稚園等との連携

新1年生の発達と生活の連続性の保障のため、情報交換・情報共有等を行う。

④BOPとの連携

⑤児童館との連携（ソーシャルワークの実践）

児童館の有するネットワークに参加し、情報交換・情報共有・交流を図る。

2 要保護児童支援協議会及び関連機関との連携

①児童相談所や子ども家庭支援センターとの連携

3 その他の関係機関との連携

①新 BOP 連絡協議会等への出席

第6章 施設及び設備、衛生管理及び安全対策

1 施設及び設備

「生活の場」、「遊び等の活動拠点」としての機能を備え、専用区画を確保する。
使いやすいトイレやシャワーの設置などの設備の充実

2 衛生管理及び安全対策

- (1) 衛生管理
- (2) 事故やけが防止と対応
- (3) 防災及び防犯対策

第7章 職員の資質向上

職場における研修

放課後児童健全育成事業の運営主体は、職員が自発的、継続的に研修に参加できるように、研修受講計画を策定し、管理するなどの環境を整備していくとともに、職員の自己研鑽、自己啓発への時間的、経済的な支援や情報提供も含めて取り組んでいく。

- (1) ソーシャルワーク
- (2) プレイワーク
- (3) 虐待防止に関する研修
- (4) アレルギー児童への対応に関する研修
- (5) 配慮を要する児童の支援に関する研修
- (6) 人権・マイノリティに関する研修

第8章 職場倫理及び事業内容の向上

1 世田谷区放課後児童健全育成事業の社会的責任と職場倫理

放課後児童支援員等は、仕事を進める上での倫理を自覚し、成育支援の内容の向上に努め、運営主体は全ての放課後児童支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるように組織的に取り組む。

2 要望及び苦情への対応

要望や苦情を受け付ける窓口を設置し、子どもや保護者に周知するとともに、苦情対応には、迅速かつ適切に、誠意を持って対応する。

3 事業内容向上への取り組み

(1) 職員集団のあり方

会議の開催や記録の作成等を通じ、情報交換・情報共有を図り、事例検討等により相互に協力し自己研鑽し、事業内容の向上を目指す職員集団を形成する。

(2) 運営内容の評価と改善

自己評価及び第三者評価を行い、その結果を公表するように努め、評価結果は改善の方向性を検討して事業内容の向上に生かす。

子どもの放課後をより豊かにするためのアンケート結果【全体】

令和4年3月10日～31日実施

I 結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・自由記載については、基本的に回答者が記載した文書をそのまま表記する。

II アンケート結果の詳細

1. 保護者アンケート

- ・調査対象

区立小学校に通学している低学年児童（1～3年生）の保護者

新BOP学童クラブに登録している高学年児童（4～6年生）の保護者

- ・回収状況

配布数 19,219人、有効回答数 7,038人、回収率 36.6%

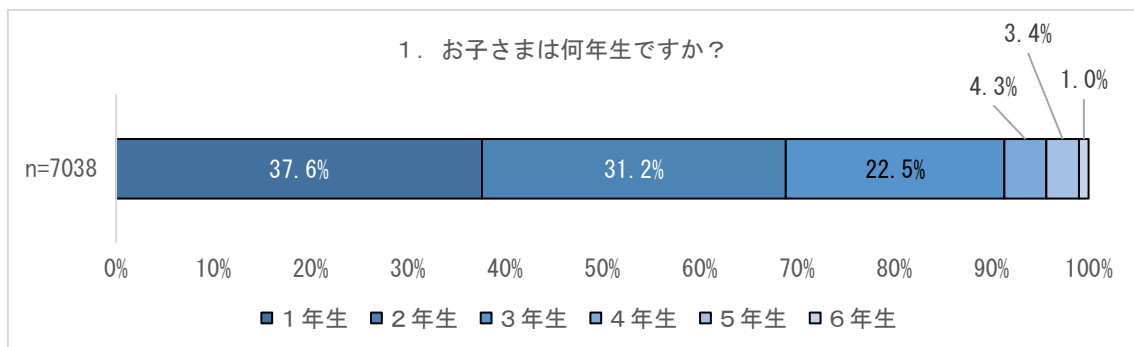


（1）回答者の属性

①学年

回答者全体のうち、1年生が37.6%、2年生が31.2%、3年生が22.5%、4年生が4.3%、5年生が3.4%、6年生が1.0%であった。

（4～5年生については調査対象以外の回答も含む）

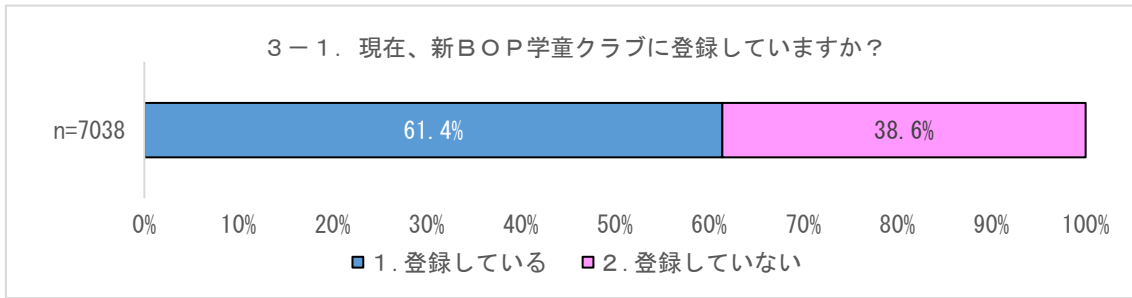


（2）新BOP学童クラブへの利用状況

①登録有無

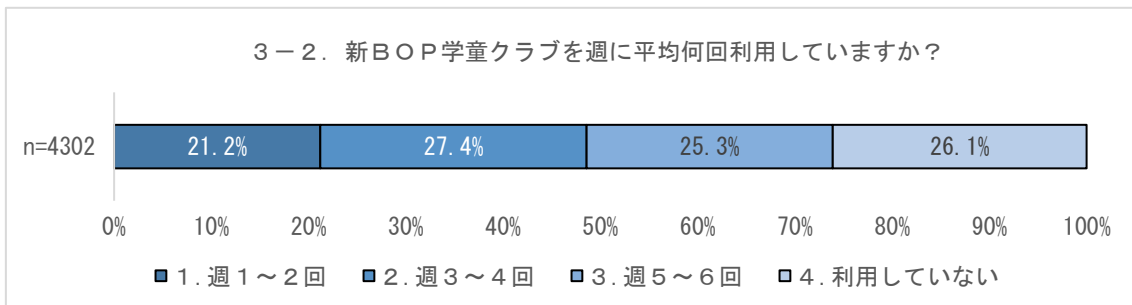
回答者全体のうち、「1. 登録している」と回答した割合は61.4%、「2. 登録していない」と回答した割合は38.6%であった。

（「1. 登録している」と回答した61.4%には、学童クラブ登録者だけでなくBOP登録者が含まれている可能性あり）



②利用頻度

新BOP学童クラブに登録していると回答した 61.4%のうち、週に平均1～2回利用していると回答した割合は 21.2%であった。同じく、「2. 週に3～4回」と回答した割合は 27.4%、「3. 週に5～6回」と回答した割合は 25.3%、「4. 利用していない」と回答した割合は 26.1%であった。

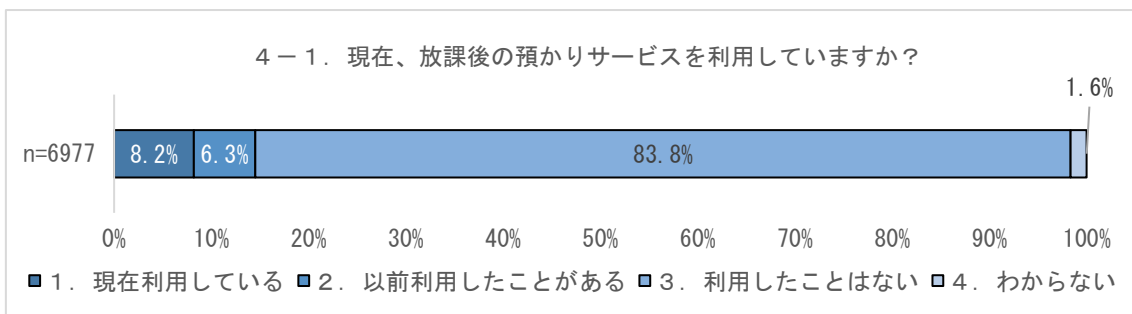


(3) 放課後の預かりサービスの利用状況

※放課後の預かりサービスとは、民間事業者が、学校外で独自に運営するサービスである。

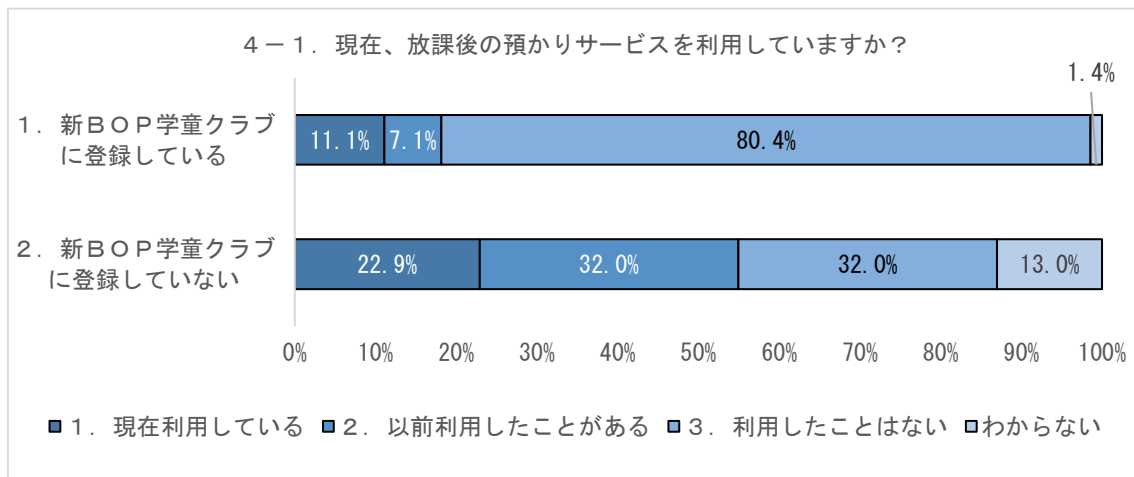
①利用有無

回答者全体のうち、「1. 現在利用している」「2. 以前、利用したことがある」と回答した合計割合は 14.5%、「3. 利用したことはない」と回答した割合は 83.8%であった。

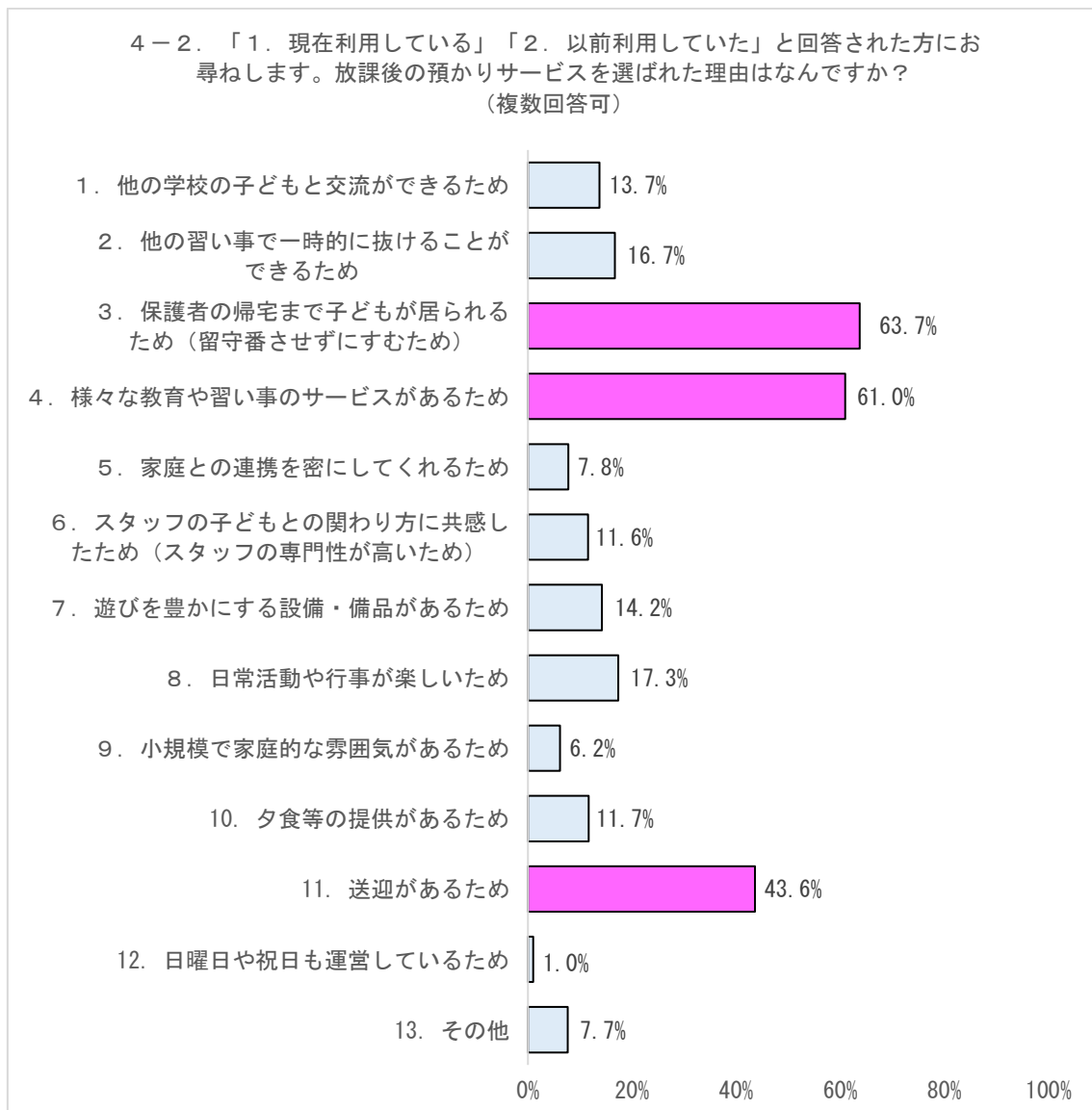


【新BOP学童クラブと放課後の預かりサービスの併用者】

新BOP学童クラブと放課後の預かりサービスを併せて利用している割合は11.1%であった。



②利用理由



13. その他（一部抜粋）

※4-2の選択肢に含まれる記述も、より詳細な理由が読み取れるため再掲する。

■英語や宿題などの学習ができるから

- ・英語が学べるため
- ・宿題をきちんとやらせてくれるため。

■子どもにとっての居場所、関わる友人や大人を増やすため

- ・子供の人間関係を分散させたかったため
- ・学校以外の場所（学童は学校敷地内）で気分転換をはかるため
- ・新BOPだけだと飽きてしまうので気晴らしのため

■新BOP学童クラブが子どもに馴染めなかった場合の保険、または馴染めなかった

- ・学校の学童と民間学童どちらが子供に合うかまだわからなかったので、まずはどちらも利用してみた。
- ・学校の学童が古く、トイレに子供が入れない。生理的に無理だとか
- ・BOPの施設は古くて狭いため

■長期休暇中に昼食提供やイベントや遠足などのアクティビティがあるため

- ・夏休みの預かりサービスに昼食提供サービスがあったから。長期休暇中の預かり先とイベント参加が確保できたため。
- ・長期休暇中にイベントや遠足などのアクティビティがあるため。
- ・夏休みなど長期休みに昼食提供やイベントのオプションも選択できる。

■運営が柔軟

- ・育休中でも預かって貰える為。
- ・コロナ渦でも利用できる。仕事が休みでも利用できる。
- ・学校や学童以外の居場所を設けるため。学童の預かり時間が18:15までと早く、仕事の調整が困難なことがあるため。学級閉鎖の際なども、フレキシブルに対応してもらえるため。

■質がよい

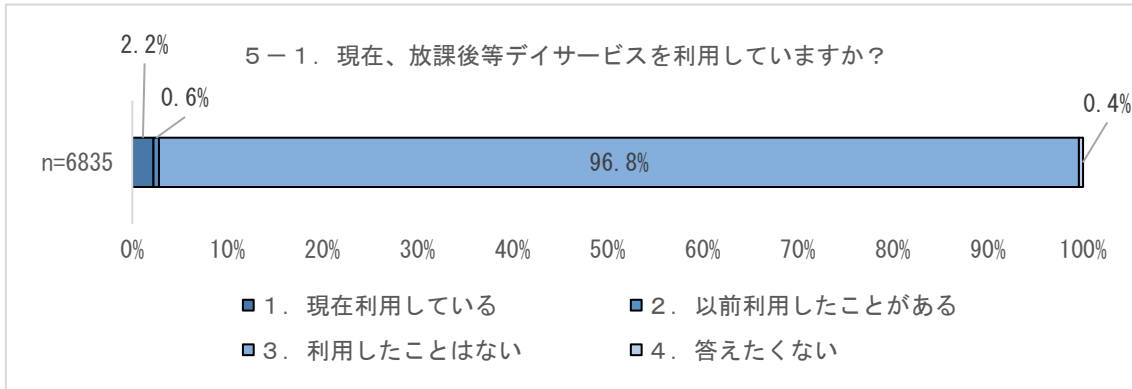
- ・ソファなどでゴロゴロして、リラックスすることができる。放課後なので、ゆったり過ごせるのも大事だと思っています。
- ・生活リズムをつけるための声かけなど、細やかな見守り・サポートを受けられるため。
- ・親の味方でいてくれるため
- ・様々なイベントがあり、楽しめる為
- ・スタッフさんが、子どもをよく見ているため

(4) 放課後等デイサービスとの利用状況

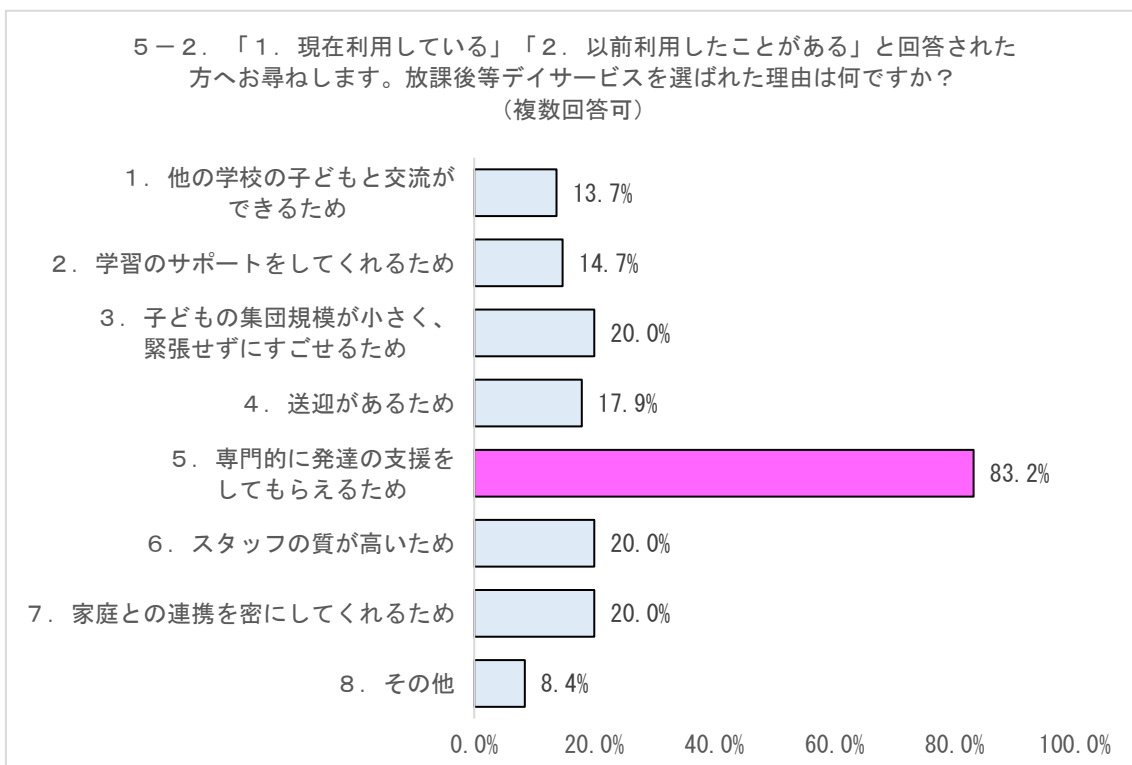
※放課後等デイサービスとは、発達に特別な配慮や課題のあるお子さん、障害のあるお子さんが、社会生活や生活のためのスキル等を学ぶための通所事業所である。

①利用有無

回答者全体のうち、「現在、利用している」「2. 以前利用したことがある」と回答した合計割合は2.8%、「3. 利用したことはない」と回答した割合は96.8%であった。



②利用理由

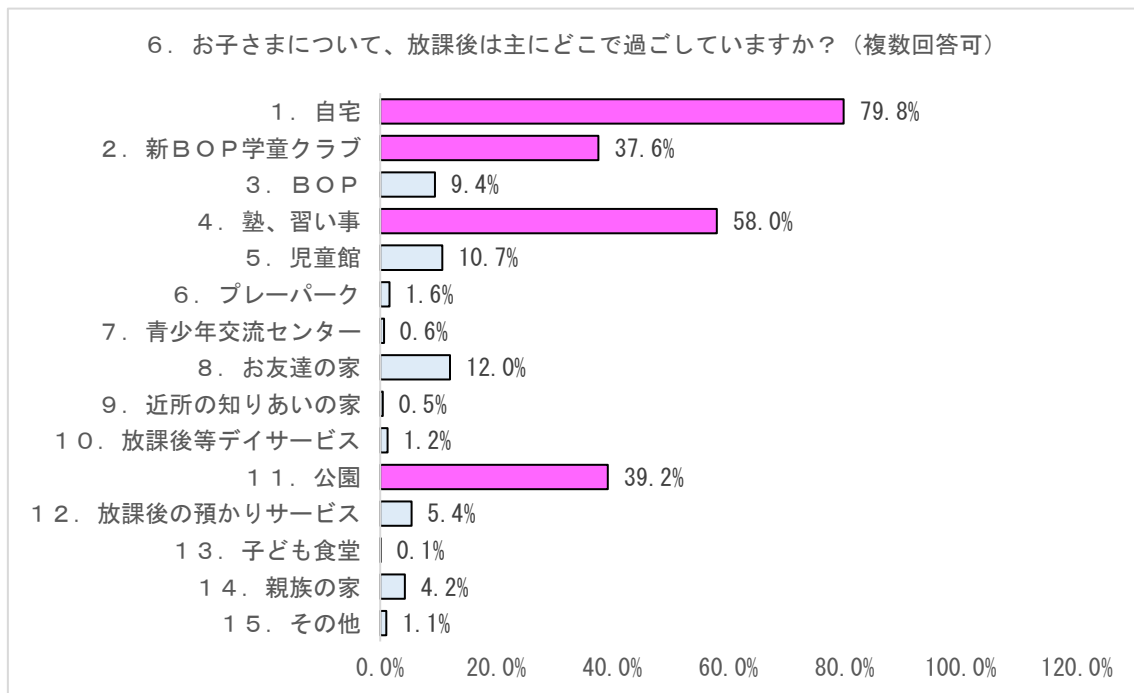


8. その他（一部抜粋）

※5-2の選択肢に含まれる記述も、より詳細な理由が読み取れるため再掲する。

- ・放課後デイでは常に大人の目があるので、安心して通っている。
- ・家庭や学校、学童以外の居場所づくり。
- ・人との関わりや失敗しても大丈夫だという環境で過ごさせたい。
- ・子供の特性に合わせて過ごす放課後の時間も必要だと感じているため。
- ・19時まで営業しているため
- ・個々に合った対応をしてくださるため
- ・個別指導があるため。

(5) 放課後の過ごし方

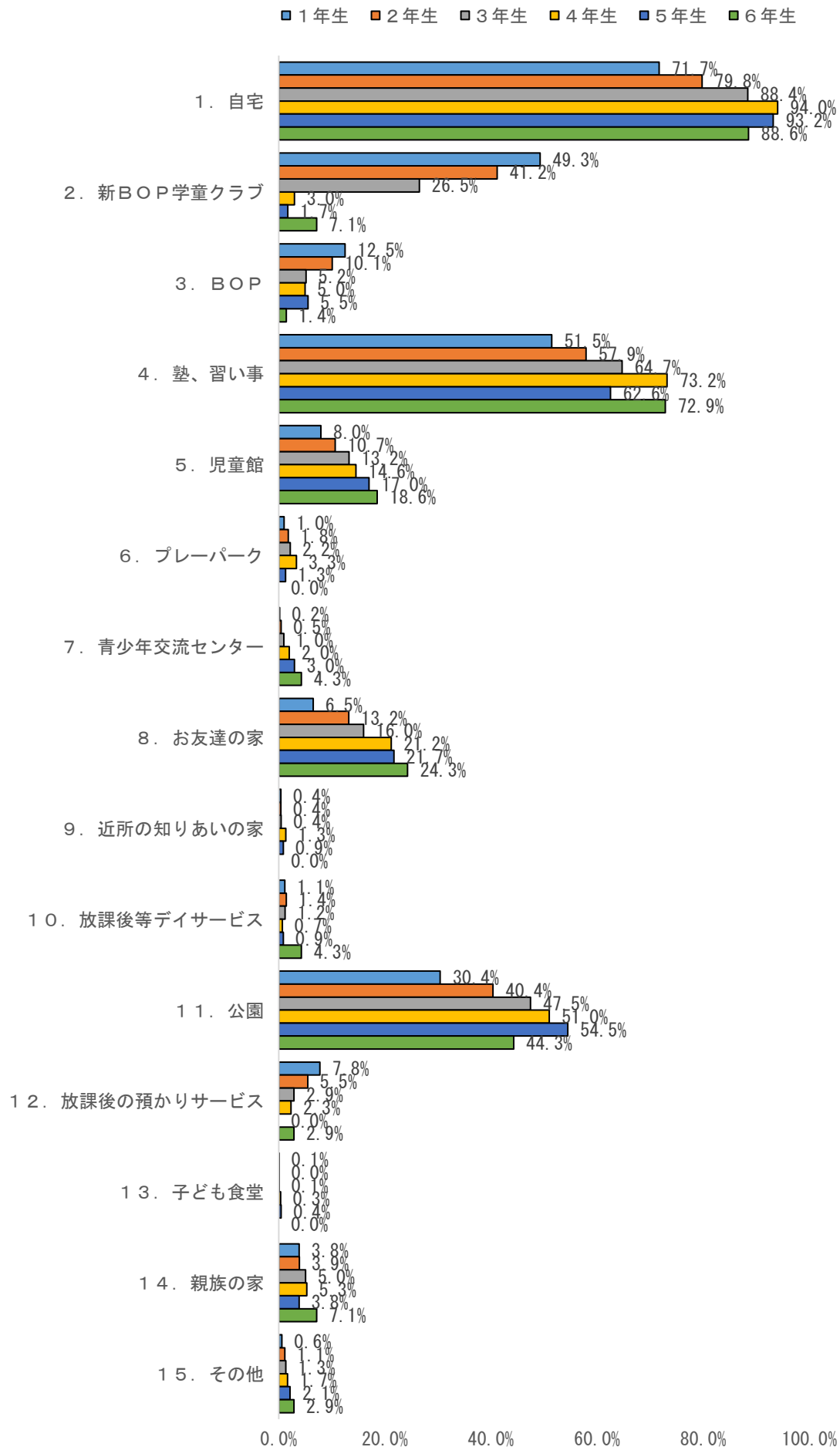


【学年別】

どの学年も「1. 自宅」と回答する割合が一番高くなっている。

学年上がるごとに、「2. 新BOP学童クラブ」「3. BOP」「12. 放課後の預かりサービス」で過ごす割合が下がり、「4. 塾や習い事」「5. 児童館」「6. プレーパーク」「7. 青少年交流センター」「8. お友達の家」「11. 公園」で過ごす割合が増えている。

お子さまについて、放課後は主にどこで過ごしていますか？（複数回答可）



15. その他（一部抜粋）

※6の選択肢に含まれる居場所は省略

■自宅周辺

- ・マンション敷地内の広場
- ・自宅前
- ・お友達のマンションの共用スペース

■区立施設

- ・図書館
- ・きたっこ
- ・区民センター
- ・世田谷区スポーツ振興財団に登録されている体育館
- ・守山テラス

■親の職場

- ・親の勤め先
- ・父母の職場
- ・自営業につき職場にいます

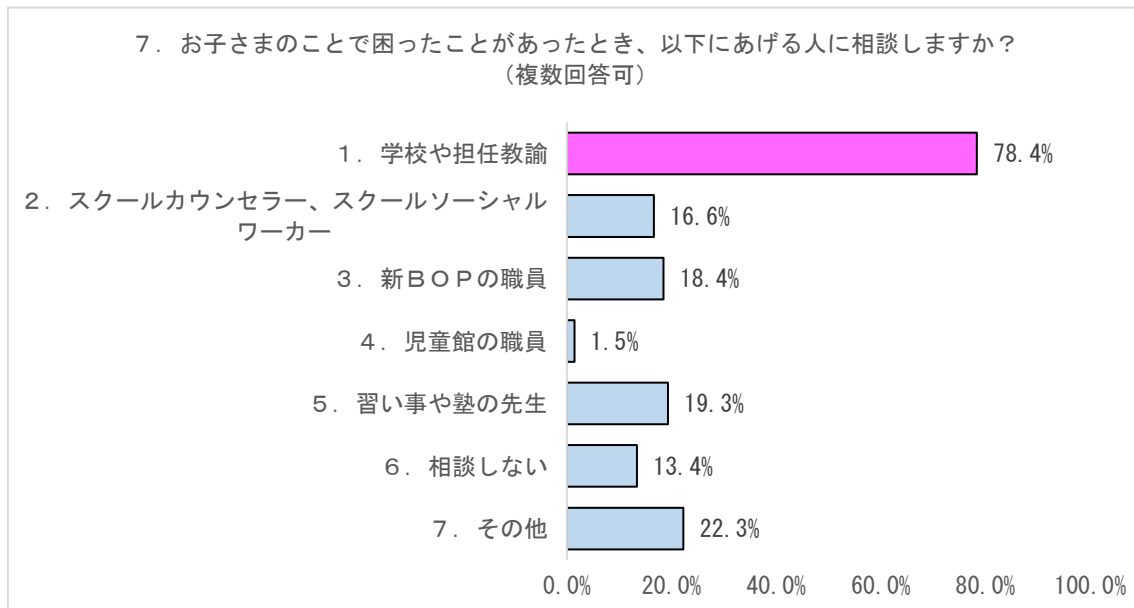
■その他

- ・地域共生の家
- ・古本屋
- ・ないので困っています。学校にそのまま残って、遊んで帰れる様に早く戻ってほしいです。
- ・家の前。コロナでポップが全く使えず、遊び場がなくて非常に困りました。
- ・放課後デイに空きがない

■シッター、ファミリー・サポートを利用

- ・ファミサポさん
- ・シッターさん

(6) 相談相手



7. その他（一部抜粋）

※7の選択肢に含まれる場合は省略

■親族、職場の同僚、同級生の保護者

- ・ 仲の良いお友達の保護者
- ・ 配偶者
- ・ 同級生の保護者
- ・ 職場の人間
- ・ 親族
- ・ 学童時代の親グループ。習い事の親グループ。

■友人

- ・ ママ友
- ・ 友達

■主治医

- ・ 学校に関与しないカウンセラー
- ・ 小児科
- ・ かかりつけ医院のカウンセラー
- ・ カウンセラー、専門医
- ・ かかりつけ医
- ・ 発達障害で通院しているクリニックの主治医

■放課後デイサービス等のスタッフ

- ・ 訪問支援や放課後デイサービスの指導員
- ・ 放課後等デイサービスの担当
- ・ 放課後等デイサービスの職員。相談支援事業者の方。

■発達相談室の職員やすまいるルームの先生など

- ・療育センターの先生、発達支援保育士の先生。
- ・地区のこども家庭支援センターの相談員
- ・区の発達相談員
- ・児童相談所、教育相談室、発達障がい対応病院の医師
- ・療育スタッフ
- ・教育相談室の分室の先生
- ・世田谷区相談室の先生
- ・すまいるルームの先生
- ・発達コーディネーター

■相談する人がいない

- ・相談できる適任者がいない
- ・「相談しない」と決めているのではなく、相談できる人がいない。
- ・相談できる人がいなくて困っている

■その他

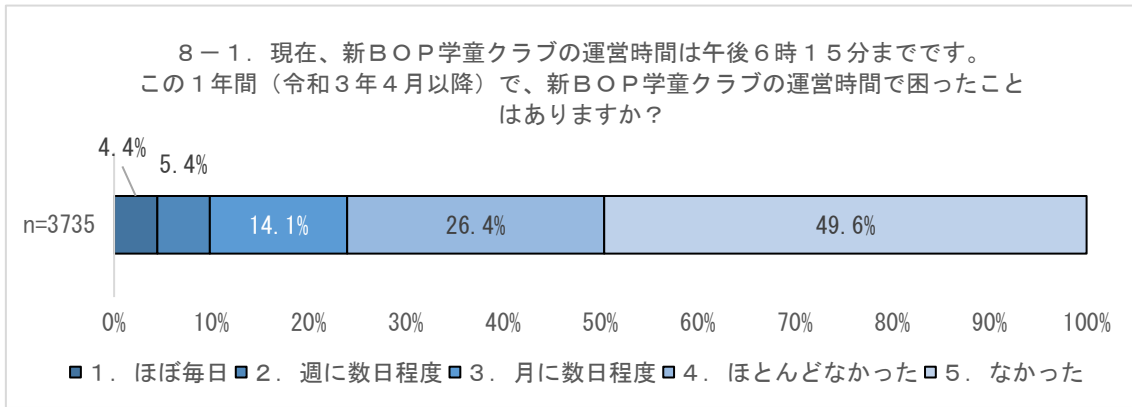
- ・近所の人
- ・教育相談員
- ・学校で困った事があれば、担任の先生、学童で困った事があれば、学童の先生、習い事で困った事があれば、習い事の先生。それぞれで相談しますが、基本は家族や友達に相談します。
- ・困ったことの内容により相談者が変わる。
- ・話が広がってしまう可能性があるところにはあまり相談しないかも。相談するなら家族くらい。
- ・ファミサポのサポーターさん
- ・プレーワーカーやプレーパーク運営している世話人さんやそこに来る他のお母さんたち。
- ・都や区の相談機関や相談電話
- ・世田谷区こども相談
- ・プレーパークを通じて知り合った人たち
- ・幼稚園時代の先生

～ここからは新BOP学童クラブ登録者のみ回答～

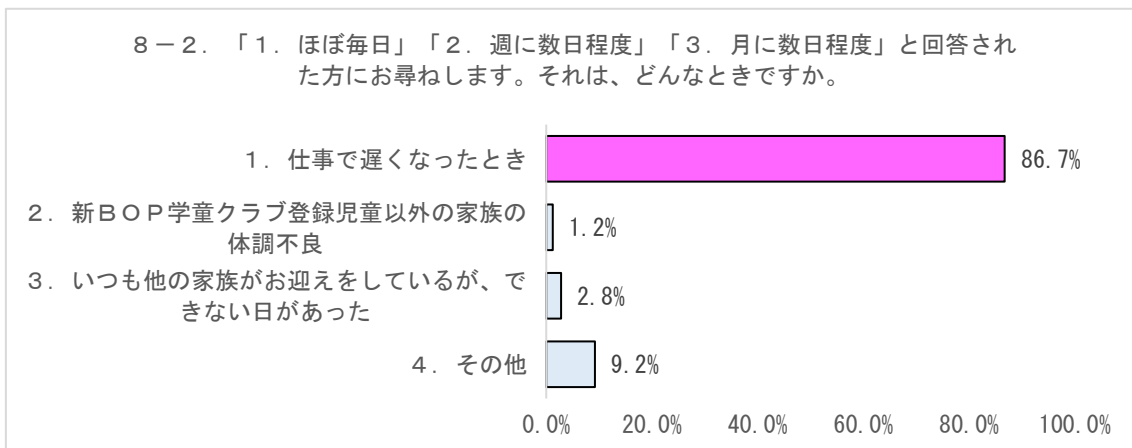
(7) 新BOP学童クラブの運営時間

①運営時間で困ったことがあったか

「1. ほぼ毎日」「2. 週に数日程度」「3. 月に数日程度」と回答する合計割合は23.9%、「4. ほとんどなかった」「5. なかった」と回答する合計割合は76.0%であった。



②どんなときに困ったか



4. その他（一部抜粋）

※8-2の選択肢に含まれる場合は省略

■ 定時時間まで仕事すると18:15までに学童につけない

- ・そもそもフルタイムで仕事が出来ない。（通勤時間を考えると無理）
- ・そもそも業務終了時間まで仕事すると18:15までに学童につけない
- ・就業時間までいるとお留守番必須
- ・仕事定時が18時のため学校学童利用だけでは間に合わない
- ・職場の定時が18時で、リモートワークができないため。

■ 兄弟、姉妹のお迎え時間との兼ね合い

- ・1年生の時は毎日学童に迎えに行っていたので、弟の保育園の迎えの後だと間に合わない時もありました。
- ・電車遅延、下の子の保育園のお迎え時間との兼ね合い等
- ・区外(電車使用)の特別支援学校に通っている兄弟のお迎えの時
- ・仕事が遅くなり、下の兄弟のお迎えと重なってしまった時。
- ・保育園と新BOP

両方とも18:15 お迎えなので、悪天候の時など遅れてしまいそうになった。仕事で少し時間が押してしまうと間に合わない。

- ・18:15だと下の子の保育園のお迎えと一緒になので、18:30迄にしていただけると15分ズラせて有難い。

■電車遅延

■その他

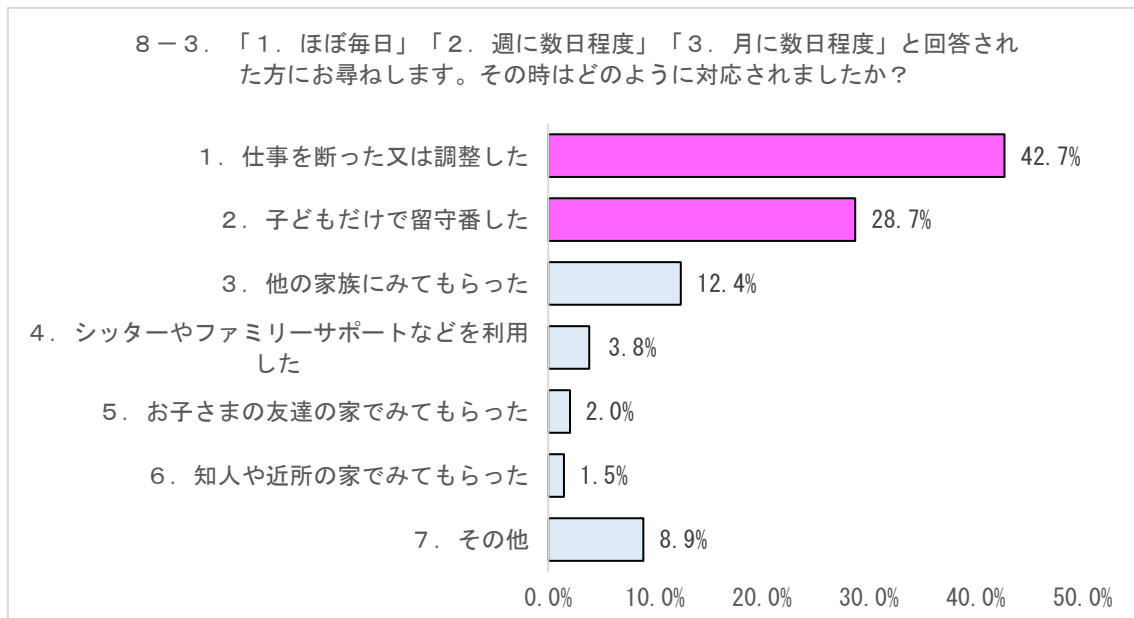
・夏、冬などの長期の休みの場合、朝、学童の開門時間が学校より遅いため子供が一番最後にカギを閉めて登校する事になるため、とても心配になります。出来れば学校と同じ開門時間にして欲しい。

・長期休暇期間中について、もう少し早い時間から受け入れをしていただけるとありがたいです。

・土曜や長期休みは新 BOP は 8 時 15 分からなので、両親とも朝出勤が早くて、子供を一人にしてしまうため、調整が大変だった。朝 8 時から開くと大変助かります。

・夏期、冬期、春期休業日など、学校がない日に 8:15 開門で、その時間だと仕事に間に合わないため、門で 15 分ほど待たせるしかなかった。夏はまだよかったです。冬は寒くてかわいそうでした。もう少し早く（せめて学校と同じ 8 時頃に）預かりを開始していただけると助かります。

③その時の対応



7. その他（一部抜粋）

■民間の放課後預かりサービスで対応した

・遅くなる曜日が決まっていたため、その曜日だけ送迎のある放課後の民間学童へ通わせた。

・18時15分に間に合わない日について、民間の預かりサービスを利用している民間学童を利用。ただ金額が高いため、度々は利用できず、その際は仕事を調整することで対応。

・民間の放課後預かりサービスで対応した

・民間の預かりサービスを利用した

・初めから放課後の預かりサービス（民間学童）も登録（利用）している。

・民間学童との併用

■新BOP学童クラブの職員が待ってくれた

- ・実際にお迎えに遅れて、待たせていただいたことが数回あります
- ・門のところで学童の先生と子供で待ってもらった。
- ・間に合わず時間に遅れてしまった時、新BOP職員の方が残って下さっていました。
- ・6:15過ぎに学童に迎えに行き謝った。
- ・どうしても間に合わず学童にご迷惑をかけた。

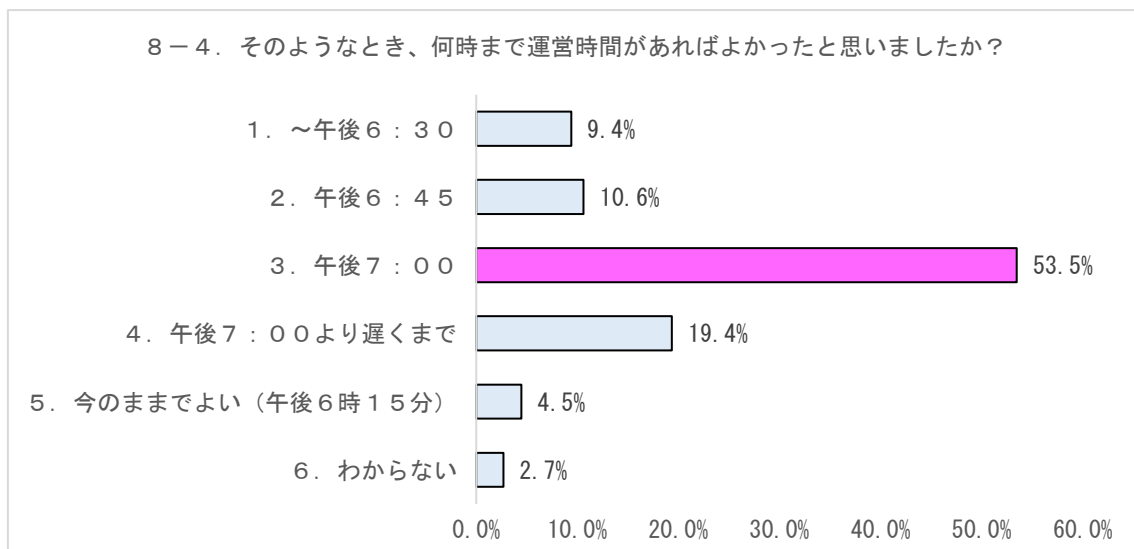
■子どもを外で待たせた

- ・子供が家が寂しいとの理由で、ずっと屋外で待っていた。(毎回)
- ・暗くて一人で帰れない為学校の前で待たせていた。
- ・校門の前で待ち合わせした。
- ・マンションのエントランスで待たせた。
- ・図書館や街中で待たせた。

■その他

- ・下の子の保育園を延長に切り替えて、先に学童にお迎えに行った。
- ・一度帰宅してから再度送っていった。
- ・ポップに迎えに行き、仕事場に一緒に連れていった。
- ・夫婦間で仕事の調整をしてお迎え(在宅)担当を交代した
- ・子供だけで留守番と、都外に住んでいる祖母にわざわざ来てもらっていた
- ・ファミサポさんは週3日までなので、留守番しなくていいように習い事をさせている。ファミサポさんが都合のつかない時は遠方(横浜市)より、1時間以上かけて祖母にきてもらっている。
- ・どうしても難しい場合は、自宅に留守番か勤務先の休憩室で待たせる。
- ・生活がなりたたないので転職した。
- ・昇進を諦めたり、人事考課で評価が下がりました。

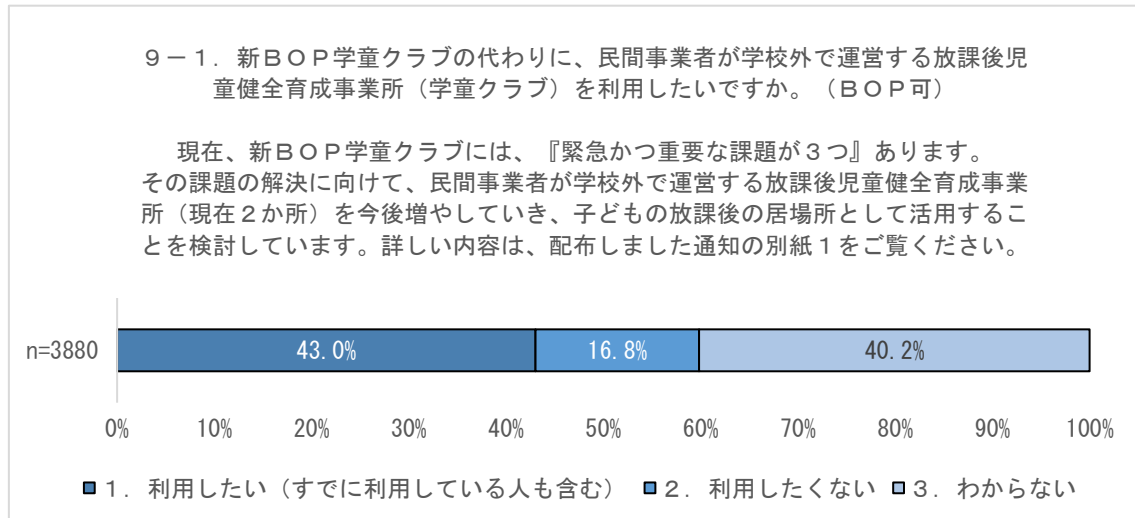
④必要な開所時間



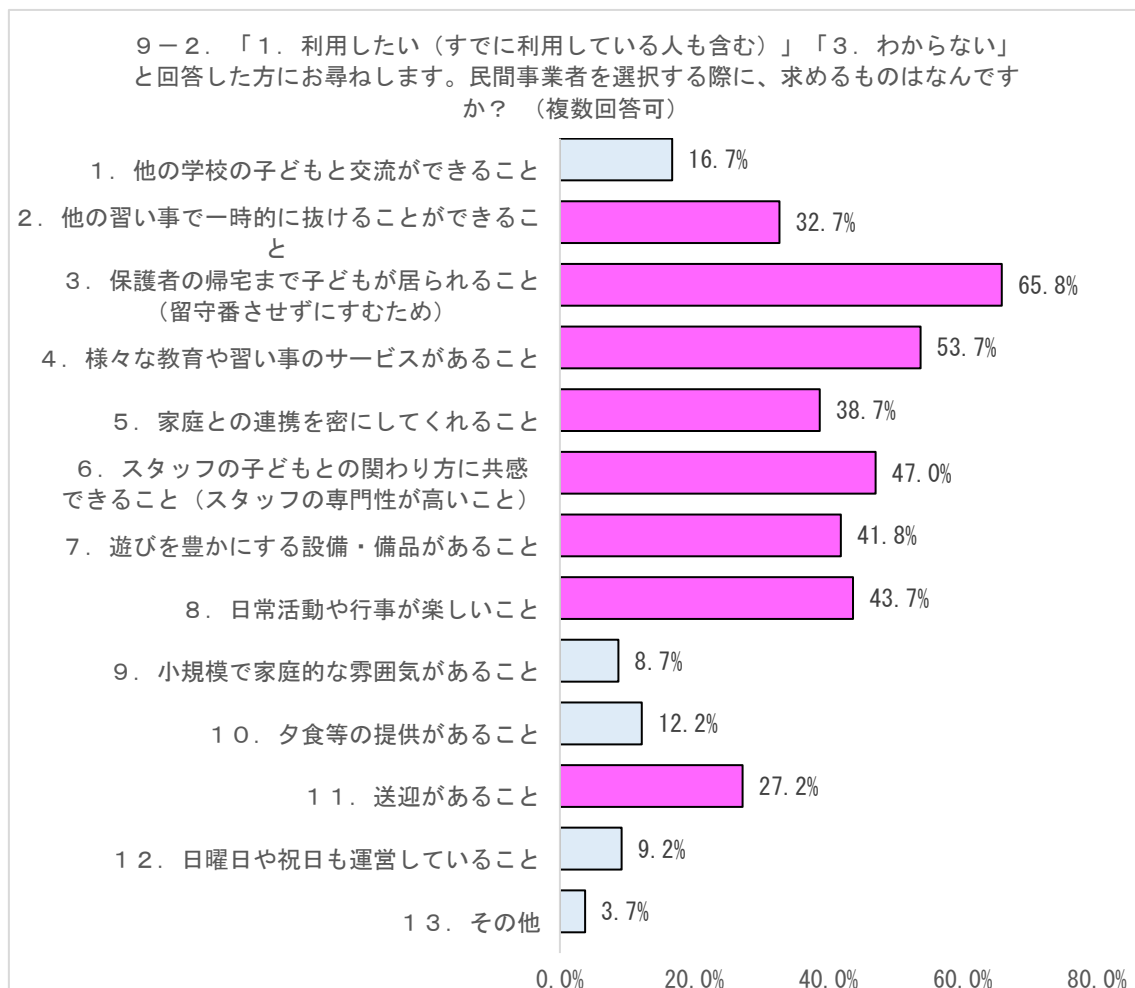
(8) 民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所の利用意向

※放課後児童健全育成事業とは、放課後の預かりサービスとは異なり、児童福祉法に基づき運営している学童クラブ（新BOP学童クラブも該当）である。

「1. 利用したい（すでに利用している人も含む）」と回答する割合は43.0%、「2. 利用したくない」と回答した割合は16.8%、「3. わからない」と回答した割合は40.2%であった。



【民間事業者に求めるもの】



13. その他（一部抜粋）

※9-2の選択肢に含まれる記述も、より詳細な理由が読み取れるため再掲

■・安全性、スタッフの質、感染症対策

- ・安全面に気を配ってほしいです。怪我など、また、今犯罪などが多いので、知らない人の出入りなど、治安強化してほしいです。
- ・清潔である。きちんと目が行き届くこと。
- ・防犯対策がきちんとされているか。送迎に無理のない距離か。利用料が高くないか。
- ・信頼できる事業者であること信頼できる確かなスキルのある職員を有していること。猥褻事件など多く目にするので、心配に思う人は多いのではないのでしょうか。
- ・子供と向き合っ、きちんと対応してくれること。単なる預かり場ではなく、安全性の確保、子供の尊重を大切にしてくれる場所でなければ預けられない。

■学校や家に近いこと

- ・自分で通えて、自分で帰って来れる距離感。もしくは送迎あり。
- ・自宅の最寄り駅や自宅から近いこと。
- ・学校から近くないと不安がある。

■料金的にリーズナブル

- ・新BOPと変わらない利用料であれば利用してみたい。
- ・費用が高すぎないこと。
- ・低料金であること。

■配慮が必要な子どもについても対応してくれること。

- ・発達に遅れのある子供にも、対応出来る。
- ・発達障害児への理解があること。

■子どもが自由にのんびり、楽しく遊べる場所

- ・ボーっとできる場所があったり、のんびり好きなことをして過ごすことが許されること。
- ・本人らしく自由に過ごせること、自力で通うのに無理がない場所なこと。
- ・新BOPは、窮屈に感じ、行きたくない様です。子供がのびのびと、安心して過ごせる場所を探しています。
- ・塾などではないので、勉強する場ではなく、子どもが楽しく安心して他の子ども達や大人と関わりを持って遊べる環境であることを望みます。

■長期休みの際の昼食の提供など、柔軟な運営

- ・宿題がオンライン配布のものもあるので、wifi対応の環境が必要。
- ・時間単位の利用や不定期での利用ができるとありがたい。
- ・朝早くから対応してくれるところ。
- ・長期休み中に昼食の提供いただくこと。おやつを充実させていただくこと。

■運営時間

- ・新bopは6:15以降預けられなかったため、民間施設も利用したが、これまで利用した民間事業者は、事業者側のスタッフ人員の不足から、放課後すぐの預け入れが困難で、前半新ポップを利用し、途中から民間へ移るといった運用を余儀なくされた。子供の疲労、負担が大きかった。最初から民間施設を使え、遅い時間まで対応してもらいたい
- ・預かり時間の延長が行える。

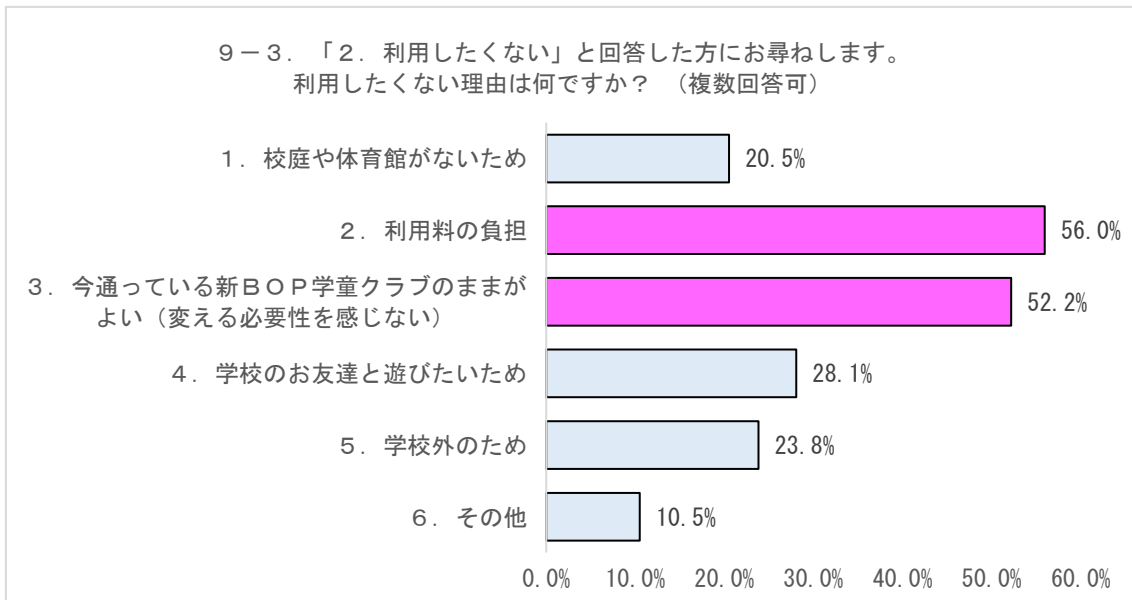
■小学4年生以降も利用可

- ・4年生以降の居場所
- ・四年生ごろまでは預かってほしいです。

■宿題をやる時間をとってほしい

- ・宿題や持参したドリルをやる時間をしっかり取っていること。(複数あり)
- ・夕食はなくてもよいが、遅くまでの時は補食だけでもあると助かります。(複数あり)

【利用したくない理由】



6. その他（一部抜粋）

※9-3の選択肢に含まれる記載も、より詳細な理由が読み取れるため再掲

■民間業者は不安

- ・職員の質に不安があります。
- ・民間事業者は、一定程度、過度な営利目的で参入する者も多いとの報道をよく見聞きするから。
- ・職員の方が、信頼できる人かどうか分からないから
- ・他自治体の民営の学童の話を知ると、運営に責任感が乏しいところが多く、コスト削減のための導入に思え、預けるのが不安
- ・信用できる施設なのか、信用出来るスタッフなのか、民間は見えてこないから。

■新BOP学童クラブで十分

・世田谷区の職員の指導員の先生がいてくださり、子どもを気にかけていただけて安心だから。

・新BOP学童クラブで十分だから。

・本人が学童がいいといっているのです。

・職員の先生方は大変一生懸命やってくださっていて、子供の社会とのつながりを小学校内から友人間(新BOPや児童館)、そこから地域へと広げていってくれている。うちは兄の方が特に地域の手助けを必要とする子のため特に、新BOPからBOP、児童館での活動の流れを通し、職員の方の継続的な支援のもと成長していることを痛感している。

民間学童や放デイも利用したがその場での活動で外に広がらなかったり、そのような施設はキャンセル待ちで入れなかったりした。

■送迎が大変そう

・送り迎えの負担

・お迎えが大変だから

■その他

・習い事などは、各家庭で判断するものと思います。事業所内での習い事？は、経済的に受けられない家庭の子どもにとっては、厳しい環境にならないか心配です。

・車椅子ユーザーなので、送迎などを始め、受け入れの面で難しそう。また、色々と交渉したりと大変なのは簡単に想像できるので、利用しようという気にならない。

・利用料が、高額になりそうだから。

・習い事が忙しい為

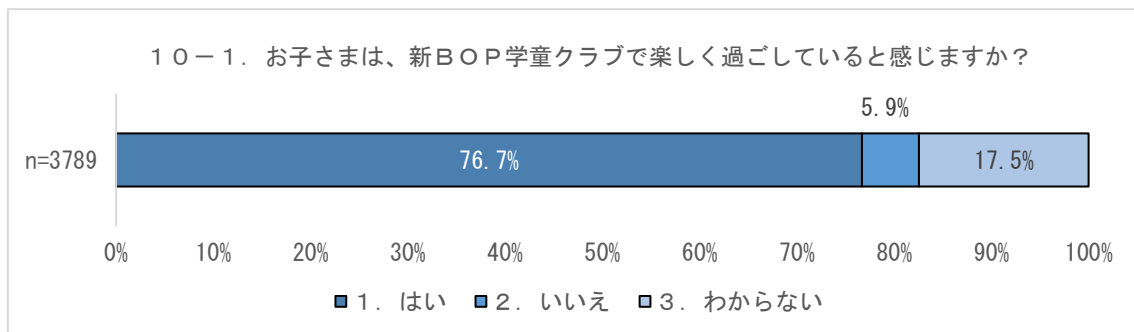
・家で1人で過ごせる。

・広い活動場所が無い為。(民間の施設をいくつか見学しましたが、営利目的のため非常に狭いです)

(9) 新BOP学童クラブについて

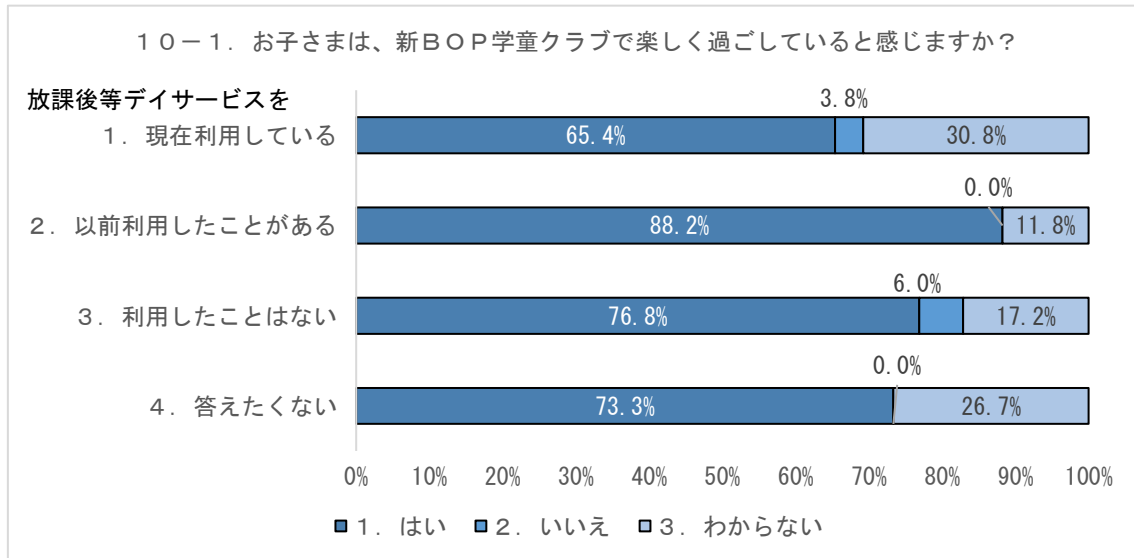
①楽しめているか

回答者全体のうち、「1. はい」と回答した割合が76.7%、「2. いいえ」と回答した割合は5.9%であった。



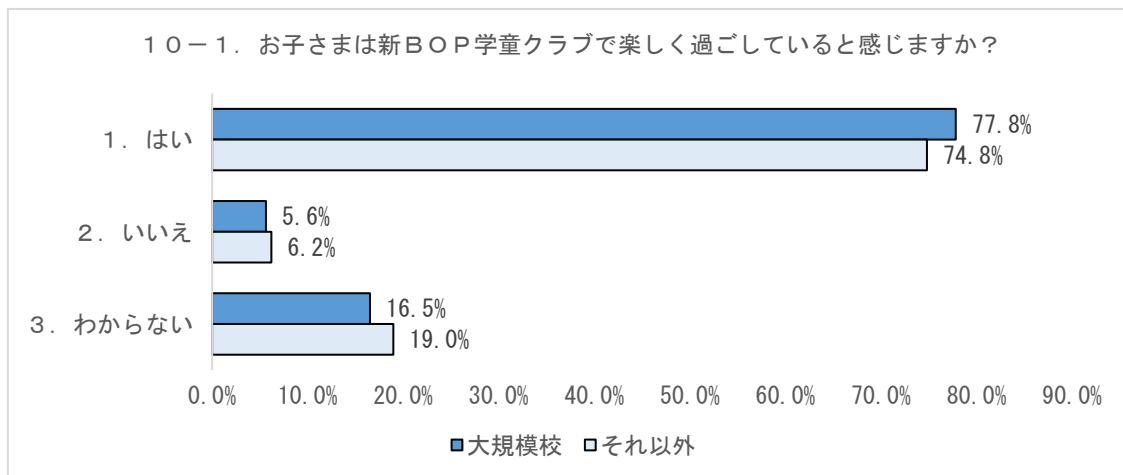
【放課後等デイサービス利用状況別】

放課後等デイサービスを「1. 現在利用している」と回答した人のうち 65.4%、「2. 以前利用している」と回答した人のうち 88.2%が、新BOP学童クラブを楽しく過ごしていると回答している。

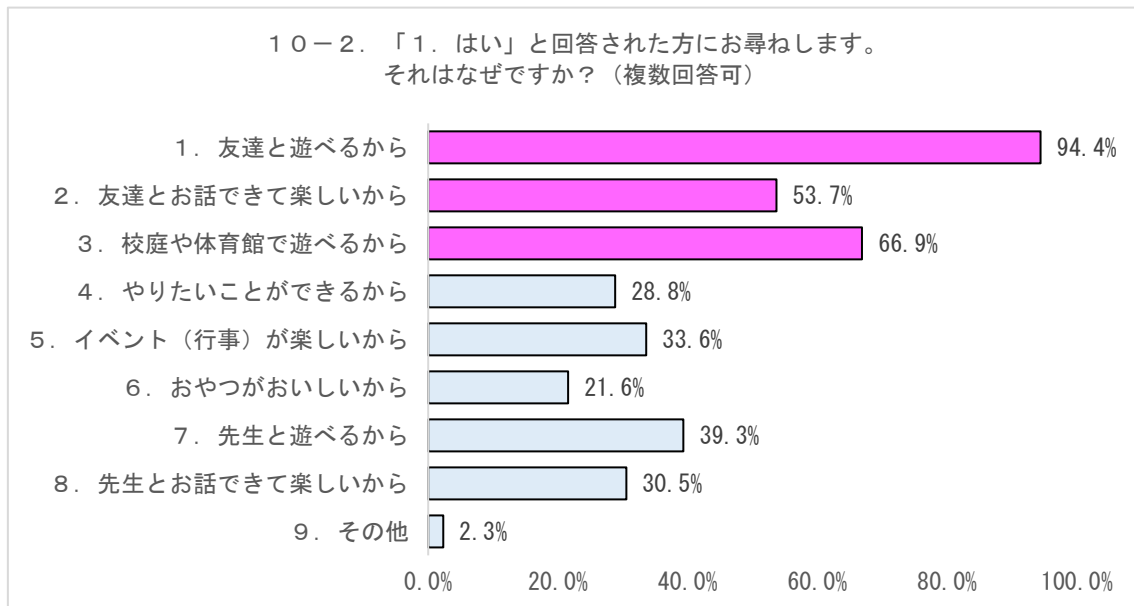


【大規模校との比較】

保護者アンケートにおいて、大規模校とそれ以外の新BOPについて、新BOP学童クラブを楽しめているかに差はみられなかった。

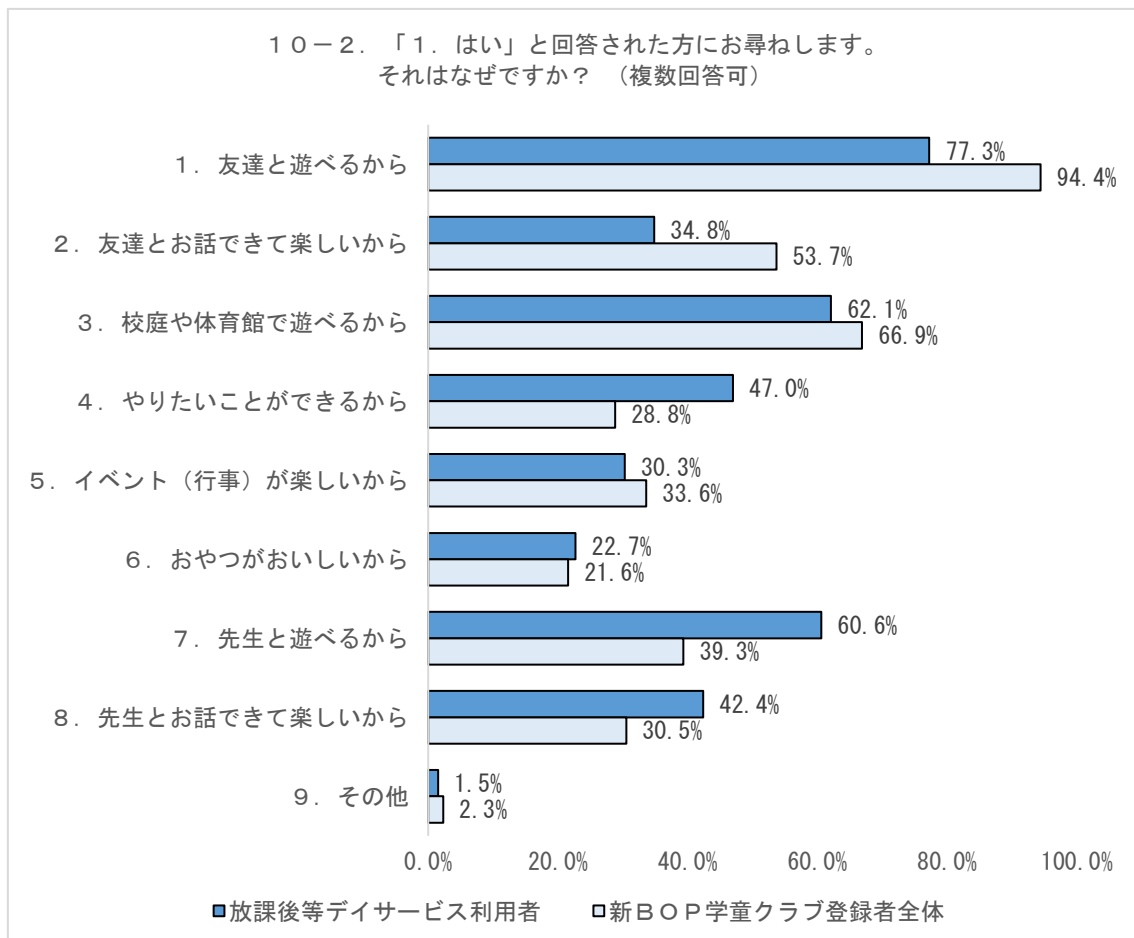


②楽しめている理由



【放課後等デイサービス利用者との比較】

全体と比べると、「1. 友達と遊べるから」「2. 友達とお話できて楽しいから」「4. やりたいことができるから」と回答した割合が低く、「7. 先生と遊べるから」「8. 先生とお話できて楽しいから」と回答した割合が高くなっている。



9. その他（一部抜粋）

※10-2の選択肢に含まれる記述も、より詳細な理由が読み取れるため再掲する。

■自宅にない本やマンガ、おもちゃがある

- ・映画・漫画で楽しめる
- ・自宅にない本を読むことができるから
- ・自宅にはないマンガやおもちゃがあるから
- ・漫画、ビデオ、本等、家に無い物にも触れられる機会を得られるのでとても楽しんでおります。

■校庭や体育館で遊べる

- ・体育館での球技、校庭での鬼ごっこのような遊びなど、体を動かす遊びをたくさん取り入れていただき、毎日とても楽しく遊んでいます。先生方も皆様温かく、感謝しております。
- ・体を動かすことが大好きなので広い校庭で遊べるのはストレス発散ができているため。工作も好きなのでメノコやメダル作りが楽しいと言ってるため。
- ・サッカー、ドッチボールなど外で遊ぶ機会が多くあり大変助かっています。公園でもボールが使えないので、小学生の男の子が安全に遊べる場所は学童くらいしかないと思います。
- ・サッカーをする場所が近隣には校庭以外になく、友達とサッカーができるのが楽しいから。
- ・体を動かすことが好きなので校庭や体育館で活動できることはとても楽しいようです。

■安心して過ごせる

- ・新 BOP の先生方はお人柄も素晴らしく、学年の異なる児童とのトラブルの際も速やかに対応してくださいました。安心して過ごせています。
- ・本人がなかなかクラスの子と仲良くできないのですが、BOP だと先生もいて色々なお友達とも遊びを介して話せる機会があり、ありがたい
- ・先生方が見守るだけでなく、一緒に子供たちと遊んでくださるところ。あたたかい雰囲気にも包まれているところ。
- ・勉強中心の学校から解放され、思いっきり楽しむ事だけに専念出来る環境に安心感を子供が覚えるのがよく伝わってきます
- ・放課後居場所があって、友達も大人もいるので、子供が安心して過ごす事が出来ています。
- ・先生方が優しいから
- ・利用する日に目当てのお友達がなくても、先生が気遣ってくれて、何か制作をするなど、一人で取り組ませてくれて、満足して帰宅します。先生がとても子どもたちのことをよく見てくれていて、学級以上と感ずることもあります。身近な頼りになる大人という存在のようで、子どもにとって話しやすい大人、話を聞いてくれる人がいることがありがたいと思います。放課後の時間は、学校でお友達とトラブルがあった時などにも、緊張を解いて、先生達や BOP でのお友達に相談するなど解決に近づけるような場であれば素晴らしい。何かあれば親と先生が連携を取れるのが良いと思いますし、子どもも身近な大人(自分のことをある程度わかってくれる)、親以外の大人と繋がりを持つのは良いことだと思います。

■異学年交流ができる

- ・先生というより、少し歳上のお姉さんお兄さんという関係性が楽しいようです。
- ・他学年のお友だちが出来、嬉しそうです。
- ・普段の学校だとクラスのお友達と遊んでいるが、学童だとクラス以外や他学年のお友達と

も遊べ、先生がいる安心感もあるので、楽しいようです。

- ・他学年との交流もあり、楽しそうにしています。
- ・他の学年の友だちとかかわれるから。

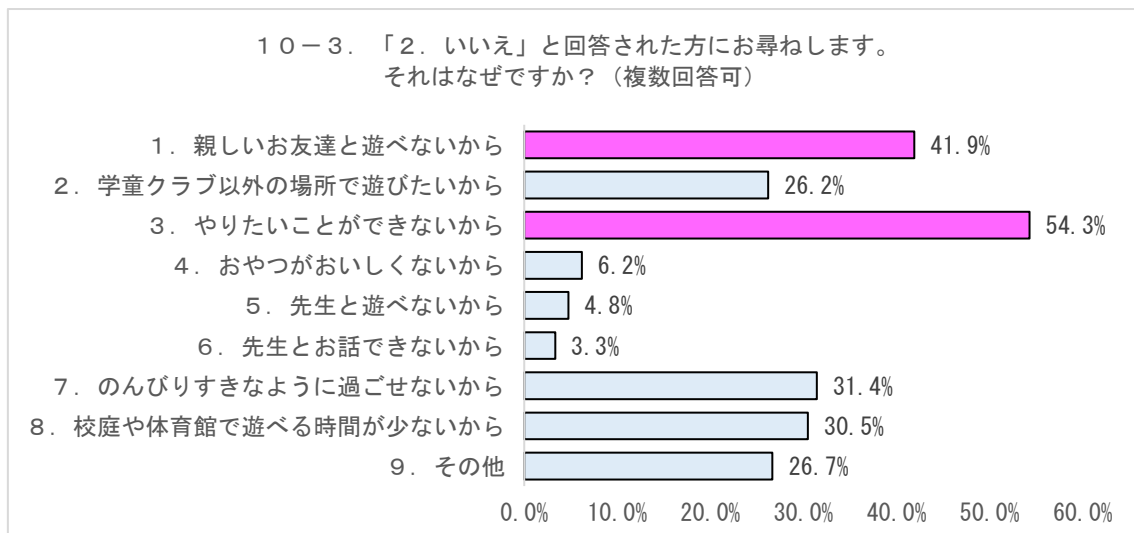
■色々な遊びができる、工作や昔遊びなどのイベントが楽しい

- ・授業でやることはまた違った楽しさがあるようでした。昔遊びなど
- ・メンコ大会を一楽しみにしています。マフラーを編んだり、水鉄砲で遊んだり、映画を見たり鬼滅の刃の塗り絵をしたり色々とお話をしてくれます。
- ・昔ながらの遊びを教えてくれる先生と遊ぶ仲間がいて、それを盛り上げるイベントも考えてくれており、とてもありがたい。
- ・家庭ではできない遊び（ドッジボールやコマ、メンコなど）を経験でき、新しいことに興味をもつ事ができている。
- ・工作やけん玉なども学べて楽しいようです
- ・メンコや駒回し、ボール遊び等、授業や家庭ではやらない遊びが出来るので、楽しい様です。
- ・工作が楽しい、魅力的なおもちゃがある
- ・新しい遊びを知れる。

■その他

- ・先生以外の大人とも知り合ってやりとりできる
- ・マイペースに過ごすことを許されるから

③楽しめていない理由



（放課後等デイサービス利用者のうち「2. いいえ」と回答した件数はごく少数であるため、新BOP学童クラブ登録者全体との比較はしていない）

9. その他（一部抜粋）

※10-3の選択肢に含まれる理由についても、さらに詳細な理由が読み取れるため再掲

- 上級生とのトラブルがある

- ・上級生がいじわるする。おもちゃが壊れているため遊べない
- ・1年生のときに同学年や上級生から暴力行為を受けた。職員の人数に限られるため、目が行き届かないので、安心して預けられない。
- ・上の学年の子とのトラブルが多いから。
- ・上級生に怒られたことがあり、少しトラウマになったようです。
- ・年上の子供に慣れてなく、意地悪をよくされると言っている。

■狭く、窮屈

- ・自由が少ない、閉鎖的
- ・人数が多く、あまり心地よくないとのこと。1年生の時は楽しんで通っていたのですが。
- ・物理的にスペースが狭く、窮屈だそうです。
- ・様々な制限があり、こどもにとって窮屈に感じることもあったようです。校庭遊びは楽しいと話していました。
- ・大規模すぎて、落ち着かないのが一番の理由です。ポップの子と合わせると非常に大人数になります。当然先生の日も行き届かず、その事によるトラブルも何回かありました。放課後に子どもが安心して落ち着いて過ごせる場所からは、ほど遠いです。
- ・民間の放課後預りサービスと比べるとルールが厳しいと感じているようです

■飽きてしまう

- ・おもちゃの数にも限界があり、毎日通うとどうしても飽きてしまうようです。
- ・遊びの種類や本が少ないと話しています。
- ・3年生になると遊びたいおもちゃ類で遊び尽くして飽きてしまう。(お兄ちゃんがそうでした)
- ・飽きてしまった

■コロナのため

- ・コロナ禍のため、遊び方に規制が多すぎる。(クレームではなく、子供の素直な意見です。)
- ・コロナ感染予防で、遊べるおもちゃが少ない。感染予防の為、お友達との遊びに制限がある。(室内では、二人迄しか一緒に遊べない等)
- ・コロナ禍である程度活動に制約がでるのは仕方ないと思うが、年間を通して同じ状況であり、他校の学童ではそうではないと聞くこともあるため、運営状況の質が職員のやる気に左右されているのではと感じる。
- ・コロナの影響もあり、民間の学童クラブよりも友達との接触や飲食時のルールが厳しい。感染対策に努力してくださっているので仕方ないと思う反面、やりすぎでは？と感じる部分もある。
- ・コロナ禍で仕方ないとは思いますが、友達との遊びも制限されるのが嫌なようです。
- ・コロナもあり、自由度が低い

■職員の対応がよくない

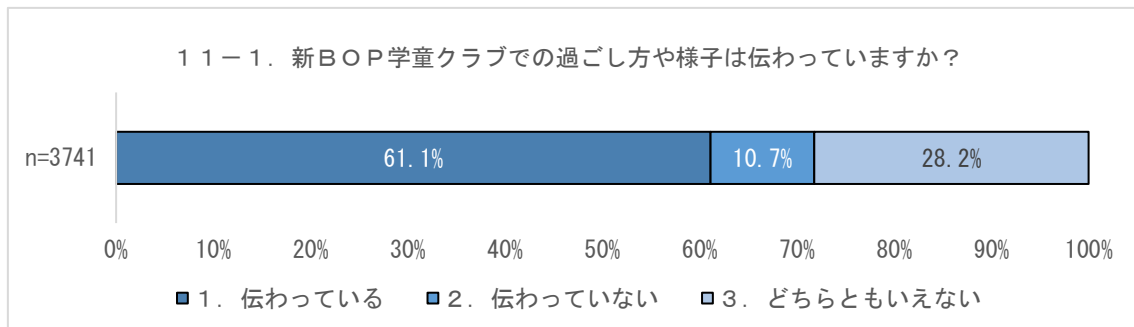
- ・最初に行ったとき、先生が怖くて次から行きたくなくなった。
- ・苦手な職員がいるから

- ・先生の態度や言葉遣いが悪い
- ・一年生から登録していますが、以前から言葉遣いの悪い先生がいて、学童としての運用に適切なのか疑問に思っていた。とにかく言葉づかいと子供に接する態度が酷い。前に一度面接でお話しさせてもらった際上の方から、1人くらいは厳しい先生も必要だとかいって、何の解決にも至らなかった。
- ・とにかく子供に接する態度ではない。ひどい。
- ・先生が怖いと言っている時があります。話を聞くと、(子供から見ると)事務的な対応をされたり、自立に向けての働きかけが少し強いのかもかもしれません
- ・職員の質が悪く、心配である。子ども達のことを思った保育をお願いしたい。

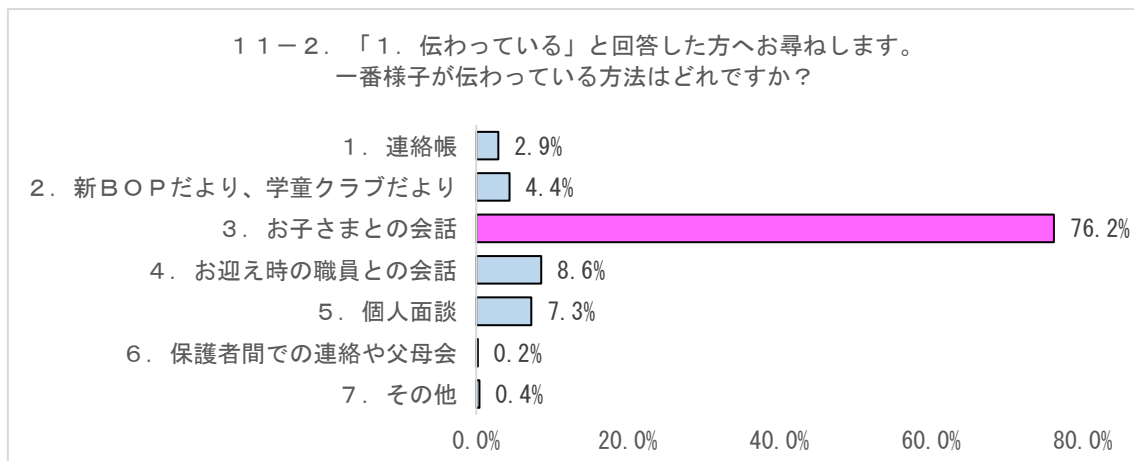
■仲良しの友達が通っていないため

- ・クラスで仲が良い子が学童に通っていないため
- ・親しいお友達がいない時は孤独のようで行きたがらないです
- ・学校の友達がなくてつまらないと言っています

④過ごし方や様子が伝わっているか



⑤一番様子が伝わっている方法



7. その他（一部抜粋）

■電話、面談

- ・帰宅時刻の変更等、電話連絡した際に、様子を伝えてくださることがある。
- ・電話連絡の際に、様子を教えてくださいました。きちんとこどものことを把握してくださっていると思いました。

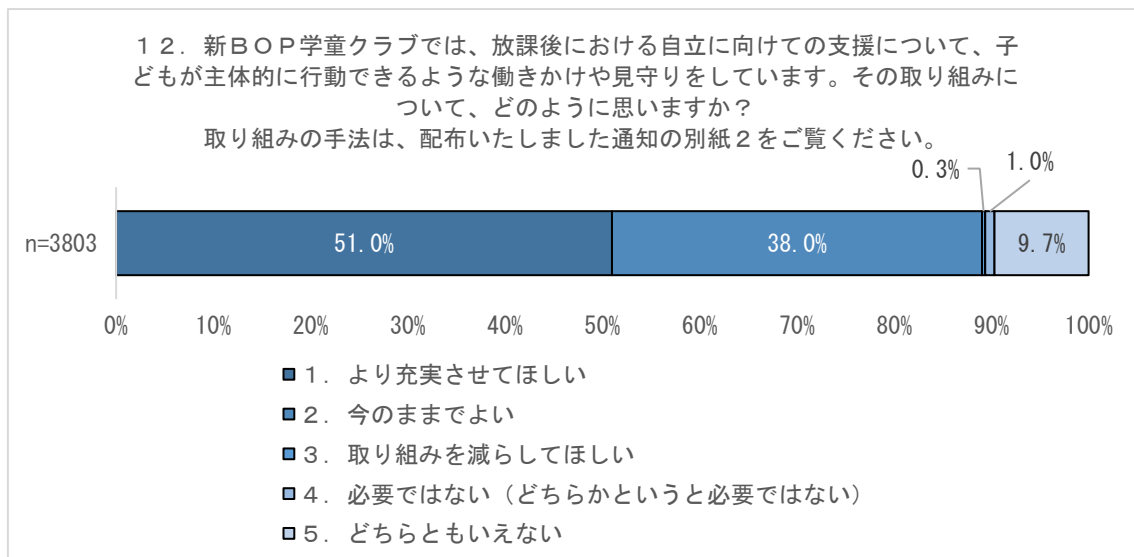
- ・電話
- ・職員の方との電話・面談
- ・スケジュールの確認電話をする際、先生から学童での様子を丁寧に教えて下さります。

■その他

- ・子供が毎回話してくれている為
- ・保護者が迎えに行くことはあまりなく、年に一回の個人面談くらいでしか職員の方とお話する機会はありません。連絡帳は事務連絡があるときしかやりとりがなく、学童よりも全体的なことがフワリ書いてあるだけなので、「様子を知ることができる」手段だとは思っていません。新型コロナ後の学童しか知らないので行事などもなく、学童の中のことは子どもから聞けること以外はほぼ何もわからない状態です。子どもの世話をしてくださっている職員の方の顔が見えない(どんな方なのかほとんどわからない)ので不安があります。
- ・子供間のトラブル、問題行動などあったとき頻繁に電話を下さり大変ありがたく思っております。
- ・職員とのやり取りだけでなく、もう少し連絡帳にも書いて欲しい。
- ・気になること等は、連絡帳でお伝えすると、丁寧に対応してくださってる。
- ・学童からのおたより等でも様子を知ることができます。また、心配な事があれば気楽に相談ができ様子を知ることができます。
- ・学童保育で父母会に自動加入させるのはやめてください。その後、同意を得ずにメーリングリストを次年度父母会に引き継ぐこともやめてください。

⑥放課後における自立に向けての支援

回答者全体のうち、「1. より充実させてほしい」「2. 今のままでよい」と回答した合計割合は 89.0%、「3. 取り組みを減らしてほしい」「4. 必要ではない(どちらかというとな必要ではない)」と回答した合計割合は 1.3%、「5. どちらともいえない」と回答した割合は 9.7%であった。



⑦その他、自立に向けての支援について、ご意見があればご記入ください。

■その子の性格や成長にあわせた支援をしてほしい

- ・1年生に自立を求めるのも酷だな、と思うことがあります。

自立のスピードにも個人差がかなりあると思うので、助けが必要な子供には、それぞれにあった対応ができればいいですね。

・「自立」の取り組みはとても素晴らしいと思いますが、一年生の入学当初は、お友達も先生も初めてで環境に馴染むまでに時間がかかると思うので、初期の頃は自立よりも寄り添う方に意識して頂けるとありがたかった。慣れてくると大丈夫だが、最初の頃は学童の先生が怖いから行きたくないとしぶる姿が見られた。

・こどもそれぞれの性格や成長段階があるので、その子の成長に合わせた方法や見守りをお願いしたい。

・一年生入学当初すぐに自立、自立と促されたことが理解できませんでした。自立を促していく必要があるのは理解しているし、それを望んで実行していますが、一年生のうちは環境になれることを優先してもいいのではないかと思います。

■今回初耳でした

- ・支援されたか不透明であるため、評価できない。

- ・何をしてくれているのか伝わっていません。

・いま現在の学童クラブで「自立に向けた支援」が行われていると感じられた機会はこれまでなかったです。別紙2に書かれた内容も家庭向けに見えるので、学童クラブでどう取り組みがされるのかイメージがわからず、必要とも必要ないとも判断できないです。

・実際にその働きかけや支援をしている場面を見ていないので、正直なところわかりません。別紙2に記載の内容について、声かけをしてるのでしょうか？

・その支援については、今回初耳でした。ルールの確認など、家庭だけではなかなか自覚を持ってないので、サポートいただけるのはありがたいです。

■感謝

・放課後に居場所があることをとても感謝しています。ありがたいです。これからもよろしくお願ひいたします。

- ・いつも子どもたちのことを見守ってくださり感謝しています。

・2年生も後半にはだいぶしっかりしてきて、最近は学童に行くか公園で友達と遊ぶか、自分で選ぶようになりました。学童の皆様には温かく見守って頂き感謝しております。ありがとうございました。

・いつも大変お世話になりありがとうございます。共働きのため、こうした場があり日々成り立っており感謝しています。工夫されたイベントもとても楽しめていますし、広くて安全な校庭で友達と外遊びを思い切り楽しむことも、今のこどもにとっては貴重な場になっていると思います。また、些細な心配事があった際、先生方がすぐに話を聞いてくださっただけでなく、先生方同士で状況を共有下さり、安心感をもつことができました。引き続き宜しくお願い致します。

- ・いつも子どもがお世話になり、感謝しています。運用大変と思いますが、良い形で進化で

きますように。これからもよろしくお願い致します。

- ・新 BOP の先生方のご対応は大変すばらしく、感謝しております。

■働きかけや声かけに気を配ってほしい

- ・自立に向けての支援で、子どもへの声掛けの言葉に気を配ってほしい。以前、初めてチャレンジさせた事に対しての声がけがあったが、その言葉に納得いかず、スタッフに疑問を感じたことがあった。

- ・『働きかけ』の方法が担当者によって異なるのではないか。留守番をさせろ、新 BOP は早くやめろ、との直接的な提言をされ、不快に感じるばかりである。

- ・自立に向けて…という考え方はよいですが、〇〇歳までにこれはできる「べき」「させてください」「ご家庭で指導ください」等、一方的な姿勢が多いように感じます。子供達は学校でも頑張っているのに、学童でも頑張らせるのは少しかわいそうだと感じます。学童は学校とは違うリラックスできる場所であることが 1 番大切ではないでしょうか。3 歳上の兄絵が通っていた時は、もう少し BOP が子供がリラックスでき、親は相談もできるような雰囲気があったと思います。その子に合った色々な遊びを提供してくれていた様に感じます。世田谷区は 3 年生までと短く 6 年まで居られないかと入学時は思いましたが、コロナの影響もありほぼ 2 年生で卒業、自立出来たかと思えます。ありがとうございました。

■自立に向けての支援は必要ないのでは

- ・将来的に自立が大切なことは分かるが、一方で以前世田谷区から配布された資料などに 1 人での留守番の危険性や、子供を 1 人にすることのリスクが書かれていて、矛盾を感じます。また不審な人にあうリスクの方が何かあった時、取り返しがつかないので、早期から焦って自立を促す必要がないと感じています。

- ・自立に向けての支援は宿題をする時間さえ守れていたら、他は特に学童クラブで何かしらする必要はない。月 5000 円で少なくとも私自身はそこまで望まない。

- ・学校生活でも自立に繋がるだろうし、疲れているので、放課後は学童に居てもゆったりリラックスして過ごしてほしい。

- ・学童は自宅のリビングのように、各人がのんびり好きなことをして過ごせる場所であるのが理想です。自立支援を強調することで、スタッフの先生方と子どもが「指導する者」と「指導される者」の関係になってしまい、子どもにとって学童がリラックスして過ごせる場なくなってしまうのは困ります。したがって、不要と考えます。

- ・犯罪も多様化し、子供だけで留守番をさせる事自体不安がある。

また、区の運営であるはずなのに強制加入の父母会の存在があり、仕事をする保護者のための施設であるはずなのに、仕事を増やされるのは理解し難い。

- ・ひとりで物事の判断や対応ができる年齢は 13 歳からだと言います。そのため海外では家でも外でも子どもをひとりにさせない、むしろひとりにする事は犯罪となります。子どもが巻き込まれる犯罪が後を絶ちません。また過去誰にも言えなかった被害を抱えている大人も相当数いるのではと最近の新聞報道で実感します。これは女の子だけでなく男の子も当てはまります。日本が安全だと言うのは大人による子どもを見守る姿勢の欠如だと思えます。自立を教えるには小学 1 年生では早過ぎます。子どもをひとりにしないという確固たる施策を望みます。今世田谷区が抱えている 3 つの課題からは逸れますが、いずれにしても放

課後の過ごし方が少しでも子どものためになるものであればよいと思います。

- ・低学年のうち、誰もいない家に一人で帰宅させたくないで、子供に自立を求めるのではなく、大人たちが見守り安心して過ごせる場所を作るの方が重要だと思います。
- ・学童の負担ではなく、学校内での指導と思います。全児童に必要だと思いますので。

■改善案など

- ・とてもよい内容と思いました。別紙は初めて見ましたが、これは通常はいつ、どこで配布されていますか。
- ・三年生が児童館に行く練習がありました、1、2年生にもあるといいなと思いました。
- ・環境を整えることも大事だが、家庭内のできる工夫もある。こうしたらできるようになるのでは？と家庭向けに促すことも大切だと思う。子どもと一緒に練習しよう！の用紙はもっとアピールすべき。
- ・別紙2のような資料配布が、就学半年前ぐらいからほしい。
- ・「働きかけや見守り」が、具体的に何を指すのかよくわかりません（例えば資料には「歩いてみよう！」「留守番の練習をしよう！」とありますが、それについて子どもにどのような働きかけをしてくださっているのか、など）。なんともこちらで評価のしようがないように思います（どちらかという資料は親に向けての教育内容と感じます）。なお、先生方には本当に感謝しており、日々忙殺されておられることと思われまます。働きかけのフィードバック資料などを作っていただきたいわけではないことはご理解いただければと思います。「子どもと一緒に練習しよう！」の資料の各項目（何々してみよう！）に、それぞれひとつずつでも「BOPではこんなふうに声がけてます」と追記いただけるだけで、こちらとしてはかなりイメージしやすくなりますので、ご検討いただけますと幸いです。
- ・別紙2の先輩からのワンポイントアドバイス、ルール作りの具体例をもう少し知りたかったです。我が家のルールを作る上で、いろんな方法を参考にして決めたいなと思いました。
- ・留守番で具体的に何をするのか、何をしてはいけないのかまで伝えないと本人は分からない。それを各家庭に任せるより支援の中で伝えた方が良いのではないかと。また親だけでなく困った時に話ができる支援の電話があればいいと思う（結局親は仕事なので預けている訳だから、留守番出来るようになれば放課後支援は終わり、というのは違うと思う）
- ・4年生以降も放課後に安全な場所で過ごせるよう、放課後の居場所についての情報や保護者の皆さんが実際行っている工夫などの情報が知りたいです。
- ・〇〇の学童職員の方は子供と遊ぶ意識は高いと思いますが、何か教育的な事をするのは学童の役割ではないと考えている節があるので、児童館全体から教育的な発信をしても、各学校の学童職員の意識を統一化しないと絵に描いた餅で終わるかと思います。

■自立と防犯や災害対策を混同しないでほしい

- ・防犯や災害対策と、自立を混同してもらいたくありません。小学校3年生にもなれば子供は自立していますが、防犯・災害対策のために、留守番させずに済む学童を必要としています。不審者情報や子供への犯罪は、日常茶飯事です。娘を留守番させたり独りで帰宅させたりするのを避けるのは、娘が自立できていないからではなく、単純に防犯のためです。
- ・自立が、子どもが放課後ひとりで過ごすことができる、というのを指すのであれば、あまり自立支援はしてほしくないのが正直なところ。理由としては、4年生になり、卒所し

でも、ひとりで過ごすことが物理的にできることと、なんのトラブルも心配もなく過ごせることは、別のことだと思っているからです。小学生はまだまだ自立と支援のどちらも必要な段階だと思います。放課後、子どもたちが安心して過ごせる場所の提供を心から願っています。また、土曜日日曜日が仕事で養育が難しい家庭の子ども居場所の確保も、検討していただきたいと思います。

・ひとりでお留守番できることが自立とは思っていません。安全上の問題でひとりにさせることを防げるシステムを地域でもう少し考える場を設けてほしいです。スペースがないからなるべく登園を遠慮してほしいという依頼より、どうしたら学校内でスペース確保できるのかを保護者を含め学校側に検討依頼してほしい。

■ 4年生以降もゆるく見守ってほしい、4年生以降も預かってほしい

・4年生以降も何かあれば相談できる窓口になってもらえたら嬉しい。信頼関係があるので何かの時に相談しやすいように思います。とはいえ常に忙しそうですし、無理して欲しくはないので、職員を増やすなど、働く方々が安心して快適に働いてもらえる環境にしてあげてください。

・小4からいきなり新BOPにいけなくなるのが不安。何か段階を踏む方法はないのでしょうか。

・4年生になると学童に入れなくて困る。せめて、夏休みなど長期休みの期間だけでも、預かって欲しい。やはり、一人で朝から夜までお留守番は親としても心配です。

・母子家庭なので、学童が3年生までしか無いことが、とても不安です。できれば高学年まで過ごせるように対応を希望します。

・4年生の長期休みも学童利用が出来るように対応して欲しい。1人で家にいるしか方法がなく、とても危険。

・自立イコール1人留守番できるようになって学童は卒業という流れに疑問があります。最近校庭以外に安全な遊び場も少ないので、結局学童の代わりに習い事ばかりする子供が増えているように思います。高学年になっても緩く学童が見守ってくれるようなシステムがあるとよいなと思います。

■ 子供も親も安心して過ごせる居場所が少しでも増えることを期待

・学校と家以外の第3の居場所を求めています。自由に工作活動ができるなど、子どものありのままを受け止めてくれる場所が家庭以外にも必要です。

・公園や校庭に寄せられる一部の地域の方の子供に対するクレームを聞くと、子供をひとりで地域に出す事に不安があります。私自身、地域の方々との交流が少ないのも不安の一因だと思います。子供も親も安心して過ごせる居場所が少しでも増えることを期待しています。

・学校、PTA、学童、地域の資源が豊かにつながって放課後の安心な居場所が増えるといいなと思っています。

■ その他

・支援学級の子どもたちは自分たちで約束して自由に過ごすことが難しい子どもたちが大半です。そういった子どもたちも通常級の子供たちと同じように放課後を自由に安心して、干渉されすぎず過ごせる場所が増えるとよいと、支援級の親たちは常に思っています。

・コロナの影響もあるのですが、ルールが増えてのびのび過ごしているようには感じら

れないときがあります。学校にも色々なルールがあり、特に一年生で緊張と不安があるなかでは、楽しみな場ではなかったようです。もう少し学校とは別の雰囲気かと思っていたのですが、学校の出先機関という印象。

・備品が古かったり手作りだったり、予算が足りてないのが伝わってきて、区立の保育園とか福祉施設もそうですが、昭和の雰囲気というか、その辺りが変わらないなあと思いました。学童に限ったことではありませんが、子どもにとって最低限の必要な一人当たりのスペースや天井の高さなどの基準が良い意味でもっと厳しくなって、快適な場になるといいなと思っています

・子どもが自ら道を切り拓いていけるようになるにはざっくりと荒削りな感じの関わりも必要で、むしろ最近ではそのような関わりが少ないのが心配。

・二年生、三年生になるにつれて人数が減って行ってしまうのが寂しく、それにつれて子供も行きたがらなくなります。一年生ばかりに気を取られたりせず上の子にも目を向けてあげてもらえたら幸いです。

2. 児童アンケート（新BOP学童クラブ登録者）

・調査対象

新BOP学童クラブにてアンケート用紙に回答

・回収状況

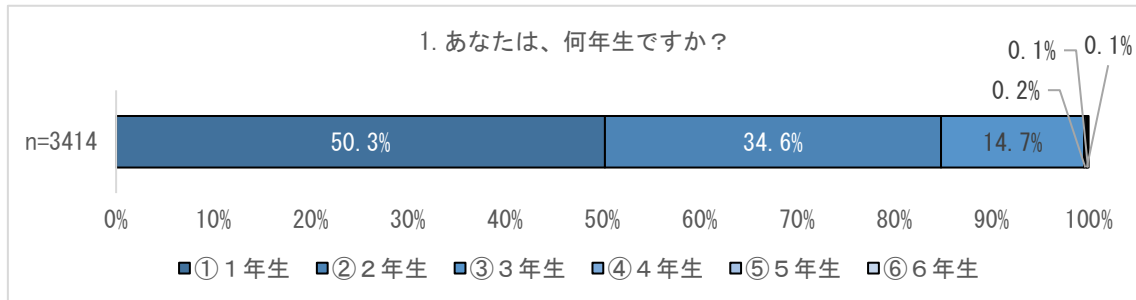
配布数 7,444 人、有効回答数 約 3,394 人、回収率 45.6%



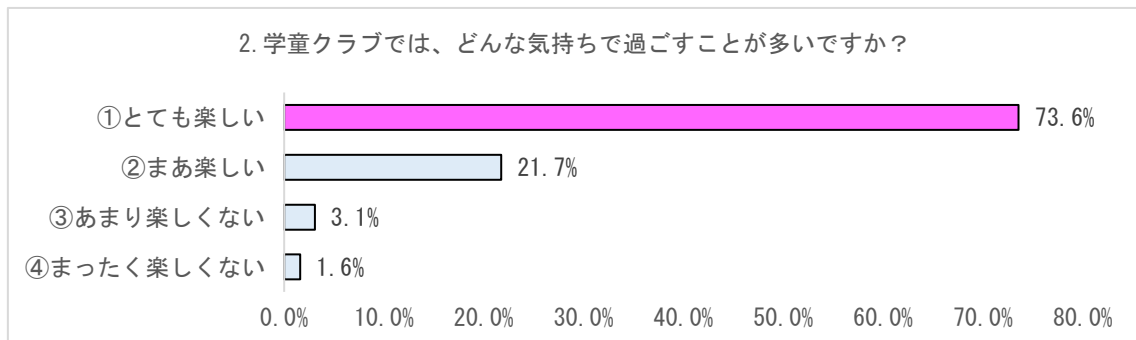
（1）回答者の属性

①学年

回答者全体のうち、1年生が50.3%、2年生が34.6%、3年生が14.7%、4年生が0.2%、5年生が0.1%、6年生が0.1%であった。

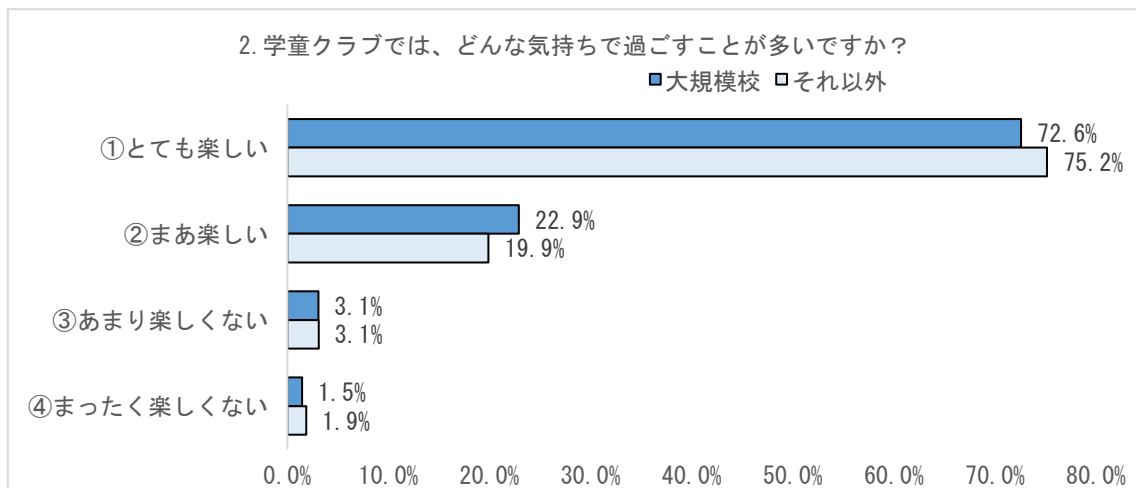


（2）新BOP学童クラブが楽しいか



【大規模校との比較】

大規模校とそれ以外の新BOPについて、新BOP学童クラブを楽しめているかに差はみられなかった。



それは、なぜですか？

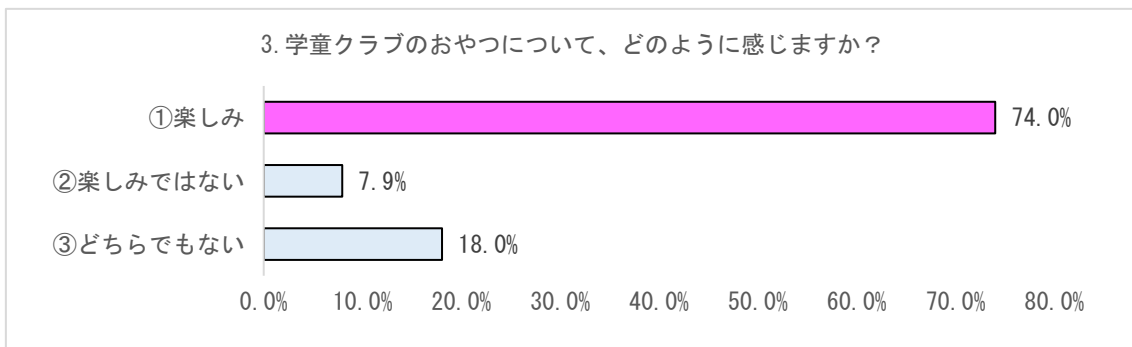
「①とても楽しい」「②楽しい」と回答した児童

- ・いろいろなおもちゃがあるから
- ・みんなといっぱいあそべるから
- ・広い校庭でいっぱい遊べるから

「③あまり楽しくない」「④まったく楽しくない」と回答した児童

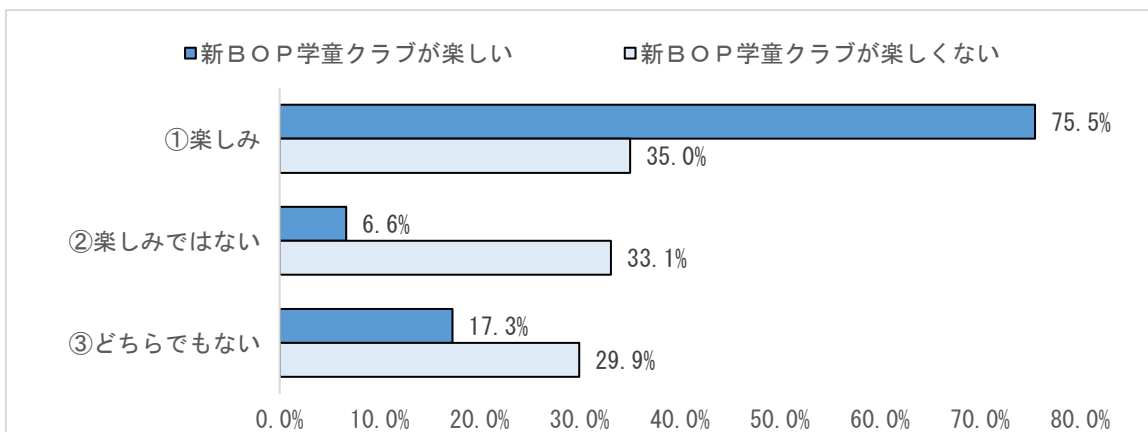
- ・飽きた
 - ・帰りたい時間にかえれないから
 - ・ともだちができないから
 - ・ともだちがいないから
- ・コロナのせいであそびがすくなくなったから。

(3) 新BOP学童クラブのおやつは楽しみか



【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答した児童のうち75.5%が、おやつは楽しみと回答している。一方、新BOP学童クラブが楽しくないと回答した児童のうち33.1%が、おやつは楽しみではないと回答している。



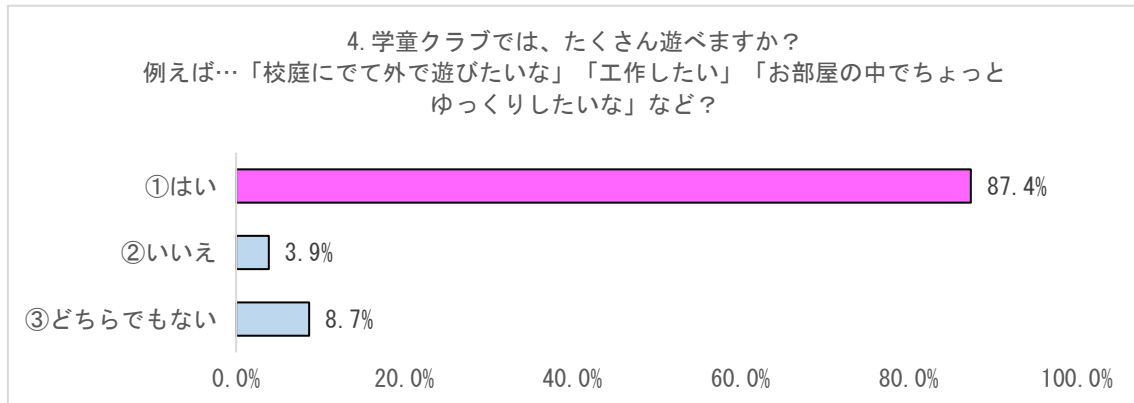
それは、なぜですか？(自由記述)

「①楽しみ」と回答した児童

- ・いつもどんなおやつがでてくるかたのしみだから

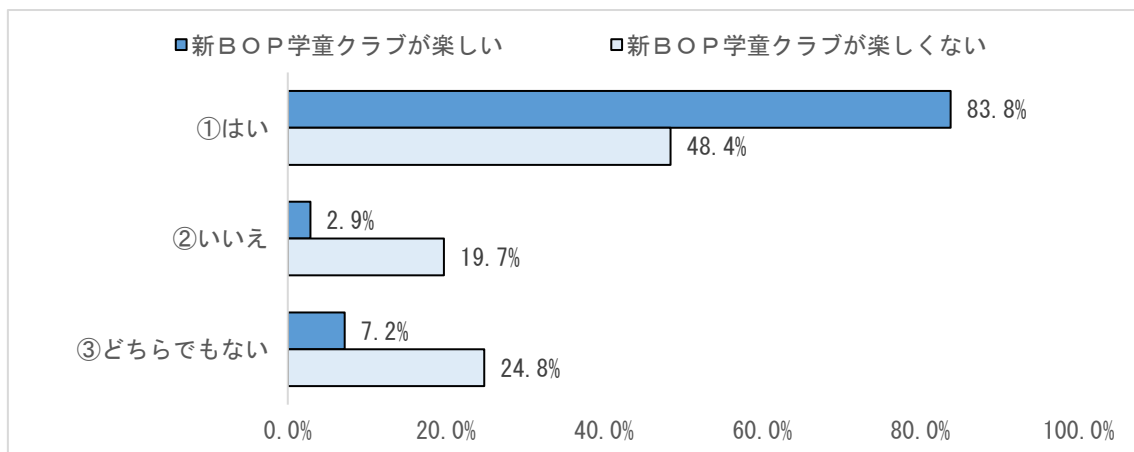
- ・いろいろなメニューがあるから
 - ・おいしいから
- 「②楽しみではない」「③どちらでもない」と回答
- ・家でも食べれるから
 - ・おいしくないから
 - ・宿題をしたり、遊んだりできない

(4) 新BOP学童クラブでたくさん遊べるか

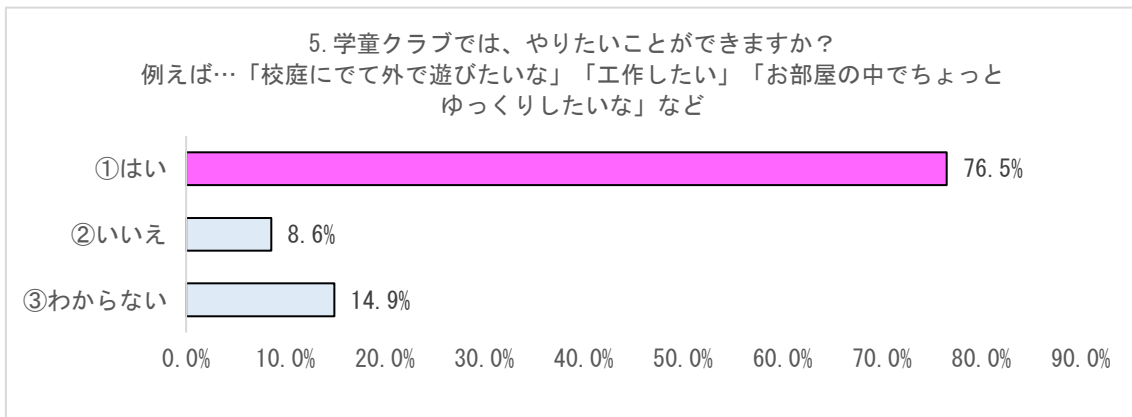


【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答した児童のうち 83.8%が、新BOP学童クラブではたくさん遊べると回答している。一方、新BOP学童クラブが楽しくないと回答した児童のうち、たくさん遊べると回答した割合は 48.4%、たくさん遊べないと回答した割合は 19.7%であった。

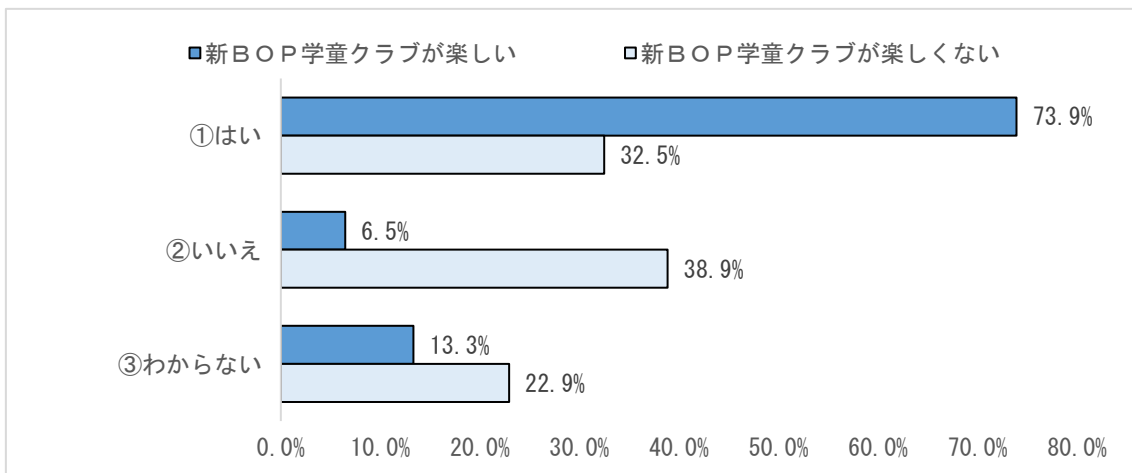


(5) 新BOP学童クラブでやりたいことができるか

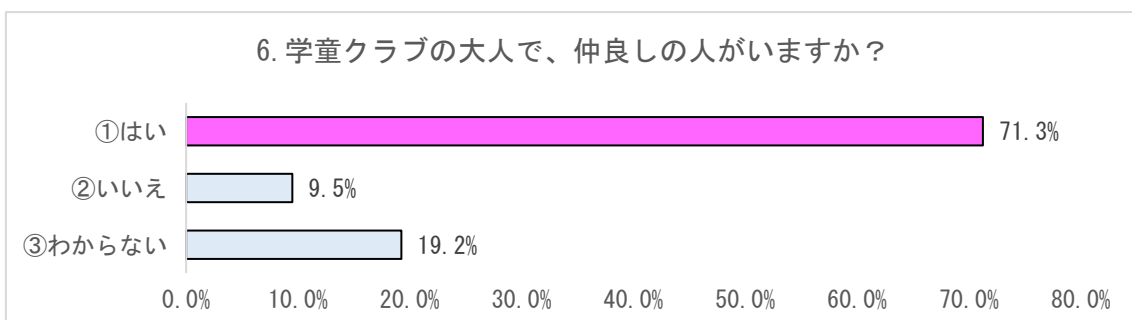


【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答した児童のうち 73.9%が、やりたいことができていると回答している。一方、新BOP学童クラブが楽しくないと回答した児童のうち 38.9%が、やりたいことができていないと回答している。

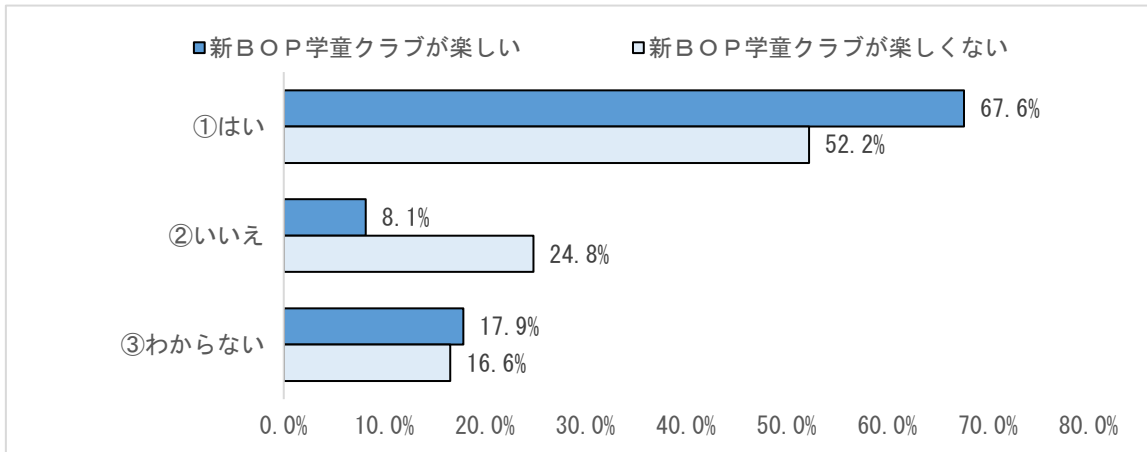


(6) 新BOP学童クラブに仲良しの大人がいるか

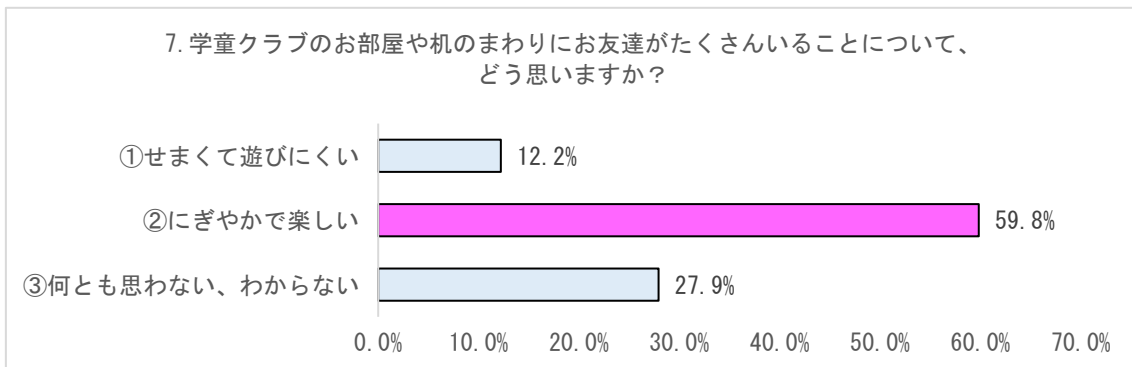


【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答した児童のうち 67.6%が、新BOP学童クラブに仲良しの大人がいると回答している。一方、新BOP学童クラブが楽しくないと回答した児童のうち、仲良しの大人がいると回答した割合は 52.5%、いないと回答した割合は 24.8%であった。

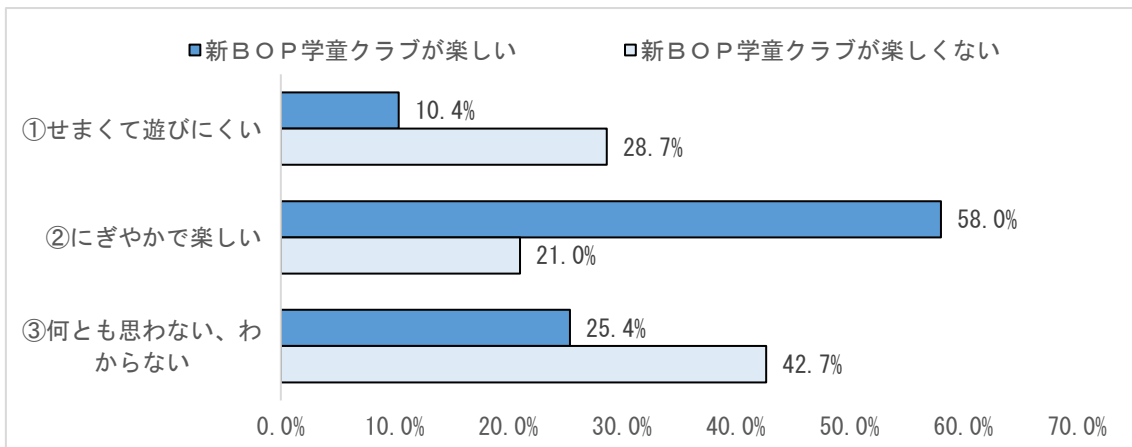


(7) 新BOP学童クラブの大規模化、狭隘化についてどう感じているか

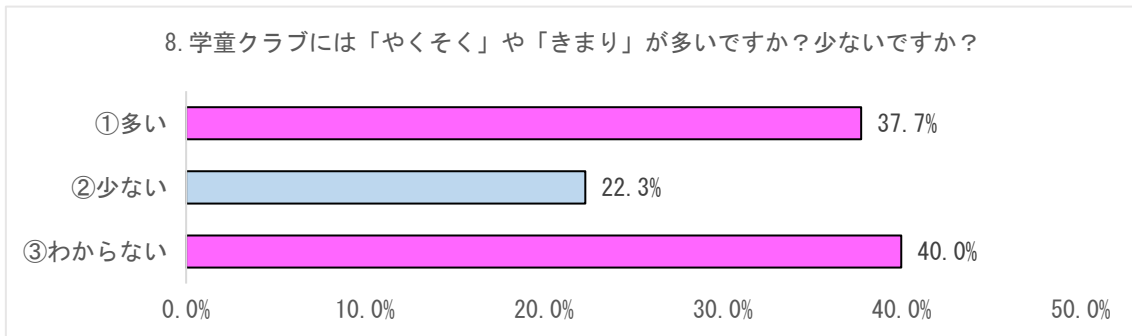


【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答している児童に比べて、楽しくないと回答している児童の方が、新BOP学童クラブはせまくて遊びにくいと感じている傾向がある。

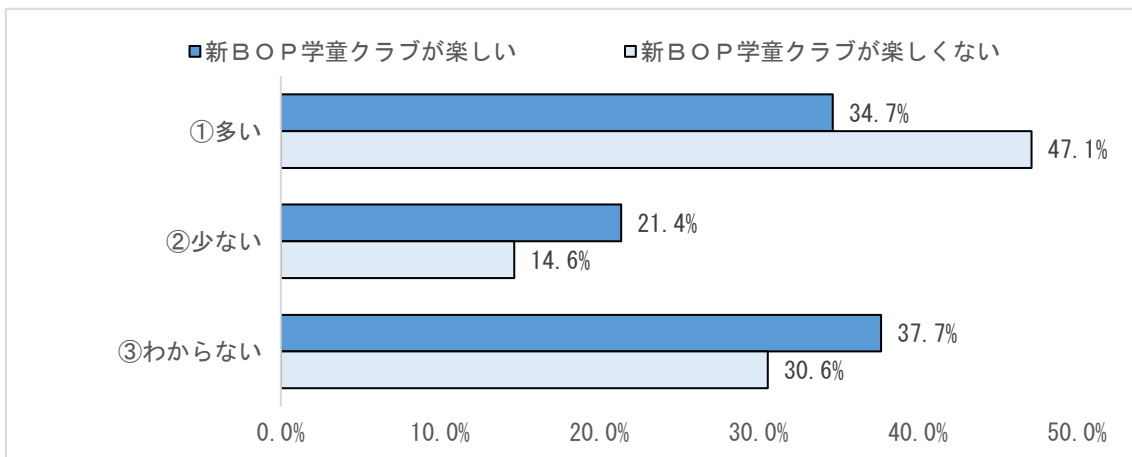


(8) 新BOP学童クラブは「約束」や「きまり」が多いか

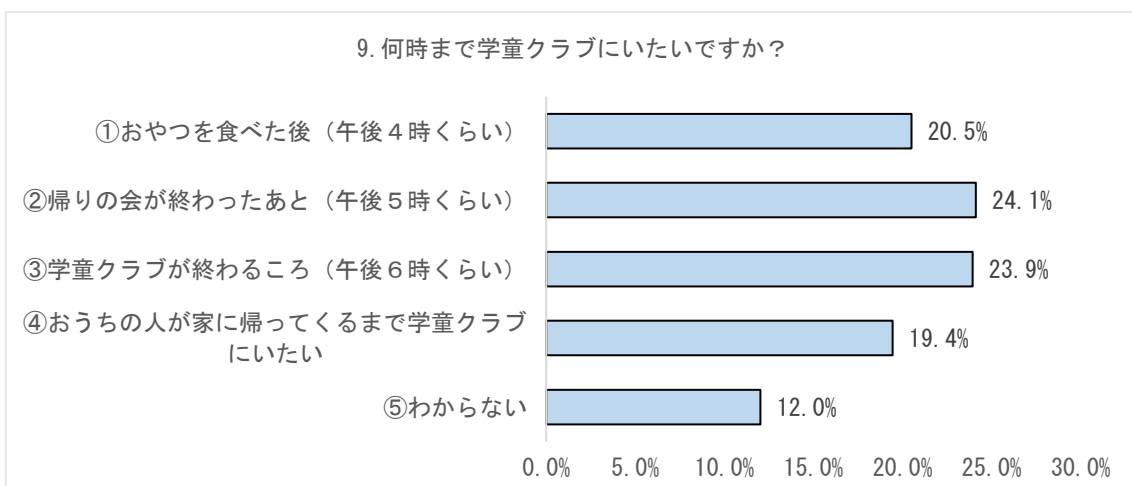


【新BOP学童クラブの満足度別】

新BOP学童クラブが楽しいと回答している児童に比べて、楽しくないと回答している児童の方が、新BOP学童クラブには「約束」や「きまり」が多いと感じている傾向がある。



(9) 何時まで新BOP学童クラブにいたい



それは、なぜですか？ (一部抜粋)

「①おやつを食べた後 (午後4時くらい)」と回答した児童

- ・おやつを食べて帰れるから
- ・習い事があるから

- ・早く家に帰りたいから

「②帰りの会が終わったあと（午後5時くらい）」と回答した児童

- ・5時くらいがちょうどいい時間だから
- ・いっぱい遊べるから
- ・早く帰りたいから

「③学童クラブが終わるころ（午後6時くらい）」と回答した児童

- ・学童クラブが楽しいから
- ・たくさん遊びたいから

「④おうちの人が家に帰ってくるまで学童クラブにいたい」と回答した児童

- ・学童クラブが楽しいから
- ・たくさん遊びたいから

「⑤わからない」と回答した児童

- ・その日によるから

3. 児童アンケート（新BOP学童クラブ未登録者）

・調査対象

BOP利用児童（1～6年生）

プレーパーク利用児童（1～6年生）

児童館利用児童（1～6年生）

青少年交流センター（アップス）利用児童（1～6年生）

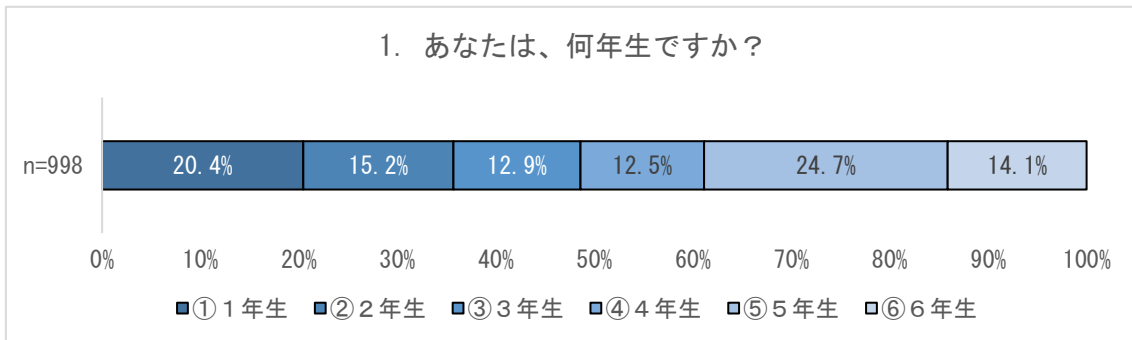
・回答状況

有効回答数 1,007人



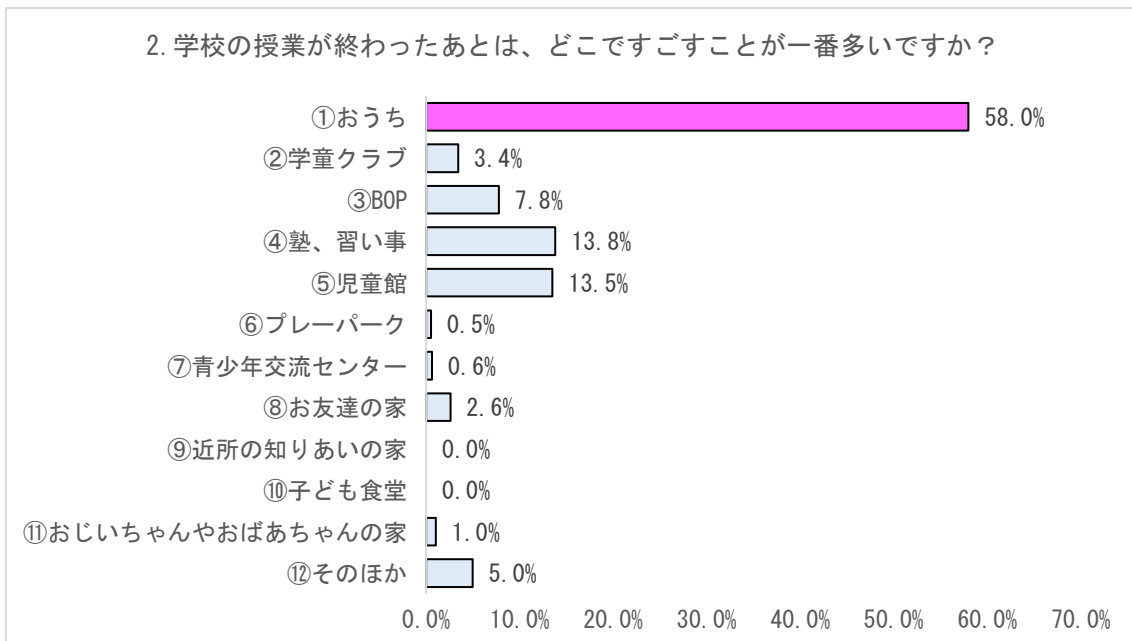
（1）回答者の属性

回答者全体のうち、1年生が20.4%、2年生が15.2%、3年生が12.9%、4年生が12.5%、5年生が24.7%、6年生が14.1%であった。



（2）放課後の過ごし方

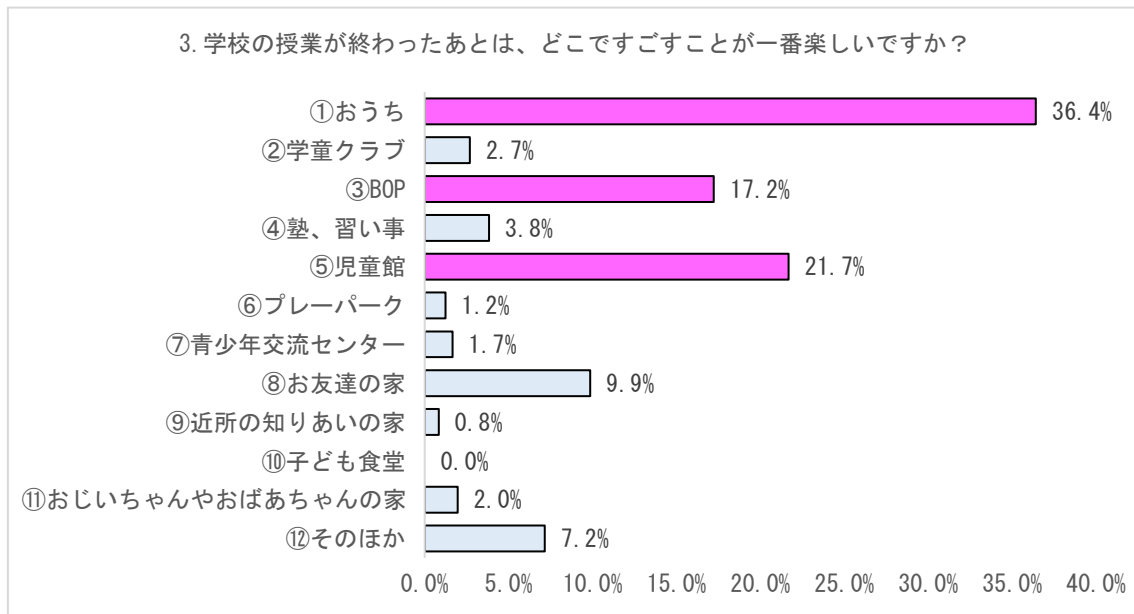
① 過ごす場所



⑫ そのほか（一部抜粋）

- ・公園
- ・社宅

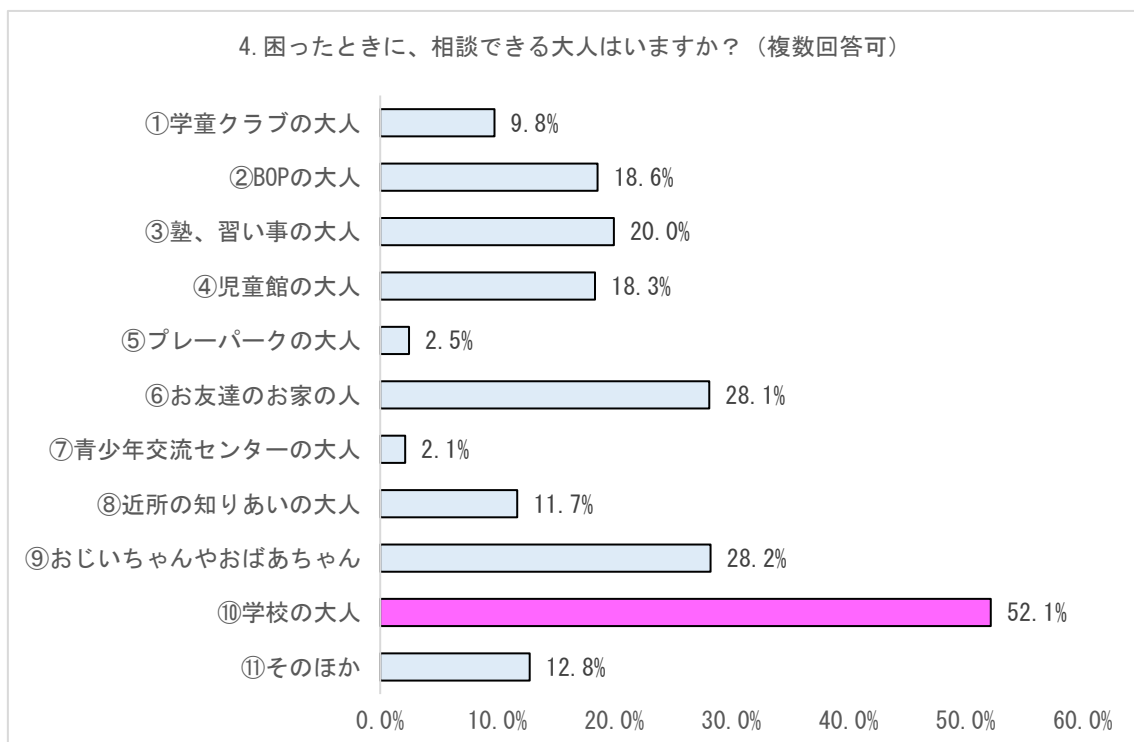
②過ごす楽しい場所



⑫そのほか（一部抜粋）

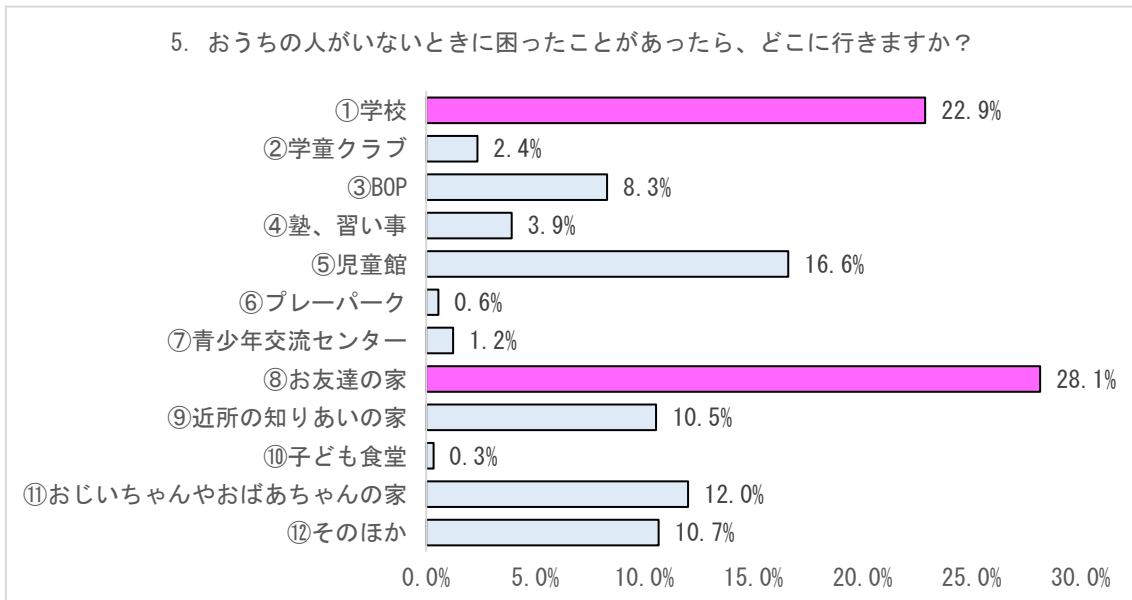
- ・公園
- ・ホットスクール

(3) 相談できる大人がいるか



⑫そのほか（一部抜粋）

- ・親
- ・いない



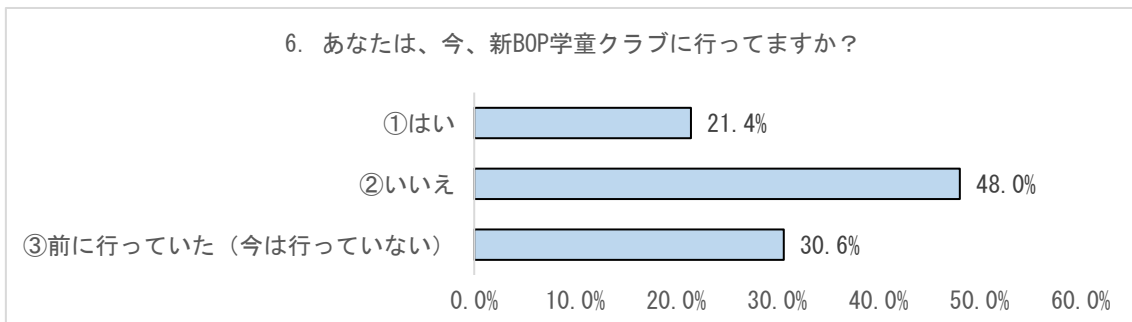
(4) かけこみ場所

⑫そのほか（一部抜粋）

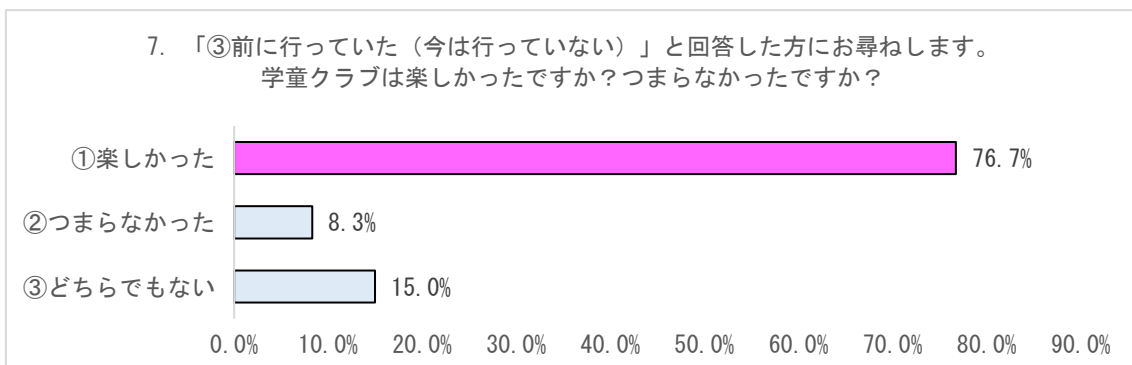
- ・待ってる（家にいる）
- ・公園
- ・保育園、幼稚園
- ・図書館

(5) 新BOP学童クラブについて

①登録有無



②楽しかったか



それは、なぜですか？（一部抜粋）

「①楽しかった」と回答した児童

■いろいろな遊びがある

- ・様々な遊び道具があったから
- ・サッカーが楽しい
- ・ドッジボールが楽しい
- ・いろいろなおもちゃなどがあったから（マンガ・ピアノ・ウノなど）
- ・本がたくさんあるから

■友達がいる

- ・友達がたくさんいたから
- ・友達とより仲良くなれたから
- ・色々な人と遊べたから。（友達の友達と仲良くなったり）

■異学年がいる

- ・異学年とも交流しやすかったから

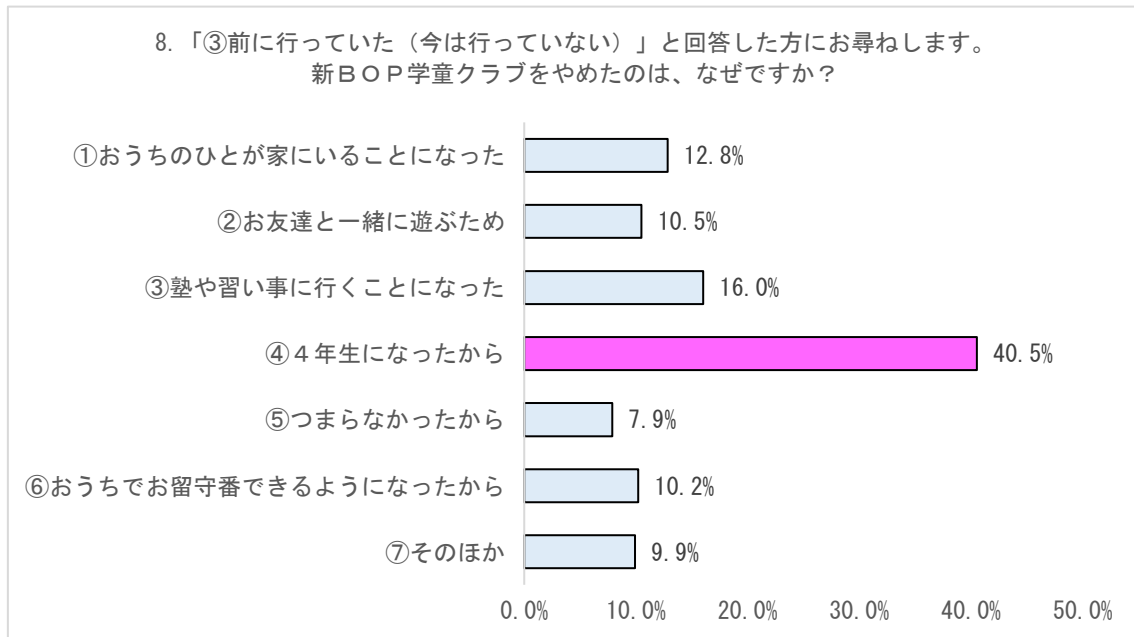
■行事が豊富

- ・いろいろな行事があったから

「②つまらなかった」「③どちらでもない」と回答した児童

- ・高学年がこわかった
- ・おこられたから
- ・遊ぶものが少ない。小説マンガをあまりおいてない
- ・友達がいない
- ・早く帰りたいときがあったから
- ・ゲーム機がないから
- ・先生がうるさいから
- ・おこられたから
- ・マンガがおいてあったり、ゲームがあったりたのしかったけど、学童の子がおやつを食べている時間にゲーム、マンガがよめなかったから

③退会理由



⑦そのほか（一部抜粋）

- ・コロナウイルスが流行ったから
- ・弟、妹が生まれたから
- ・児童館に行くようになったから

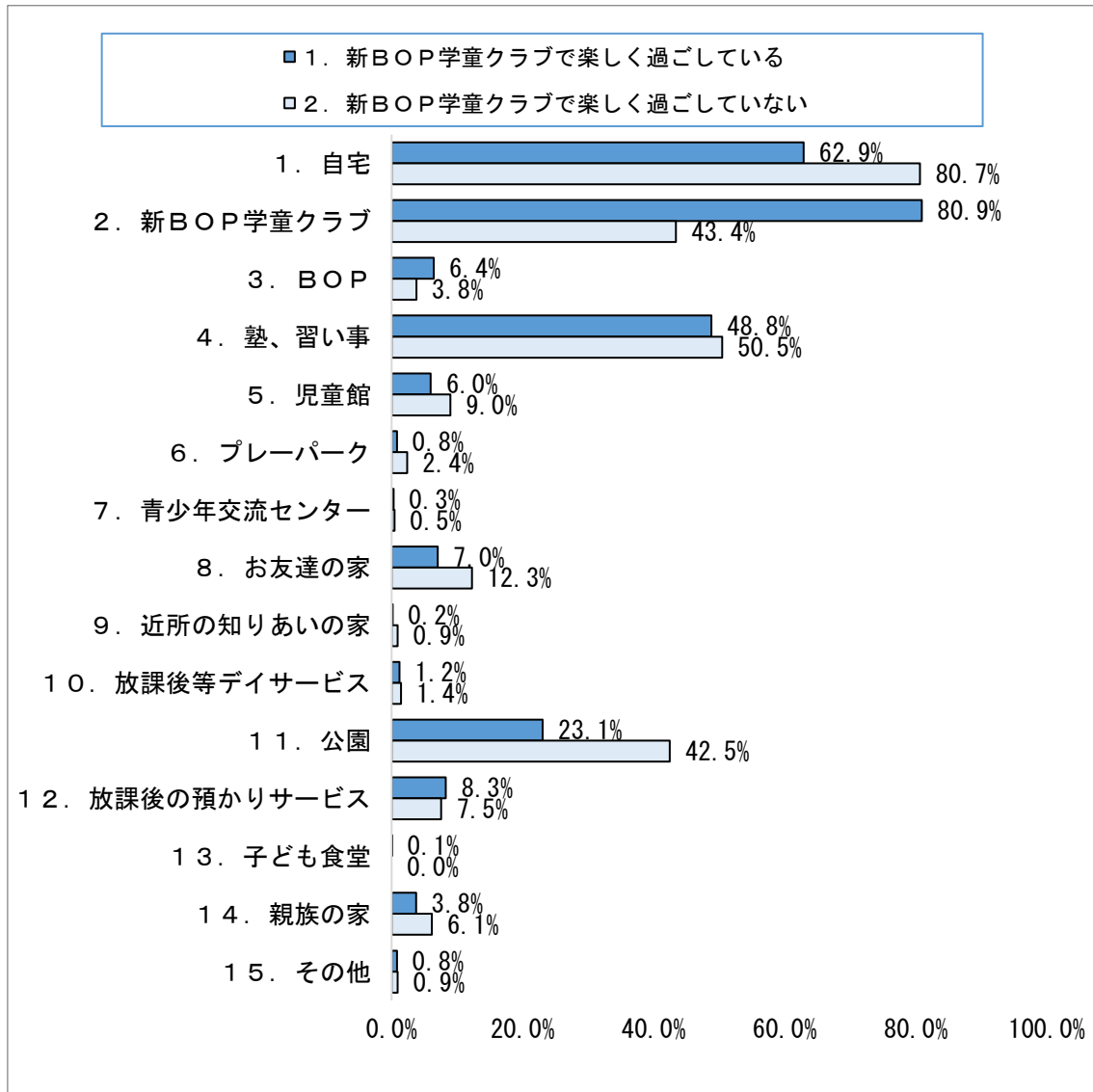
【参考】資料編

1. 保護者アンケート

(1) 放課後の過ごし方（複数回答可）

【新BOP学童クラブの満足度別】

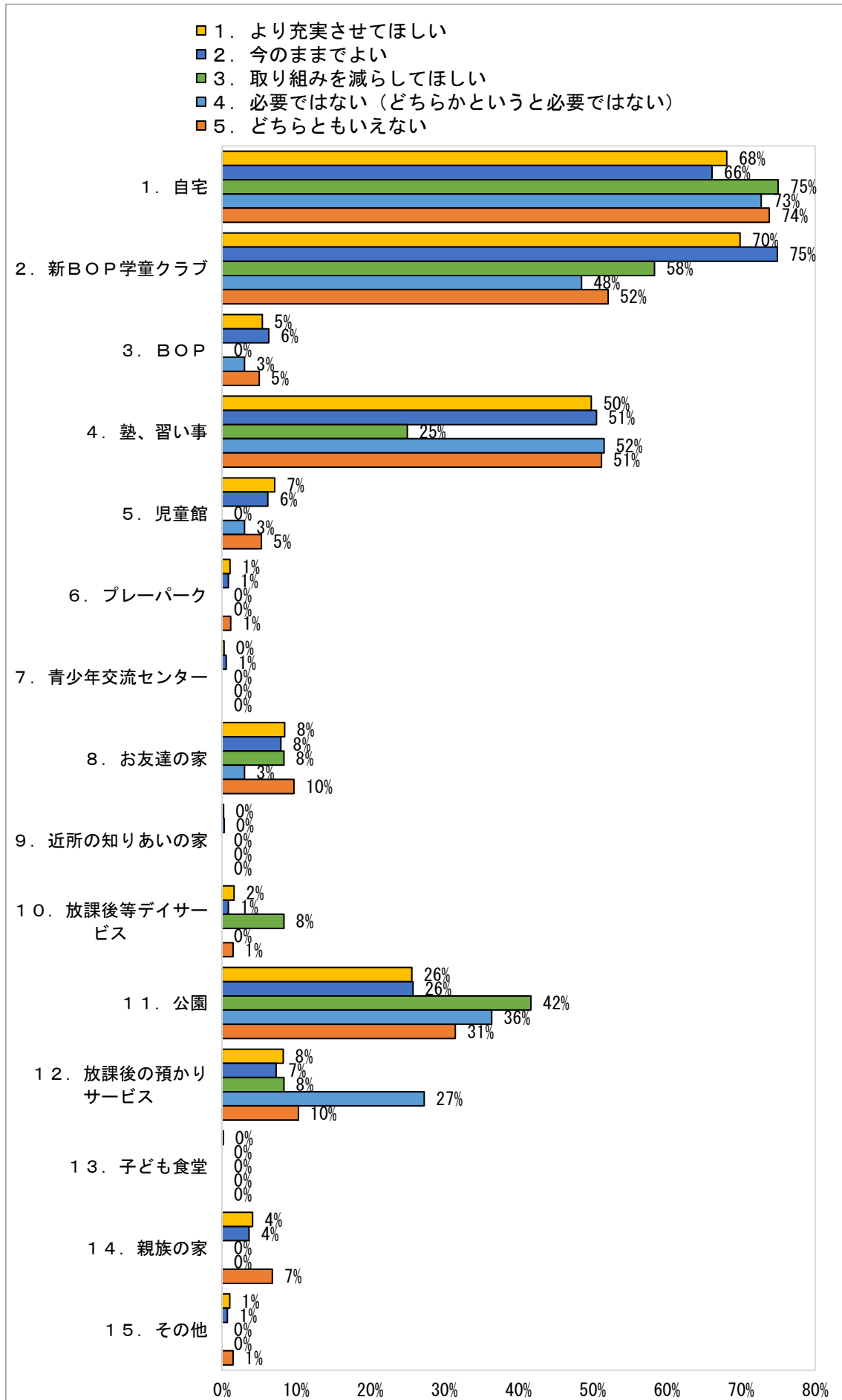
新BOP学童クラブで楽しく過ごしていると回答している子どもは、そのほかの子どもより新BOP学童クラブで過ごしている傾向が強い。新BOP学童クラブが楽しくないと回答している児童は、自宅や公園で過ごしている割合が高い。



【自立の取り組みへの回答別】

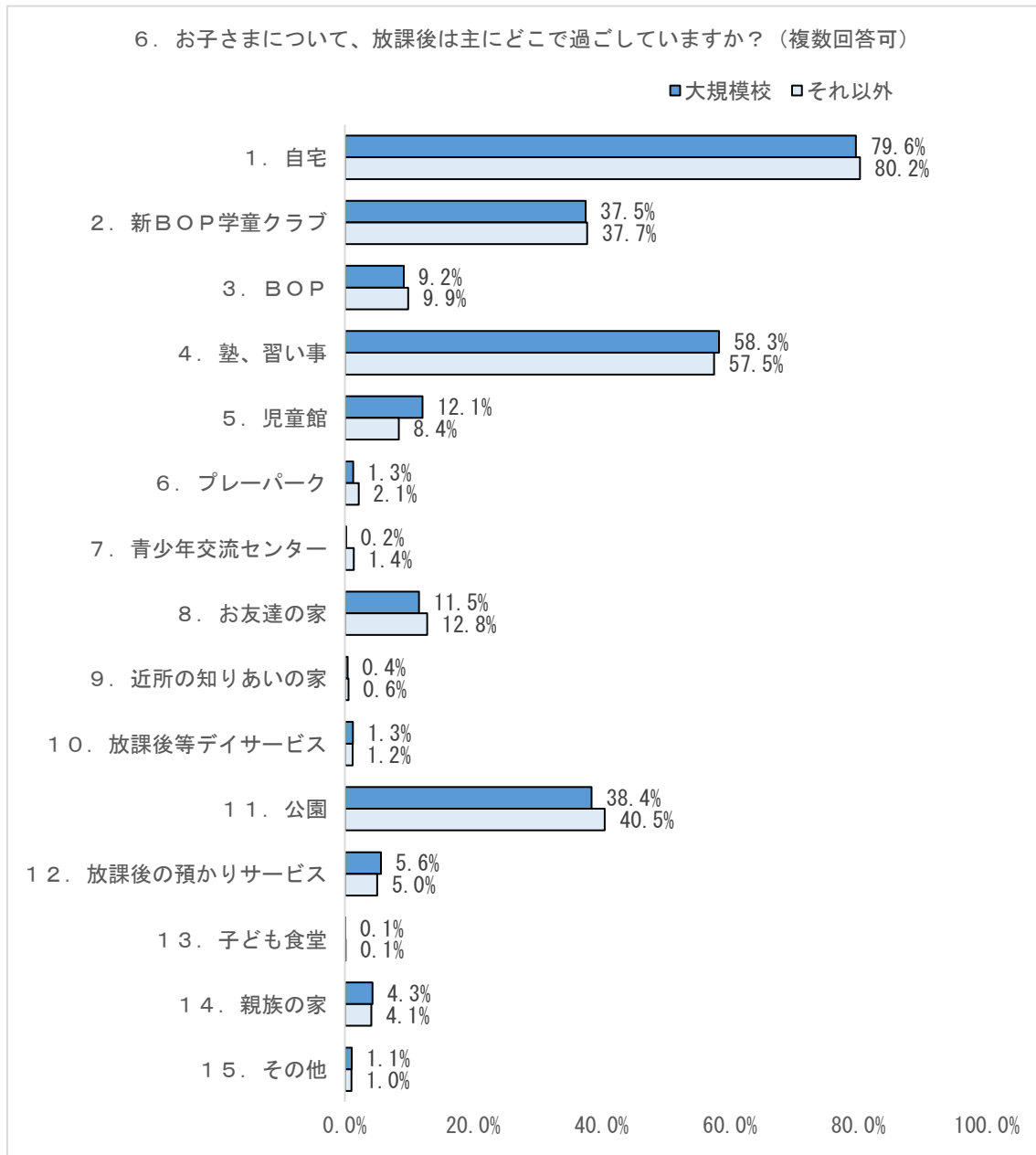
自立に向けての支援について、「1. より充実させてほしい」「2. 今のままでよい」と回答している家庭において、新BOP学童クラブを利用している割合が高い。

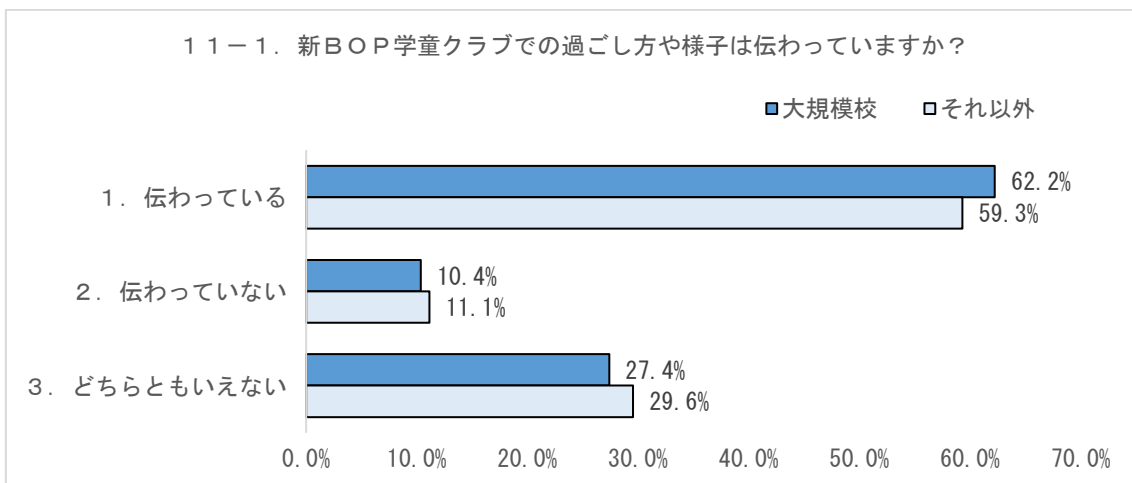
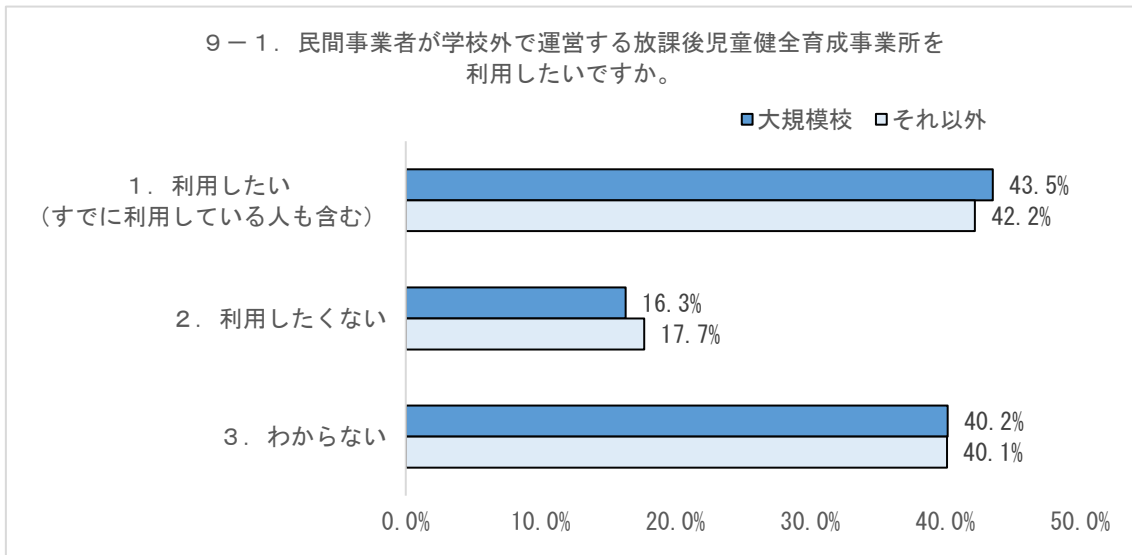
「3. 取り組みを減らしてほしい」「4. 必要ではない（どちらかというとも必要ではない）」と回答している家庭においては、公園や放課後の預かりサービスを利用している割合が高い。



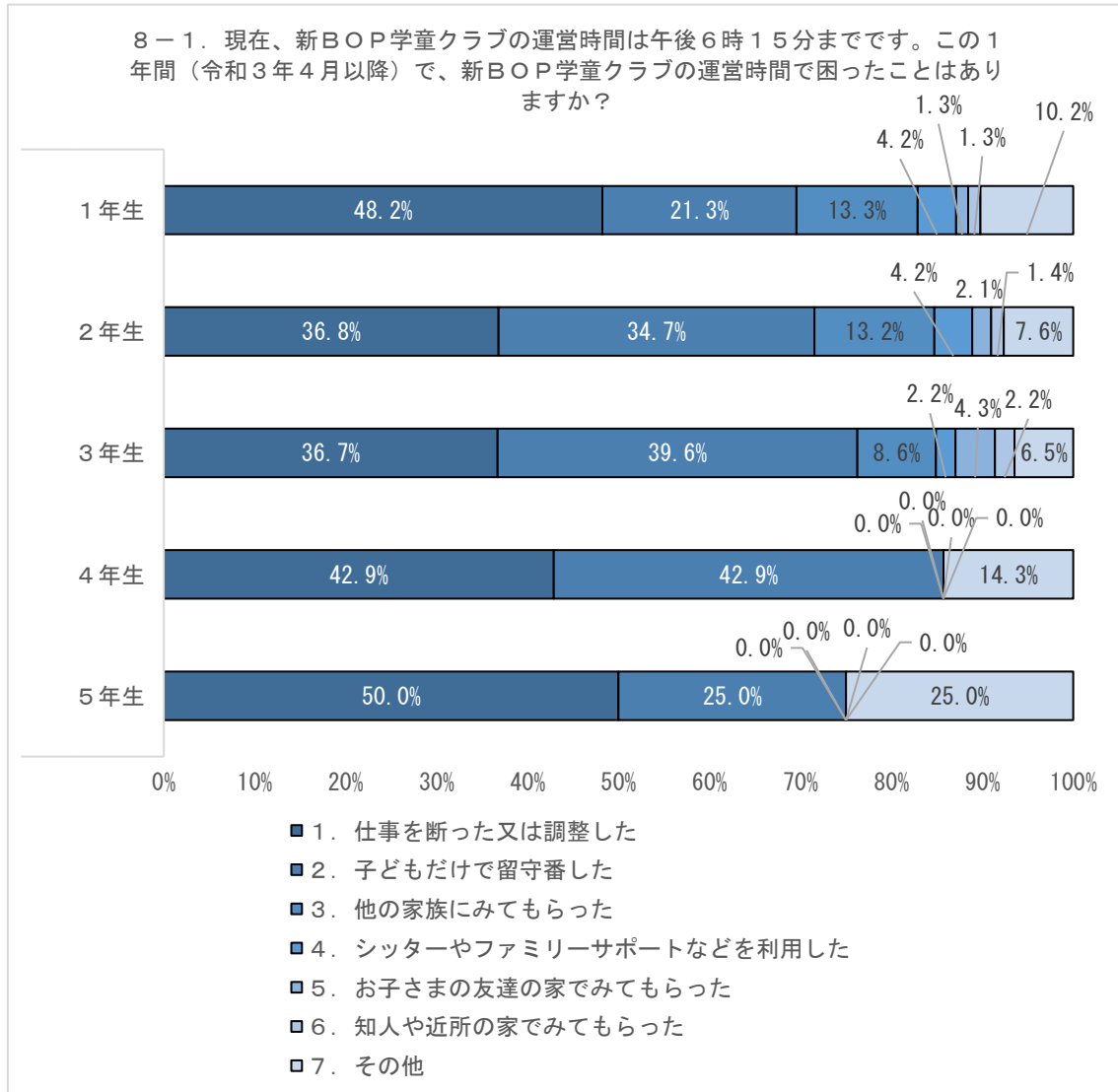
(2) 大規模校との比較 (一部抜粋)

大規模校とそれ以外の新BOPについて、新BOP学童クラブを楽しめているかに差はみられなかった。





(3) 【学年別】保護者が新BOP学童クラブの運営時間（午後6時15分まで）に困った際の対応方法



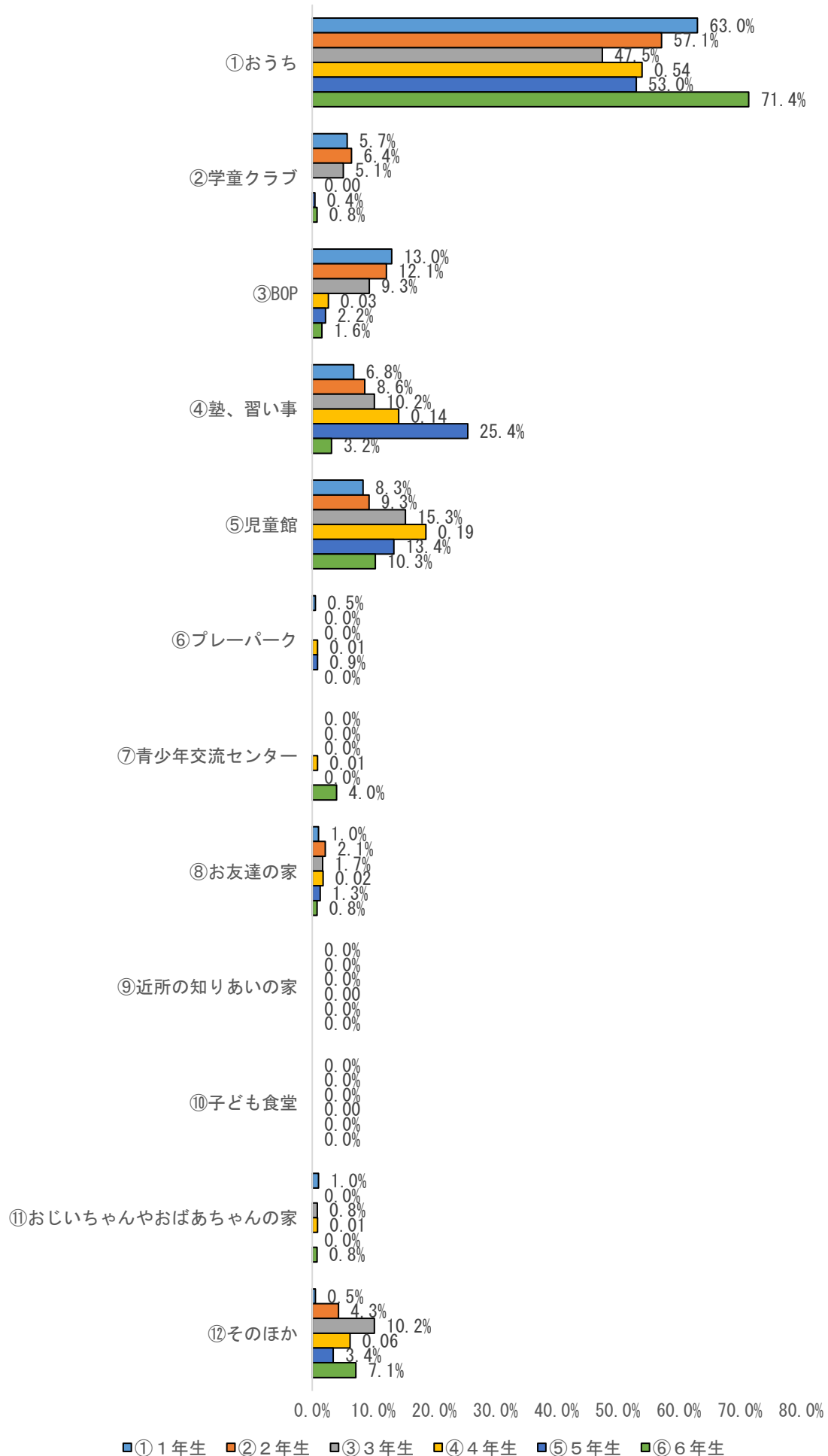
2. 児童アンケート（新BOP学童クラブ未登録者）

①学年ごとの傾向

【過ごすことが一番多い放課後の居場所】

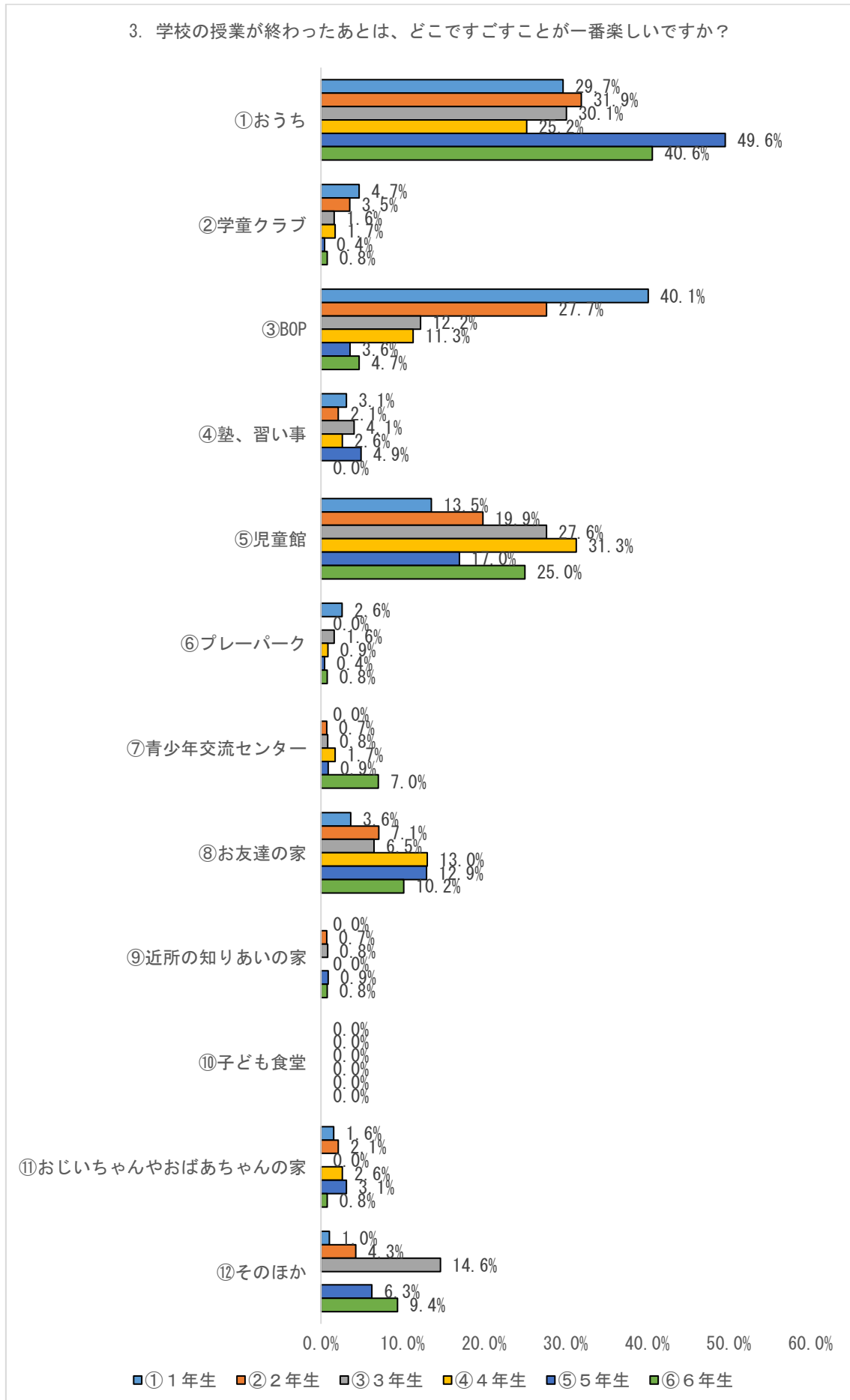
どの学年も「①おうち」が一番高い割合となっている。1年生と6年生の「①おうち」で過ごす割合が比較的高い。「⑨近所の知り合いの家」「⑩子ども食堂」の回答はなかった。

2. 学校の授業が終わったあとは、どこですごすことが一番多いですか？

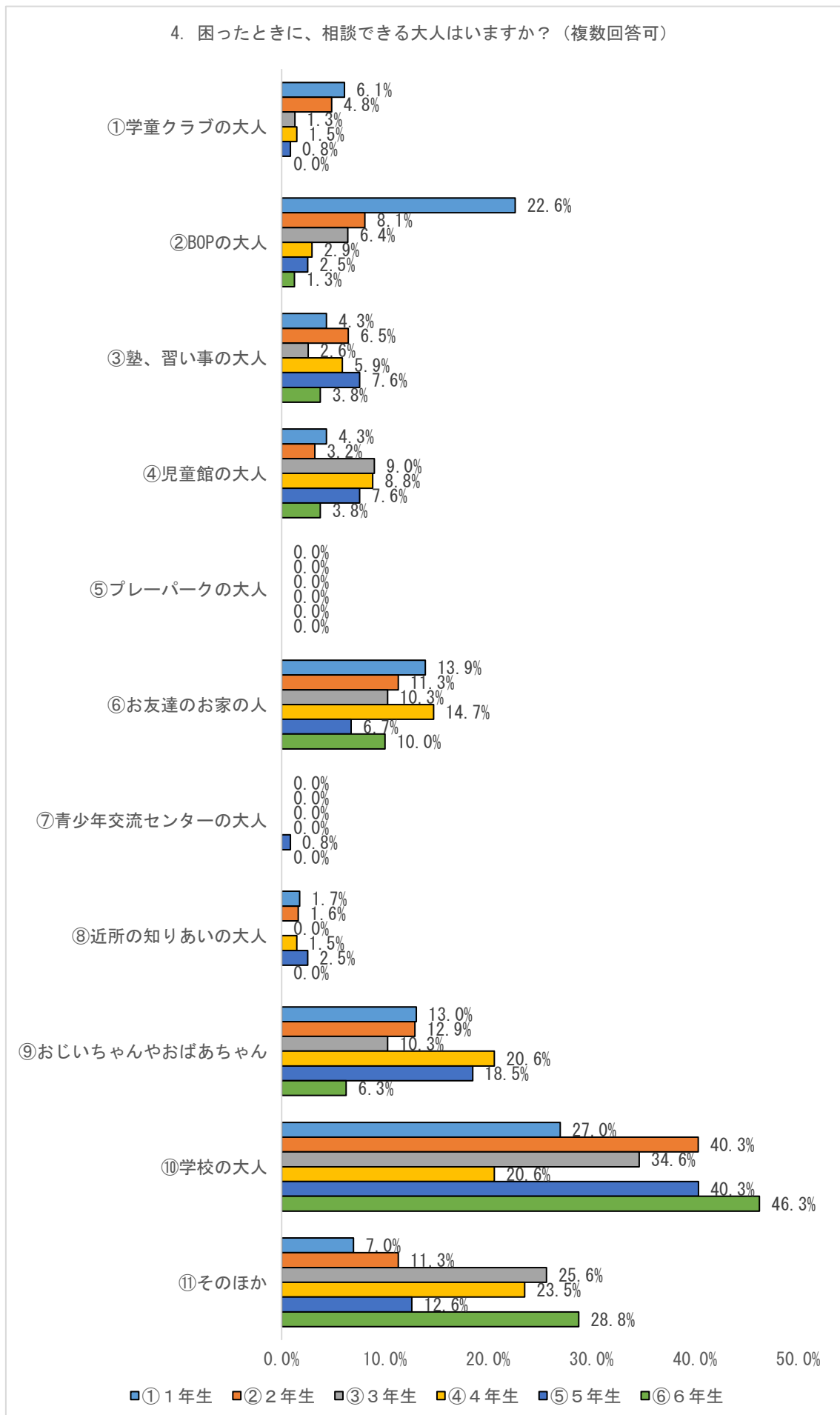


【過ごすことが楽しい放課後の居場所】

「①おうち」で過ごす割合は、高学年ほど高い傾向。

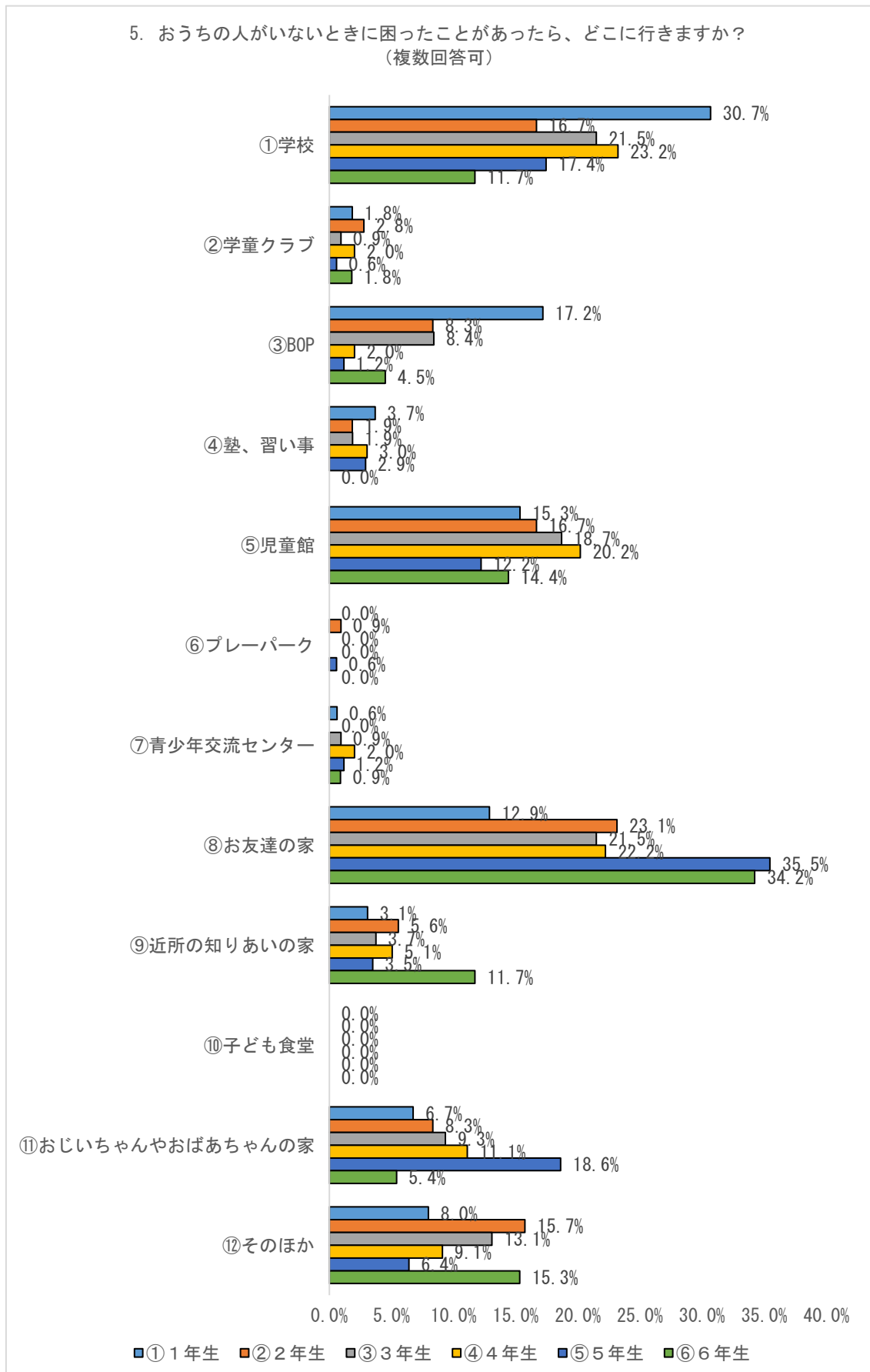


【相談相手】



【かけこみ場所】

「①学校」「③BOP」「⑤児童館」の回答割合は高学年ほど低い傾向。対して、「⑧お友達の家」「⑨近所の知り合いの家」、「⑪おじいちゃんやおばあちゃんの家」の回答割合は高学年ほど高い傾向。



子どもの放課後をより豊かにするための

保護者アンケート

世田谷区では、大規模化している新BOP学童クラブの今後のあり方などについて検討するため、保護者の皆様にアンケートを実施することといたしました。アンケートの結果は、お子さまの放課後をより良くするために使用いたします。ぜひ、お子さまの放課後の過ごし方をお教えいただくとともに、ご意見をお聞かせください。

1. お子さまは何年生ですか？あてはまる番号1つに○をしてください。
小学生のお子さまが2人以上いらっしゃる場合は、学年が低いお子さまについてご回答ください。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

2. お子さまが通学されている小学校はどちらですか？カッコ内に学校名をご記入ください。

() 小学校

3-1. 現在、新BOP学童クラブ※に登録していますか？あてはまる番号1つに○をしてください。

※区役所が学校内で実施している放課後児童健全育成事業です。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

3-2. 「1. はい」と回答された方にお尋ねします。

お子さまは、この1年間（令和3年4月以降）で、新BOP学童クラブを週に平均何回利用していますか？あてはまる番号1つに○をしてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1. 週1～2回 | 2. 週3～4回 |
| 3. 週5～6回 | 4. 利用していない |

4-1. 現在、放課後の預かりサービス※を利用していますか？あてはまる番号1つに○をしてください。

※民間事業者が、学校外で独自に運営する放課後の預かりサービスです。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 現在利用している | 2. 以前利用したことがある |
| 3. 利用したことはない | 4. わからない |

6. お子さまについて、放課後は主にどこで過ごしていますか？

あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | | | |
|----------|-----------------|----------------|----------|
| 1. 自宅 | 2. 新BOP学童クラブ | 3. BOP | 4. 塾、習い事 |
| 5. 児童館 | 6. プレーパーク | 7. 青少年交流センター | |
| 8. お友達の家 | 9. 近所の知りあいの家 | 10. 放課後等デイサービス | |
| 11. 公園 | 12. 放課後の預かりサービス | 13. 子ども食堂 | |
| 14. 親族の家 | 15. その他 (| |) |

7. お子さまのことで困ったことがあったとき、以下にあげる人に相談しますか？あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 学校や担任教諭 | |
| 2. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー | |
| 3. 新BOPの職員 | |
| 4. 児童館の職員 | |
| 5. 習い事や塾の先生 | |
| 6. 相談しない | |
| 7. その他 (|) |

ここからは、お子さまが新BOP学童クラブに登録されている方のみご回答をお願いします。それ以外の方はここで終わりです。お忙しいなかご回答いただき、ありがとうございました。

8-1. 現在の新BOP学童クラブの運営時間は午後6時15分までです。

この1年間（令和3年4月以降）で、新BOP学童クラブの運営時間で困ったときがありましたか。あてはまる番号1つに○をしてください。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に数日程度 | 3. 月に数日程度 |
| 4. ほとんどなかった | 5. なかった | |

8-2. 「1. ほぼ毎日」「2. 週に数日程度」「3. 月に数日程度」という方にお尋ねします。

それは、どんなときですか。一番多くあてはまる番号1つに○をしてください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 仕事で遅くなったとき | |
| 2. 新BOP学童クラブ登録児童以外の家族の体調不良 | |
| 3. いつも他の家族がお迎えをしているが、できない日があった | |
| 4. その他(|) |

その時はどのように対応されましたか？
一番多くあてはまる番号1つに○をしてください。

- | |
|---|
| 1. 仕事を断った又は調整した
2. 子どもだけで留守番した
3. 他の家族にみてもらった
4. シッターやファミリーサポートなどを利用した
5. 子どもの友達の家でみてもらった
6. 知人や近所の家でみてもらった
7. その他() |
|---|

そのようなとき、何時まで運営時間があればよかったですか。
あてはまる番号1つに○をしてください。

- | |
|--|
| 1. ~午後6:30
2. 午後6:45
3. 午後7:00
4. 午後7:00より遅くまで
5. 今のままでよい(午後6時15分)
6. わからない |
|--|

9-1. 新BOP学童クラブの代わりに、民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所(学童クラブ)を利用したいですか。(BOPは併用できます。)あてはまる番号1つに○をしてください。

現在、新BOP学童クラブには、『緊急かつ重要な課題が3つ』あります。
その課題の解決に向けて、民間事業者が学校外で運営する放課後児童健全育成事業所(現在2か所)を今後増やしていき、子どもの放課後の居場所として活用することを検討しています。

詳しい内容は、配布しました通知の別紙1をご覧ください。

※放課後児童健全育成事業所とは、放課後の預かりサービスとは異なり、児童福祉法に基づき運営している学童クラブ(新BOP学童クラブも該当)です。

- | |
|---|
| 1. 利用したい(すでに利用している人も含む)
2. 利用したくない
3. わからない |
|---|

9-2. 「1. 利用したい(すでに利用している人も含む)」「3. わからない」と回答された方にお尋ねします。

民間事業者を選択する際に、求めるものはなんですか？

あてはまる番号すべてに○をしてください。

10-3. 「2. いいえ」と回答された方にお尋ねします。

それはなぜですか？あてはまる番号すべてに○をしてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 親しいお友達と遊べないから | |
| 2. 学童クラブ以外の場所で遊びたいから | |
| 3. やりたいことができないから | 4. おやつがおいしくないから |
| 5. 先生と遊べないから | 6. 先生とお話できないから |
| 7. のんびりすきなように過ごせないから | |
| 8. 校庭や体育館で遊べる時間が少ないから | |
| 9. その他 (|) |

11-1. 新BOP学童クラブでの過ごし方や様子は伝わっていますか？

あてはまる番号1つに○をしてください。

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 伝わっている | 2. 伝わっていない | 3. どちらともいえない |
|-----------|------------|--------------|

11-2. 「1. 伝わっている」と回答された方にお尋ねします。一番様子が伝わっている方法はどれですか？あてはまる番号1つに○をしてください。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 連絡帳 | 2. 新BOPだより、学童クラブだより |
| 3. お子さまとの会話 | 4. お迎え時の職員との会話 |
| 5. 個人面談 | 6. 保護者間での連絡や父母会 |
| 7. その他 (|) |

12. 最終問です。

新BOP学童クラブでは、放課後における自立に向けての支援について、子どもが主体的に行動できるような働きかけや見守りをしています。その取り組みについて、どのように思いますか？あてはまる番号1つに○をしてください。

取り組みの手法は配布いたしました通知の別紙2をご覧ください。

- | |
|---------------------------|
| 1. より充実させてほしい |
| 2. 今のままでよい |
| 3. 取り組みを減らしてほしい |
| 4. 必要ではない（どちらかというとも必要でない） |
| 5. どちらともいえない |

その他、自立に向けての支援について、ご意見があればご記入ください。

--

本アンケートは、これで終わりです。

お忙しいなかご協力いただき、誠にありがとうございました。

現在、新BOP学童クラブ※1に『緊急かつ重要な課題が3つ』あります。

①狭隘化

小学校のクラス数が増加し、新BOPで利用できる児童1人あたりの活動スペースが減少しています。

児童の活動や遊びの機会確保が課題です。

②大規模化

児童登録数が120人以上の「大規模※3」、200人規模の「超大規模」の学童クラブが複数あります。

支援の質の確保が課題です。

③ニーズの多様化

働き方の変化に伴い、学童クラブにもとめられるニーズも多様化しています。

様々なニーズに对应していくことが課題です。

※1 新BOP学童クラブとは、世田谷区が区立小学校内で実施している放課後児童健全育成事業※2です。

※2 放課後児童健全育成事業とは、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後等に小学校の空き教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る学童クラブ事業です。児童福祉法に基づき運営しています。

※3 世田谷区の条例では、一支援単位の利用者数(1つの集団としてまとまりをもって共に生活したり、職員が個々の児童と信頼関係を築いたりできる単位の人数)は、おおむね40人以下としています。そのため、新BOP学童クラブを適正に運営できる規模は、原則として2支援単位(利用者がおおむね80人以下、利用率から換算し登録者数は120人以下)までと考えています。

世田谷区では、3つの課題の解決に向けて・・・

- ①活動スペースを確保するため、さらに学校内で活用できる教室等がないか検討しています。
- ②大規模化を軽減するため、『学校外に民間事業者が運営する放課後児童健全育成事業所』※4を増やすことを検討しています。
- ③新BOP学童クラブや『民間事業者が運営する放課後児童健全育成事業所』で、多様化するニーズへの対応を検討しています。

※4 民間事業者が区立小学校外で実施している放課後児童健全育成事業※2です。現在、区内には2か所あります。

【参考】※4の2か所とは別に、放課後の預かりサービスがあります。民間事業者が区立小学校外で独自に運営するサービスです。

新BOPスタッフや先輩からの ワンポイント アドバイス

カギの管理

- 伸びるキーホルダーなどでカギをかばんにつけておくと便利です。
- カギは防犯上、外から見えないように！
- カギを忘れたときのためにも、ご近所とのお付き合いは大切です。
(電話連絡などで協力いただけるように/可能なら、管理人さんにカギを預けておく)

初めてのお留守番

- 留守番の練習は、少しずつ時間を延ばしながらするのがポイントです。
- 日が長くなる季節に練習をはじめると進めやすいですよ。
- 留守番の時間が延びるときは電話を入れましょう。
- 留守番できたらいっぱいほめてあげましょう。



我が家のルールづくり

保護者の連絡先(携帯や職場の電話番号)、祖父母やご近所の連絡先と一緒に、留守番中のでき事で気をつけることを紙に書いて貼っておくのも効果的。
(玄関のチャイムが鳴ったとき/宅配便が来たとき/友達に誘われたとき/困ったことがおきたとき etc.)



子どもができること、覚えることには順番があります。
全てのことを一度に覚えることはできません。
一人ひとりのお子さんのペースに合わせて、あせらず、
ゆっくりと、何度も繰り返して、やってみましょう！



一緒に やってみよう！

～新BOP学童クラブに入会を希望している保護者のみなさんへ～
もうすぐ一年生、お子さんと一緒に、少しずつ練習してみましよう！

このリーフレットは主に、放課後、保護者の就労等により留守家庭となる
新1年生と保護者を対象に、作成しました。
子どもの危険回避プログラム「初めてのいってきます！(応援ブック、
サポーターズマニュアル)」(発行：子ども育成推進課)も合わせてご活用ください。

令和4年1月発行
発行 世田谷区子ども・若者部 児童課
教育委員会事務局 生涯学習・地域学校連携課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27
TEL 03-5432-2308(児童課)



子どもと一緒に練習しよう!

生活力を育てよう

安全な生活環境をつくらう

小学校の生活は、「自分の事は自分でする」が基本になります。子どもが自分自身の力で安全安心に過ごす力を身につけ、自分の放課後の生活を作り出していけるよう、新BOP学童クラブ入会前から、できることから少しずつ練習をはじめましょう。

あいさつをしよう!

「あいさつ」は、社会生活の基本です。

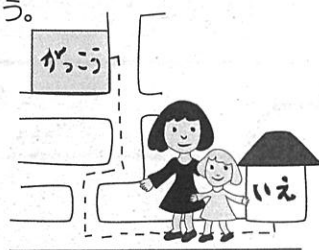
新BOPに来たら「こんにちは」、帰るときは「さようなら」。学校の行き帰りでも、あいさつをできるよう練習しましょう。



歩いてみよう!

毎日通る道を、親子で実際に歩いてみましょう。

時間帯によって様子が大きく変わる道もあります。昼だけでなく夕方など帰宅時間に合わせて歩いてみると良いでしょう。



電話の練習をしよう!

自宅から、保護者の携帯や職場へ電話をする練習をお勧めします。

電話のかけ方、話し方など日にちを決めてやってみると効果的です。電話番号も覚えられるよう練習しましょう。



お友達を知っておきましょう!

保護者同士の協力が大切です。

約束の時間になっても帰ってこない場合、お友達のお家におじゃましていたり、一緒に公園で遊んでいたという事もあります。日頃から保護者同士の協力関係が大切です。



相談しよう!

困ったことがあったら、自分から相談にいきましょう。

ケガや自分で解決できないトラブルがあったら、相談したり、説明できるように練習しましょう。



時間を覚えよう!

登校時間、帰宅時間など、ポイントとなる時間を覚えましょう。

時間の絵を描いて覚えると効果的です。出発時間に目覚まし時計をセットしたり、保護者の方が外から電話を入れる方法もあります。



ご近所とは親子で仲良くなりましょう!

困ったときに何かとお世話になるのがご近所です。

迷子になった時、夕方帰るときなど、近所の方や商店街の方々にいろいろお世話になることもあります。日頃からあいさつを交わしたり、近くの商店街に親子で買い物に行ったりして、親子で顔見知りになっておくとうれしいですね。



地域を知ろう!

親子で地域の遊びや危険箇所を確認しましょう。

小学生になると生活範囲は広がります。交通事故などの安全チェックも含めて、親子で周辺地域を見て歩きましょう。新しい発見があるかもしれません。



留守番の練習をしよう!

朝と夕方にお留守番ができるよう練習をはじめましょう。

留守番をしているときに、電話がかかってきたり、誰かが尋ねてきたときのお約束も忘れずに!



カギをかけよう! カギをしめよう!

毎日の大切な約束です。忘れないようにしましょう。

自分でカギを開けて家の中に入る練習と、カギを閉めて戸締りをする練習を何度もしましょう。家に入った後、カギを閉めることも忘れずに!



自分の物は自分で管理しよう!

持ち物には必ず名前を書いておきましょう。

防犯上、持ち歩くものには、表はマーク等で認識できるように、名前は内側に。





しょうしんぼっぶ
小 新 BOPのみんな、こんにちは。
あなたが、^{がくどうくらぶ}学 童クラブでどんなふう^すに過ごして
いるか^{おし}教えてね!



1. あなたは、^{なんねんせい}何年生ですか？ 1つに○をしてください。

- ① ^{ねんせい}1年生 ② ^{ねんせい}2年生 ③ ^{ねんせい}3年生
④ ^{ねんせい}4年生 ⑤ ^{ねんせい}5年生 ⑥ ^{ねんせい}6年生

お

2. ^{がくどうくらぶ}学 童クラブでは、どんな^{きも}気持ちで^す過ごすことが^{おお}多いですか？
1つに○をしてください。

- ① ^{たの}とても楽しい ② ^{たの}まあ楽しい
③ ^{たの}あまり楽しくない ④ ^{たの}まったく楽しくない

それは、なぜですか？



や

3. ^{がくどうくらぶ}学 童クラブのおやつについて、どのように^{かん}感じますか？
1つに○をしてください。

- ① ^{たの}楽しみ ② ^{たの}楽しみではない ③ ^{たの}どちらでもない

それは、なぜですか？

っ

4. 学童クラブでは、たくさん遊べますか？ 1つに○をしてください。

たとえば… 「本を読みたいな」「外で遊びたい」

「友達といろいろな遊びがしたいな」など

- ①はい ②いいえ ③どちらでもない

は

5. 学童クラブでは、やりたいことができますか？

1つに○をしてください。

たとえば… 「校庭にでて外で遊びたいな」「工作したい」

「お部屋の中でちょっとゆっくりしたいな」など

- ①はい ②いいえ ③わからない

ぶ

6. 学童クラブの大人で、仲良しの人がありますか？

1つに○をしてください。

- ①はい ②いいえ ③わからない

り

7. 学童クラブのお部屋や机のまわりにお友達がたくさんいること

について、どう思いますか？ 1つに○をしてください。

- ①せまくて遊びにくい ②にぎやかで楽しい

- ③何とも思わない、わからない

ん

8. 学童クラブには「やくそく」や「きまり」が多いですか？ 少ないですか？ 1つに○をしてください。

- ①多い ②少ない ③わからない

て



つかれたかな？あともうちょっとだよ！

9. 何時まで学童クラブにいたいですか？ 1つに○をしてください。

- ① おやつを食べたあと（午後4時くらい）
 ② 帰りの会が終わったあと（午後5時くらい）
 ③ 学童クラブが終わるころ（午後6時くらい）
 ④ おうちの人（ひと）が家（いえ）に帰（かえ）ってくるまで学童クラブにいたい
 ⑤ わからない

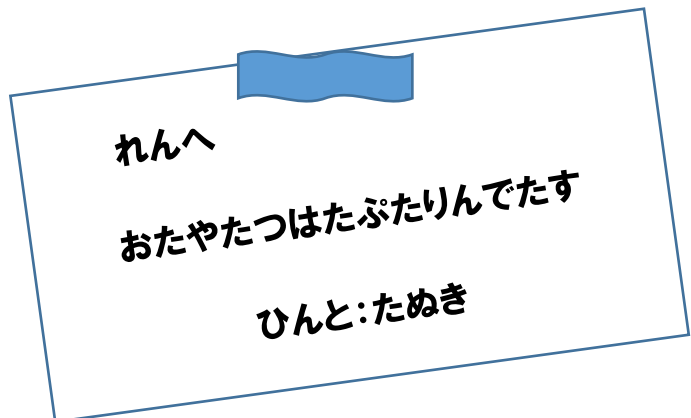
それは、なぜですか？

～おまけ なぞときクイズ～

れんくんは小学生（しょうがくせい）。

学校（がっこう）から帰（かえ）ってくると、冷蔵庫（れいぞうこ）にあんごうメッセージ（めっせーじ）がありました。

なんと書いてあるでしょう？



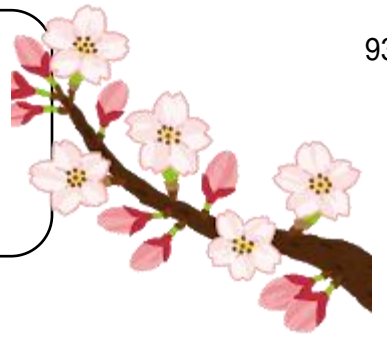
答え（こた）は、全部（ぜんぶ）の質問（しつもん）の、四角（しかく）の中（なか）の右下（みぎした）の字（じ）をならべてみてね！



さいごまで答（こた）えてくれて、ありがとう！
 みんなのこと、いっぱい聞（き）いて楽（たの）しかった。
 コロナ（ころな）には気（き）をつけてね。さようなら～



きょう
 こんにちは。今日はよろしくね！
 がっこう じゅぎょう お あと
 学校の授業が終わった後のことについ
 て、おしえてね。



1. あなたは、何年生ですか？ 1つに○をしてください。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① 1年生 | ② 2年生 | ③ 3年生 |
| ④ 4年生 | ⑤ 5年生 | ⑥ 6年生 |

2. 学校の授業が終わったあとは、どこですごすことが一番多いですか？
 1つに○をしてください。

- | | | | |
|-------------------|-------------|----------------------|---------|
| ① おうち | ② 学童クラブ | ③ BOP | ④ 塾、習い事 |
| ⑤ 児童館 | ⑥ プレーパーク | ⑦ 青少年交流センター | |
| ⑧ お友達の家 | ⑨ 近所の知りあいの家 | ⑩ 子ども食堂 | |
| ⑪ おじいちゃんやおばあちゃんの家 | ⑫ そのほか | <input type="text"/> | |

3. 学校の授業がおわったあとは、どこですごすことが一番楽しいですか？
 1つに○をしてください。

- | | | | |
|-------------------|-------------|----------------------|---------|
| ① おうち | ② 学童クラブ | ③ BOP | ④ 塾、習い事 |
| ⑤ 児童館 | ⑥ プレーパーク | ⑦ 青少年交流センター | |
| ⑧ お友達の家 | ⑨ 近所の知りあいの家 | ⑩ 子ども食堂 | |
| ⑪ おじいちゃんやおばあちゃんの家 | ⑫ そのほか | <input type="text"/> | |

4. 困ったときに、相談できる大人はいますか？（おうちの人以外）
 相談できる人、すべてに○をしてください。

- | | | |
|-----------------|----------------------|------------|
| ① 学童クラブの大人 | ② BOPの大人 | ③ 塾、習い事の大人 |
| ④ 児童館の大人 | ⑤ プレーパークの大人 | ⑥ お友達のお家の人 |
| ⑦ 青少年交流センターの大人 | ⑧ 近所の知りあいの大人 | |
| ⑨ おじいちゃんやおばあちゃん | ⑩ 学校の大人 | |
| ⑪ そのほか | <input type="text"/> | |

うら
 うらにもあるよ～



5. おうちの人がいないときに^{ひと}困^{こま}ったことがあったら、どこに行きますか？

1つに○をしてください。

① ^{がっこう} 学校	② ^{がくどうくらぶ} 学童クラブ	③ ^{ぼっぶ} BOP	④ ^{じゅく} 塾、 ^{ならいごと} 習い事
⑤ ^{じどうかん} 児童館	⑥ ^{ぶれーぱーく} プレーパーク	⑦ ^{せいしょうねんこうりゅうせんたー} 青少年交流センター	
⑧ ^{ともだち いえ} お友達の家	⑨ ^{きんじよ} 近所の ^し 知りあいの ^{いえ} 家	⑩ ^{こども} 子ども ^{しょくどう} 食堂	
⑪ ^{いえ} おじいちゃんやおばあちゃんの家	⑫ そのほか		

6. あなたは、今、新^{いま}BOP^{しんぼっぶ}学^{がく}童^{どう}クラブ^{くらぶ}に行^いっていますか？ 1つに○をしてください。

① はい	② いいえ	③ ^{まえ} 前 ^い に行 ^い っていた (^{いま} 今 ^い は行 ^い っていない)
------	-------	--

<次からは、6番で「③前^{まえ}に行^いっていた (今^{いま}は行^いっていない)」と選^{えら}んだ^{ひと}人^{だけ}だけ^{こた}答^ええてください。>

7. 学^{がく}童^{どう}クラブ^{くらぶ}は^{たの}楽し^{たの}かったですか？つま^{たの}らな^{たの}かったですか？

1つに○をしてください。

① ^{たの} 楽し ^{たの} かった	② つま ^{たの} らな ^{たの} かった	③ どちらでもない
それは、なぜですか？		

8. 新^{しんぼっぶ}BOP^{がく}学^{どう}童^{くらぶ}クラブ^{くらぶ}をやめたのは、なぜですか？ 1つに○をしてください。

① おうちの ^{ひと} 人 ^{いえ} が ^{いえ} 家 ^{いえ} に ^い いる ^こ こと ^に な ^っ た	② お友 ^{ともだち} 達 ^{いっしょ} と ^{あそ} 一 ^{あそ} 緒 ^{あそ} に ^{あそ} 遊 ^{あそ} ぶ ^{あそ} た ^{あそ} め	
③ ^{じゅく} 塾 ^{なら} や ^ご 習 ^い 事 ^い に ^い く ^こ こと ^に な ^っ た	④ 4年 ^{ねんせい} 生 ^{せい} に ^な った ^か ら	
⑤ つま ^{たの} らな ^{たの} かった ^か ら	⑥ おうち ^{るすばん} で ^{るすばん} お ^{るすばん} 留 ^{るすばん} 守 ^{るすばん} 番 ^{るすばん} で ^{るすばん} き ^{るすばん} る ^{るすばん} よ ^{るすばん} う ^{るすばん} に ^な った ^か ら	
⑦ そのほか		

これで終わりです。
さいごまでこたえてくれて、ありがとう！

